

[付録目次] p 176～p 240

※この文書の先頭ファイル（目次・第1章）を表示

記号・数字	176
アルファベット	178
A	178
E	182
I	183
M	186
R	188
V	190
W	191
X	193
カタカナ	194
ア行	194
カ行	201
サ行	205
タ行	209
ナ行	213
ハ行	214
マ行	222
ヤ行	224
ラ行	224
ワ行	227
漢字	227
あ行	227
か行	228
さ行	232
た行	234
な行	236
は行	236
ま行	238
や行	238
ら行	239
わ行	240

番号 用語 解説 (参照)

[記号・数字]

1	.avi	⇒	avi	動画ファイル／拡張子
2	.bat	⇒	bat	バッチファイル／拡張子
3	.bmp	⇒	bmp	画像ファイル／拡張子
4	.cab	⇒	cab	圧縮ファイル／拡張子
5	.csv	⇒	csv	CSV文書ファイル／拡張子
6	.dll	⇒	dll	拡張実行ファイル／拡張子
7	.doc	⇒	doc	ワード文書／拡張子
8	.docx	⇒	docx	ワード文書／拡張子
9	.exe	⇒	exe	実行ファイル／拡張子
10	.htm	⇒	html	WEBページファイル／拡張子
11	.html	⇒	html	WEBページファイル／拡張子
12	.jpeg	⇒	jpg	画像ファイル／拡張子
13	.jpg	⇒	jpg	画像ファイル／拡張子
14	.jtd	⇒	jtd	一太郎文書ファイル／拡張子
15	.lzh	⇒	lzh	圧縮ファイル／拡張子
16	.mid	⇒	mid	MIDI音源ファイル／拡張子
17	.mov	⇒	mov	動画ファイル／拡張子
18	.mp3	⇒	mp3	音声ファイル／拡張子
19	.mp4	⇒	mp4	動画ファイル／拡張子
20	.mpeg	⇒	mpg	マルチメディアファイル／拡張子
21	.mpg	⇒	mpg	マルチメディアファイル／拡張子
22	.pdf	⇒	pdf	PDF文書ファイル／拡張子
23	.ppt	⇒	ppt	パワーポイントファイル／拡張子
24	.ttf	⇒	ttf	フォントファイル／拡張子
25	.txt	⇒	txt	テキスト文書ファイル／拡張子
26	.wav	⇒	wav	音声ファイル／拡張子
27	.xls	⇒	xls	エクセルファイル／拡張子
28	.xlsx	⇒	xlsx	エクセルファイル／拡張子
29	.xps	⇒	XPS	XPS文書ファイル／拡張子
30	.zip	⇒	zip	圧縮ファイル／拡張子

31 1000BASE-T

イーサネット（有線）伝送方式の一つ。最大伝送速度は、1000bit/sで、一般的に「ギガ回線」と呼ばれ、2020年時点では、電気伝送方式では、最速の規格です。使用するケーブルは、「ツイストペアケーブル」で、8本の芯線が、2本ずつペアになっており、各ペアの信号線で250Mbpsのデータの送受信を同時に行うことで1Gbitの転送速度を確保しています。使用可能なケーブル規格は、「カテゴリー6ケーブル」以上を使用する事が望ましいされています。

32 100BASE-TX

イーサネット（有線）伝送方式の一つ。最大伝送速度は、100bit/sです、2020年時点で、最も多くのネットワークの末端接続（コンピュータとスイッチングハブの間）で使用されています。使用するケーブルは、「ツイストペアケーブル」で、8本の芯線が、2本ずつペアになっており、4ペアの通信線のうち、1ペアで100Mbpsのデータの送信を、もう1ペアで100Mbpsのデータ受信を行います。（残りの2ペアは未使用）。使用可能なケーブル規格は、「エンハンスト・カテゴリー5ケーブル」以上が必要です。

33 10BASE-T

イーサネット（有線）伝送方式の一つ。最大伝送速度は、10bit/sです。2020年時点では、ほとんど使用されていない過去の規格です。使用するケーブルは、「ツイストペアケーブル」で、8本の芯線が、2本ずつペアになっています。芯線を通る信号の帯域許容性は大きく、「カテゴリー5ケーブル」で十分な伝送が可能です。

- 34 16bit演算 ⇒ 16ビット系コンピュータ (36)
- 35 16ビットCPU
16ビットの演算器 (レジスター) を装備したCPUで、一度の演算で、10進数5桁程度の演算を行う事ができます。16ビットCPUとしては、i8086が有名で、初期の「ボックス型パソコン」で使用されていました。
- 36 16ビット系コンピュータ
16ビットは、2進数16桁の数値で、一度に十進数5桁程度の数値を扱うことができます。従って、16ビット演算とは、十進数5桁程度の演算を一度の処理で行う事ができる計算能力を意味します。(実際には、数値演算だけではなく、論理演算やアドレス演算などの様々な演算を行います。) 16ビット系コンピュータとは、16ビットCPUを装備し、16ビット以上の演算器 (レジスター) を備えており、実際の演算も16ビットで実行するコンピュータのことです。16ビットコンピュータは、実用的に使用され始めた「PC9801シリーズ」などが有名で、Windows2000以前のコンピュータが16ビットコンピュータと考えられます。
- 37 16進数 ⇒ 基数(681)
- 38 1バイト文字
1つの文字を表現する為に、1バイト (8ビット) のデータを使用する文字のこと。8ビットで表現できる情報は256種類あるので、1バイト文字も、256文字まで割り当てることが出来ます。256文字には、「アルファベット・大文字/小文字」「数字」「記号」「各種制御コード」が含まれています。これらのコードは、「ASCIIコード」で規定されています。注：ASCIIコードは、実際には7ビット分 (128文字) しか文字を割り当てていないので、のこり128文字分は、各国で固有の文字を割り当てている場合があります。日本語では、「半角カナなど」が割り当てられています。
- 39 2バイト文字
1つの文字を表現する為に、2バイト (16ビット) のデータを使用する文字のこと。欧米などでは、漢字などが無く、アルファベットなどの「ASCIIコード」に割り当てられた文字のみで表記が可能であるため、2バイト文字は必要ありませんが、日本語や中国語、韓国語・・・など、各国独自の文字を表現する為には、1バイト (256文字) では不足します。2バイトあれば、65536文字まで表現できるようになります。初期のコンピュータでは、65536文字で収めていましたが、漢字などの実際の文字種は、もっと多いため、現在は3バイト以上を使用して表現する文字もあります。(多バイト文字)
- 40 2進数 ⇒ 基数 (681)
- 41 32bit系コンピュータ ⇒ 32ビット系コンピュータ (46)
- 42 32bit演算 ⇒ 32ビット系コンピュータ (46)
- 43 32ビット ⇒ 32ビット系コンピュータ (46)
- 44 32ビットCPU
32ビットの演算器 (レジスター) を装備したCPUで、一度の演算で、10進数10桁程度の演算を行う事ができます。32ビットCPUとしては、i80386やMC68020等が有名で、Windows XP頃までのコンピュータのほとんどに使用されていました。
- 45 32ビット演算 ⇒ 32ビット系コンピュータ (46)
- 46 32ビット系コンピュータ
32ビットは、2進数32桁の数値で、一度に十進数10桁程度の数値を扱うことができます。従って、32ビット演算とは、十進数10桁程度の演算を一度の処理で行う事ができる計算能力を意味します。(実際には、数値演算だけではなく、論理演算やアドレス演算などの様々な演算を行います。) 32ビット系コンピュータとは、32ビットCPUを装備し、32ビット以上の演算器 (レジスター) を備えており、実際の演算も32ビットで実行するコンピュータのことです。メモリー等のアドレスも、32ビットで指定するので、

メモリー容量の最大値も大きくなります。Windows系32ビットコンピュータでは、4GB～最大64GB（ギガバイト）まで。

- 47 64bit系コンピュータ ⇒ 64ビット系コンピュータ (51)
- 48 64bit演算 ⇒ 64ビット系コンピュータ (51)
- 49 64ビット ⇒ 64ビット系コンピュータ (51)

50 64ビットCPU
64ビットの演算器（レジスター）を装備したCPUで、一度の演算で、10進数20桁程度の演算を行う事ができます。64ビットCPUとしては、Core3/5/7/9 等、最新のパソコンのCPUのほとんどは64ビットです。

51 64ビット系コンピュータ
64ビットは、2進数64桁の数値で、一度に十進数20桁程度の数値を扱うことができます。従って、64ビット演算とは、十進数20桁程度の演算を一度の処理で行う事ができる計算能力を意味します。（実際には、数値演算だけではなく、論理演算やアドレス演算などの様々な演算を行います。）64ビット系コンピュータとは、64ビットCPUを装備し、64ビット以上の演算器（レジスター）を備えており、実際の演算も64ビットで実行するコンピュータのことです。メモリー等のアドレスも、64ビットで指定するので、メモリー容量の最大値も大きくなります。Windows系64ビットコンピュータでは、64GB～最大24TB（テラバイト）まで。

- 52 64ビット演算 ⇒ 64ビット系コンピュータ (51)
- 53 8bit演算 ⇒ 8ビット系コンピュータ (57)
- 54 8ビット ⇒ 8ビット系コンピュータ (57)

55 8ビットCPU
8ビットの演算器（レジスター）を装備したCPUで、一度の演算で、10進数3桁程度の演算を行う事ができます。8ビットCPUとしては、i8080やZ80、MC6800等が有名で、初期の「ワンボードマイコン」や「キーボード型マイコン」で使用されていました。

- 56 8ビット演算 ⇒ 8ビット系コンピュータ (57)

57 8ビット系コンピュータ
8ビットは、2進数8桁の数値で、一度に十進数3桁程度の数値を扱うことができます。従って、8ビット演算とは、十進数3桁程度の演算を一度の処理で行う事ができる計算能力を意味します。（実際には、数値演算だけではなく、論理演算やアドレス演算などの様々な演算を行います。）8ビット系コンピュータとは、8ビットCPUを装備し、8ビット以上の演算器（レジスター）を備えており、実際の演算も8ビットで実行するコンピュータのことです。メモリー等のアドレスも、8ビットで指定するので、メモリー容量の最大値も大きくなります。8ビットコンピュータは、マイコンと呼ばれた1980年代のごく初期の「ワンボードマイコン」や「キーボード型マイコン」のことで、機能的には、現在のコンピュータとは全く次元が異なる程度のものでした。

- 58 9x系統 ⇒ Windows9x系(282)

[アルファベット]

59 ActiveX
ActiveX（アクティブエックス）は、「ActiveXコントロール」のことを意味します。インターネットのページを閲覧する時、画面に動画や動きのあるコンテンツ（例えば、データの並べ替えや検索など）を表示する際に必要な機能（プログラムなど）で、ブラウザは、画面の表示の為に、これらをダウンロードしようとしています。悪質なサイトなどで、ActiveXをダウンロードするように見せかけて、悪意のあるプログラムをダウンロードさせようとする場合があるため、ブラウザは「確認のメッセージ」を表示する場合があります。従って、不要な（不明な）ActiveXは、ダウンロードの許可を出さな

いようにする必要があります。

60 Administrator

「管理者」を意味するユーザー名です。Windows をインストールした初期状態で有効になっているユーザーで、「フルコントロールの管理権限」を有するユーザーです。最初はこのユーザーで「ログオン」しますが、ログオン後、新たに「通常の運用で使用する『管理ユーザー』を作成して、以降は、Administratorではなく、通常運用のユーザーでログオンして運用します。『管理ユーザー』には、「管理者やAdministratorsグループ」に所属させて「管理権限」を与えます。 ⇒ Administrators (61)

61 Administrators

Windowsのアカウント管理の為に「ユーザーグループ」の一つで、「管理権限 (フルコントロール)」を持っています。グループには、他に「Users」「Power Users」「Guests」などがあります。

62 Active Directory ⇒ ドメインコントローラー (483)

63 ANSI ⇒ 文字コード (764)

64 ASCIIコード ⇒ 文字コード (764)

65 Basic Input/Output System ⇒ BIOS (68)

66 BASIC言語 ⇒ プログラミング言語 (569)

67 BBS ⇒ 電子掲示板 (738)

[戻る](#)

68 BIOS

「Basic Input Output System」の略語で、コンピュータの機械制御と、OS(オペレーティング・システム)や「デバイスドライバーソフト」とのやりとりを行うソフトウェアです。コンピュータのマザーボード基盤に「ROM」の形で実装されており、コンピュータの基本性能を決める重要な要素となります。通常は、コンピュータ起動時にバックグラウンドで動作し、私達ユーザーには見えませんが、電源ON時に、「F2キー」や「Deleteキー」、「F10キー」などを押しながら起動すると、BIOS画面が表示されます。(メーカーやコンピュータ毎にキーが異なるので注意) BIOSの表示は基本的に「英語」です。(一部日本語表記のBIOSもあります) 設定項目は様々ですが、一番重要な設定項目は「ドライブ起動順位の設定」です。通常は「Hard Drive」が先頭ですが、状況に寄っては、「CD-ROM」であったり「Removable Devices」に変更する必要がある場合があります。(回復ドライブの利用など)

69 bit ⇒ ビット (546)

70 Bite ⇒ バイト (516)

71 BitLocker

(ビットロッカー) Windows 10 Pro 以上のエディションに装備されている、「ハードディスクやSSD、USBメモリ、リムーバブルハードディスクなどの内容を暗号化してセキュリティを確保する機能」です。コンピュータがTPMチップ(セキュリティ関連の処理機能を実装した半導体チップ)を内蔵している場合は、暗号鍵の管理を自動的に行うことができ、通常の使用と変わらない手順や操作感でWindowsを利用することができます。TPMが無い場合は、起動時にパスワードで正規の利用者であることを確認するユーザー認証モードや、暗号鍵を記録したUSBメモリーを使った起動が可能です。

72 BlueTooth ⇒ ブルートゥース (564)

73 Blu-ray Disc ⇒ ブルーレイディスク (565)

74 Bulletin Board System ⇒ 電子掲示板 (738)

75 C# ⇒ プログラミング言語 (569)

76 C++ ⇒ プログラミング言語 (569)

77 Cascading Style Sheets ⇒ CSS (95)

78 Cathode-ray tube ⇒ ディスプレイ方式 (457)

[戻る](#)

79 CD

(コンパクト・ディスク) 直径12cmまたは8cmの円形プラスチックの表面に、「ピット」と呼ばれる反射層を形成し、レーザー光の反射を読み取る事によりデータを取得します。CDに記録するデータは、本来は音楽データでしたが、その後「CD-ROM」という名称で、一般的なコンピュータデータを記録できるよう規格ができました。1枚のディスクに記録できるデータは、12cmディスクは約650~700MB、8cmディスクは約155~300MBです。また、「読み出し」だけでなく、1回だけ書き込みが可能な「CD-R」や、複数回書き込みが可能な「CD-RW」という規格も追加されました。

- 80 CD-R ⇒ CD (79)
- 81 CD-ROM ⇒ CD (79)
- 82 CD-RW ⇒ CD (79)
- 83 Central Processing Unit⇒ CPU (92)
- 84 Central Processing Unit⇒ CPU (92)

85 CG

(Common Gateway Interface/シ・ジー・アイ) WEBサーバーで、掲示板やアンケートのフォーム、アクセスカウンターのように、WEBページの内容を、動的に変化させたい場面で使われる仕組みのこと。サーバー側に配置されたCGIプログラムを、ブラウザを通して実行し、その結果をWEBページとして画面に表示します。

- 86 Character User Interface ⇒ CUI (98)
- 87 CODABAR ⇒ バーコード形式 (505)
- 88 CODE128 ⇒ バーコード形式 (505)
- 89 CODE39 ⇒ バーコード形式 (505)
- 90 Comma Sepaerate Value ⇒ CSV形式 (97)
- 91 Common Gateway Interface ⇒ CGI (85)

92 CPU

(セントラル・プロセッシング・ユニット) コンピュータの頭脳に当たり、現在のCPUのほとんどは、4cm角のVLSIチップです。CPUの機能は、内部に「レジスター」と呼ばれる演算器があり、算術演算や論理演算などを行っており、このレジスターが扱えるデータ量により、「32ビットCPU」や「64ビットCPU」などの種類があります。初期のCPUは、演算ユニット(コア)は1つでしたが、2つ、4つ、8つ・・・と、複数のコアを持つCPUが開発され(マルチコアCPU)、現在は、2~4コアのCPUが主流になっています。また、1つのコアで、複数の演算を可能にした「マルチスレッドコア」も開発され、CPUの演算能力は飛躍的に向上しています。例えば、現在中程度の機能のCPUである「Core i5」は、6コア/12スレッドの64ビットCPUです。

- 93 CRT ⇒ ディスプレイ方式 (457)

94 CRコード

(キャリッジ・リターン・コード) キーボードの「エンターキー」に割り当てられている「キーコード」です。CRコードは、「ASCII文字コード」の「非表示文字コード」の1つで、十進数で「13」が割り当てられています。バーコードリーダーでスキャンしたデータに、このコードを付加すると、スキャン後「エンターキーを押す動作」が追加されます。

95 CSS

(カスケード・スタイル・シーツ) ホームページ画面の表示に関わって、配置や色や大きさ、背景などの見栄えを、「CSSファイル」という外部ファイルで指定するホームページ作成方法です。ホームページ文書(HTML文書)の内部で指定するよりも、文書の構成が分かりやすくなる事と、CSSファイルの内容を変更するだけで、表示されるホームページの見映えを変えることができるなど、多くの利点があります。

- 96 CSVファイル ⇒ CSV形式 (97)

- 97 CSV形式
 (コンマ・セパレート・バリュー・形式) テキストファイル形式の一種で、「値」が「半角コンマ」で区切られた「テキストデータ」のこと。「拡張子」は「. csv」 Windowsの標準設定では、アイコンの関連付けは「Excel」になっているので、CSVファイルをダブルクリックすると、Excelで起動されます。
- 98 CUI ⇒ キャラクターユーザーインターフェイス (364)
 99 C言語 ⇒ プログラミング言語 (569)
 100 DAT ⇒ デジタルオーディオテープ (471) [戻る](#)
- 101 DHCP
 (Dynamic Host Configuration Protocol) ネットワークに接続している全てのコンピュータやプリンターに、自動的に異なるIPアドレスを割り振る機能を提供します。通常は、ネットワークに接続した1台のサーバーが、この機能を実行しますが、サーバーが接続されていない場合は、ルーターなどが実行します。(家庭のネットワーク環境では、ブロードバンドルーターが、その機能を実行している場合が多い。) IPアドレスが正しく割り振られなければ、ネットワークは正しく動作しない為、インターネットも利用できないし、コンピュータ間の通信もできず、プリンターも使えません。
- 102 Digital Audio Tape ⇒ デジタルオーディオテープ (471)
 103 Digital Versatile Disc ⇒ DVD(118)
 104 Disk Operating System ⇒ DOS (110)
 105 Display Port ⇒ ディスプレイの接続端子 (456)
- 106 DLL
 (Dynamic Link Library/ダイナミック・リンク・ライブラリー) Windowsのプログラムファイルの種類の一つで、様々なプログラムから利用される部品化されたプログラムのこと。拡張子は「. dll」。DLLファイルは、それ自体は単体で実行することはできず、実行可能ファイル (EXEファイル など) が起動する時に自動的に呼び出されてメモリ上に展開されます。
- 107 DNS ⇒ DNSサーバー (108)
- 108 DNSサーバー
 (ドメイン・ネーム・システム・サーバー) DNS機能を提供するサーバー。DNSは、IPアドレスとコンピュータのホスト名 (コンピュータ名) を関連付ける機能を提供します。この機能で、LAN内のコンピュータや、インターネット上のコンピュータを、ホスト名で操作できるようになります。(IPアドレスは、数字の羅列なので分かり辛いですが、ホスト名で操作すると分かり易くなります。)
- 109 Domain Name System ⇒ DNSサーバー (108)
- 110 DOS
 (Disk Operating System/ディスク・オペレーティング・システム) Windows以前のコンピュータのOS(オペレーティング・システム) で、元々は、コンピュータに接続した磁気ディスク装置の操作に必要なソフトでしたが、機能が追加されて、総合的なオペレーティング・システムとして拡張されました。「PC-DOS」や「MS-DOS」が有名。Windowsが利用されるようになると、DOSは利用されなくなりました。
- 111 DOS/V
 1990年に日本IBMが発売した、日本語を扱う機能を追加したPC/AT互換機用のオペレーティングシステム。日本語処理を特定のハードウェアに依存せずに行えるのが特長で、DOS/Vの「V」は画面表示がVGAモード (640×480 ピクセル) を基本としているため付けられている。
- 112 DOS/V互換機 ⇒ DOS/V (111)

- 113 DOSコマンド ⇒ コマンドプロンプト (382)
- 114 DoS攻撃
 (ドス攻撃) WEBサーバーなどの動作を妨害する目的の攻撃。ウェブサービスを稼働しているサーバやネットワーク器機に、意図的に過剰な負荷をかけたり脆弱性をついたりする事でサービスを妨害する。例えば、WEBサービスを提供しているサーバーに、何度も「リクエスト」を送信して、サーバーの負荷を高めるなど。注意しなければならないのは、一般の利用者でも、WEBへの送信を何度も繰り返すと、DoS攻撃と見なされる場合があることに注意して下さい。
- 115 DOS窓 ⇒ コマンドプロンプト (382)
- 116 DRAM ⇒ RAM(227)
- 117 DSUB-15端子 ⇒ アナログRGB端子/ディスプレイの接続端子 (456)
- 118 DVD
 (デジタル・バーサタイル・ディスク) CDの記録容量を高めた記憶媒体。一般的なDVDでは、片面1層に、4.7GBのデータを書き込むことができます。DVDの名称は、最初は「Digital Video Disc/デジタル・ビデオ・ディスク」でしたが、後に利用目的はビデオに限定されなくなったことから「Video」が「Versatile」(多用途)に変更となっています。DVDの種類は、大別すると、「DVD-ROM」(書き込み不能)、「DVD-R」(一度だけ書き込み可能)、「DVD-RW」(複数回書き込み可能)の3種に武類されますが、さらに「両面」・「2層」など、記録容量の大きいタイプもあります。また、記録システムが異なる「DVD+R」や「DVD+RW」などもあり、購入する時は注意が必要です。
- 119 DVD-R ⇒ DVD(118)
- 120 DVD-RAM ⇒ DVD(118)
- 121 DVD-ROM ⇒ DVD(118)
- 122 DVD-RW ⇒ DVD(118)
- 123 DVI-D端子 ⇒ デジタルRGB端子/ディスプレイの接続端子 (456)
- 124 DVI端子 ⇒ デジタルRGB端子/ディスプレイの接続端子 (456)
- 125 Dynamic Host Configuration Protocol ⇒ DHCP (101)
- 126 Dynamic Link Library ⇒ DLL (106)
- 127 Dynamic Random Access Memory ⇒ DRAM⇒RAM(227)
- 128 EAN ⇒ バーコード (504) 戻る
- 129 EIDE
 (エンハンスド・アイ・ディー・イー) コンピュータとハードディスクや光学ドライブを接続するための規格の一つ。データを複数の信号線で送受信するシステムで、パラレル規格の一種です。他の情報器機と同様に、パラレル規格は、やがてシリアル規格の器機に置き換わって行きます。
- 130 Enhanced IDE ⇒ EIDE (129)
- 131 EP-ROM ⇒ ROM(232)
- 132 EUC ⇒ 文字コード (764)
- 133 EUC-JP ⇒ 文字コード (746)
- 134 Evryone
 Windowsの規定のユーザーアカウントの1つ。全てのユーザーという意味で、共有資源に対するアクセス許可で、Everyoneに対して、強い権限を与えると、セキュリティが弱くなるので注意が必要です。
- 135 Excelマクロ ⇒ マクロ (587)
- 136 exFATフォーマット ⇒ ファイル形式 (552)
- 137 Extended Unix Code ⇒ EUC⇒文字コード (746)
- 138 eXtensible HTML ⇒ XHTML(287)
- 139 Extensible HyperText Markup Language ⇒ XHTML(287)

- 140 Extensible Markup Language ⇒ XML(288)
- 141 FAT ⇒ ファイル形式 (552) 戻る
- 142 FAT32フォーマット ⇒ ファイル形式 (552)
- 143 FEP ⇒ IME(169)
- 144 File Allocation Table ⇒ FAT⇒ファイル形式 (552)
- 145 File Transfer Protocol ⇒ FTP(147)
- 146 Front-End Processor ⇒ IME(169)
- 147 FTP
(File Transfer Protocol/ファイル・トランスファー・プロトコル)
インターネットを通じて、コンピュータとサーバーの間で、データを送受信する方式の一つ。
- 148 GB ⇒ バイト (516) 戻る
- 149 Gbit ⇒ ビット(546)
- 150 GIF
(Graphics Interchange Format/ジフ) 画像形式の一つ。WEBページに使用される画像では、ポイント画像として利用されていることが多い。GIF形式の画像で、動きを表現できる画像は、「GIFアニメーション画像」と呼ばれています。
- 151 GIFアニメーション ⇒ GIF (150)
- 152 Graphics Interchange Format ⇒ GIF (150)
- 153 GUI ⇒ グラフィカル・ユーザー・インターフェイス (373)
- 154 HDD ⇒ ハードディスク (513) 戻る
- 155 HDMIポート ⇒ HDMI⇒ディスプレイの接続端子 (456)
- 156 HDMI規格 ⇒ HDMI⇒ディスプレイの接続端子 (456)
- 157 HDMI端子 ⇒ HDMI⇒ディスプレイの接続端子 (456)
- 158 HTML
(HyperText Markup Language/エイチティエムエル) WEBページを記述するマークアップ言語の一種。データ中に特定の記法 (タグ) を用いて何らかの情報を埋め込むためのものファイル形式。
- 159 HTTP
(HyperText Transfer Protocol/エイチティティピー) ブラウザがWEBサーバと通信する際に使用する「通信プロトコル」で、HTMLなどのテキストによって記述されたWEBページ等のコンテンツの送受信に用いられます。私達が、インターネットにアクセスする場合、通常はこの通信方式を利用しています。
- 160 HyperText Markup Language ⇒ HTML (158)
- 161 HyperText Transfer Protocol ⇒ HTTP (159) 戻る
- 162 IC
(Integrated Circuit/アイシー/集積回路) 半導体の表面に、微小な電子素子で回路を形成した上で封入した電子部品のこと。電子素子の集積度で、LSI (Large Scale Integration/1000~10万個) やVLSI (Very Large Scale Integration/10万~1000万個) などの名称で呼ばれるが、基本的な構図は同じ。現在の代表的なCPUである「Core i5」の集積度は、1000万~1億個に達しており、ULSI (Ultra Large Scale Integration) と呼ばれています。
- 163 ICメモリー
ICで構成された記憶媒体で、可動部分が無い為、従来の記憶媒体であるハードディスクに比べて「故障しにくい」という特徴があります。周辺器機としてのICメモリーは、記憶容量の大きい順に、「SSD」、「USBメモリー」、「メモリーカード」がありますが、まだまだハードディスクの容量に比べると小容量で、価格も割高になります。

- 164 IDE ⇒ EIDE (129)
- 165 IEEE1284
 (アイトリプリー1284) コンピュータと他のデバイスを接続する「双方向パラレル通信規格」の1つで、1990年頃までは、プリンターとの接続に使用されていましたが、その後、USB規格での接続が主流となり、現在では使われなくなっています。
- 166 IEEE1394
 (アイトリプリー1394) 元々は、AV機器やコンピュータを接続する「シリアル通信規格」の1つで、1986年にアップルが提唱したFireWire (ファイヤーワイヤー) 規格をソニー、TI、IBMなどと共同で1995年にIEEE 1394-1995として標準化したもの。一時期、USB規格よりも高速転送ができた為、コンピュータと周辺機器を接続する規格として期待されましたが、すぐにUSB規格の転送速度が追いついた為、徐々に使われなくなりました。
- 167 IIS
 (Internet Information Services) WEBサーバーの機能の一つで、インターネットに接続されたクライアントコンピュータからの要求に応じて、WEBページのデータを送信する役割を担います。この機能は、サーバーの「サービス機能」(自動応答するプログラム)として動作するので、「インターネット・インフォメーション・サービス」という名前が付けられています。
- 168 IISサーバー ⇒ IIS(167)
- 169 IME
 (Input Method Editor/アイ・エム・イー) コンピュータの文字入力では、アルファベットや数字、記号以外の文字 (例えば日本語文字など) は、キー入力を変換する事で画面に表示できます。この時動作するソフトが「文字入力支援ソフトウェア」です。非アルファベット圏の国や地域で、各言語に特有の文字を入力するために利用されるもので、日本では主に日本語の文字 (ひらがな、カタカナ、漢字) を入力するために用いられており、「日本語入力システム」とか「かな漢字変換システム」と呼んでいます。「Microsoft IME」や「ATOK」等がよく使われています。
- 170 Input Method Editor ⇒ IME(169)
- 171 Integrated Drive Electronics ⇒ IDE / ⇒ EIDE
- 172 Integrated Services Digital Network ⇒ ISDN(176)
- 173 Internet Information Services ⇒ IIS(167)
- 174 IPアドレス
 (アイピー・アドレス) ※以下の説明は、「ローカルIPアドレス」についてです。(参照⇒グローバルIPアドレス) ネットワークに接続しているコンピュータを、互いに識別する為に付けられる「一意の番号」のこと。IPアドレス (IPv4規格) は、XXX. XXX. XXX. XXX のように0?255の数字4組で表記され、組み合わせは「256×256×256×256=43億とおり」の計算結果だけあり、一見無限にあるように思えますが、世界中のネットワーク器機 (コンピュータやプリンター、ルーターなど) に対して、全て一意のアドレスを割り振ることはできません。(IPv4の場合) その為に、新たな規格である「IPv6」IPアドレスへの移行が始まっています。(IPv6規格では、約340澗 (かん) とおりのアドレスを使うことができます。) コンピュータのIPアドレスを個別に設定するには、「イーサネットのプロパティ」から「TCP/IPのプロパティ」で設定しますが、通常はネットワークに接続されテイル「DHCPサーバー」によって、自動的に割り振られます。(家庭内のネットワークでは「ブロードバンドルーター」がDHCPサーバーの役割を果たします。
- 175 IrDA
 赤外線通信規約の1つ。1対1で高速なデータ通信を行うためのIrDA DATAと、複数台の機器と双方向に通信を行うためのIrDA Controlがあります。器機通しの通信距離は1m程度で、16Mbpsまでの通信が可能です。近年で

は、2.4GHz (ギガヘルツ) 帯の電波を利用したBluetooth規格の利用が優越しており、IrDAは、電波環境を利用しにくいような場所での使用に限定されているようです。

176 ISDN

(Integrated Services Digital Network/アイ・エス・ディー・エヌ) 公衆通信回線の一種で、通信をデジタル化して、一つの回線網で音声、FAX、データ通信などの通信サービスを総合的に扱う通信回線のこと。従来のアナログ電話回線網を置き換えて、高度情報ネットワークを実現するために考案されたものです。

177 JAN ⇒ バーコード (504)

[戻る](#)

178 Java

(ジャバ) プログラム言語の一つで、C言語類似の構文構造を持ちます。Java言語で作成されたアプリケーションは、「Kava仮想マシン」と呼ばれる「仮想コンピュータ」上で実行されると言う特徴があります。その為、Javaアプリケーションは、「実行環境」を選びません。つまり、Javaアプリは、Windows上でも、Mac上でも、スマホ上でも動作します。また、WEBアプリケーションの開発が容易で、現在のWEBアプリケーションの多くが、Javaで開発されています。"

179 JavaScript

(ジャバ・スクリプト) スクリプト型プログラム言語の一つで、WEB画面を表示するブラウザ上で動くプログラムです。サーバーで動作する「WEBアプリケーション」ではなく、手元のコンピュータ (クライアント) で動作するので、「クライアントサイド・スクリプト」とも呼ばれます。類似のプログラム言語に「Java」がありますが、これとは全く別のものです。

180 Javaアプレット

(ジャバ・アプレット) 「アプレット」は、WEBブラウザ上で動作する「小さなプログラム」のことで、Java言語で作られたものを、「Javaアプレット」と呼びます。ブラウザでWEBページを閲覧する時に、HTMLページや画像などと共に、WEBサーバーからダウンロードされて、画面表示の為に実行されます。Javaアプレットは、JavaScriptと類似の動作を行う為、JavaScriptの代わりに使用する場合があります。

181 JISコード ⇒ 文字コード (764)

182 JPEG ⇒ 画像形式 (667)

[戻る](#)

183 LAN

(Local Area Network/ローカル・エリア・ネットワーク/ラン) 限られた範囲内にあるコンピュータや情報機器などを、ケーブルや電波で接続し、相互にデータ通信できるようにしたネットワークのこと。限られた範囲とは、1つの企業や1つの学校内で構築されているか、1つの建物内で構築されているものをさします。LANは、これらの構成範囲内で「閉じられたネットワーク」を構成します。外部のネットワーク (インターネットなど) に接続する場合は、「ファイアウォール」を介して接続し、不正なアクセス防御します。

184 LANアダプター ⇒ LAN(183)

185 LANカード ⇒ LAN(183)

186 LANボード ⇒ LAN(183)

187 LAN接続 ⇒ LAN端子(188)

188 LAN端子

ネットワーク器機とネットワークケーブルを接続する端子。有線ネットワークの規格で最も古い形式は、「同軸ケーブル」(テレビのアンテナ線と同じケーブル) で、接続端子は「F型コネクター」を使用。現在の一般的な接続は、「ツイストペアケーブル」(多くは8線のケーブル) で、接続端子は「RJ-45」を使用します。また、最も高速でノイズの少ない「光ケーブル」接続は、

「光コネクター」と呼ばれる端子で接続します。

- 189 Local Area Network ⇒ LAN(183)
190 LSI ⇒ IC(162)

[戻る](#)

191 Mac
書 (マック/マッキントシュ) Apple社が開発発売しているコンピュータのラインナップ名。1984年に初代のMacが発売され、翌年には、現在でもMacの評価を高めているDTP(デスクトップパブリッシング)の概念や文処理機能を高めたソフトが利用できるなど、「文書作成はMac」という評価を高めました。その後、2000年代に入って、OSは、「MacOS」から「macOS」に移行し、UNIX系システムとの親和性を高めました。またCPUも、それまでのモロローラ製CPU(MC69000系)から、インテル製(Intel64系)に変更され、Mac内に仮想のWindowsを構築できるようになるなど、Windows互換の可能性を高めてきました。また、サーバーOSもリリースしており、最新版の「macOSサーバー」では、Windowsネットワークとの相互接続も容易になるなど、Windowsとの親和性を高めています。(2020年現在、Apple社とMicrosoft社は、業務提携を結んでいます。)

- 192 macOS ⇒ Mac(191)
193 macOS Server ⇒ Mac(191)
194 Master Boot Record ⇒ マスターブートレコード(589)
195 MB ⇒ バイト(516)
196 Mbit ⇒ ビット(546)
197 Micro Processing Unit ⇒ MPU(207)
198 Microprocessor ⇒ MPU(207)

199 MIDI
(Musical Instrument Digital Interface/ミディ) 音楽データの記述・伝送などの方式を定めた標準規格の一つ。シンセサイザーなどの電子楽器やコンピュータを接続し、音楽データを送信してコンピュータやMIDI組み込みの楽器(ピアノなど)で自動演奏させる為に使われます。

200 MIPS
(Millions of Instructions Per Second/ミップス) コンピュータの処理速度をあらわす単位の一つで、毎秒何百万回の命令を実行できるかを表す値。1MIPSのコンピュータは、1秒間に100万回の命令を処理できる。主にCPUの性能を反映するため、プロセッサの性能指標として扱われることもあります。2020年度での最新のパソコン用CPUは、10万MIPS以上の性能を持っています。

- 201 MO ⇒ 光磁気ディスク(750)
202 Moving Picture Experts Group ⇒ MPEG(205)

203 MP3
(MPEG Audio Layer-3/エムピー3) 音声データの圧縮規格のひとつで、音楽CD並みの品質で10分の1から12分の1という高圧縮率を得ることができる規格です。MP3の普及により、インターネットによる音楽データの配信が活発になったと言えるでしょう。

204 MP4
(MPEG-4 Part 14/エムピー4) 動画や音声などを記録するためのファイル形式のこと。一般的には、動画の記録に用いられるが、データの「入れ物」の仕様である為、多種の形式の動画を格納することもでき、汎用性の高い規格です。

205 MPEG
(Moving Picture Experts Group/エムペグ) 動画や音声データの圧縮方式を、標準規格化するために、ISO(国際標準化機構)とIEC(国際電気標準会議)が設置した専門家委員会のこと。または、同委員会が勧告した規格群の総称。動画や音声データの圧縮方式の標準規格として普及して

いる。

- 206 MPEG Audio Layer-3 ⇒ MP3(203)
207 MPEG-4 Part 14 ⇒ MP4(204)

208 MPU

(Micro Processing Unit/エム・ピー・ユー) コンピュータにおける演算や制御などの機能を、一枚の半導体チップに集積したもの。コンピュータの心臓部であるCPU(中央処理装置)として用いられることが多い。マイクロコンピュータの時代(1980年代)に、インテル社が「CPU」と呼んでいた「中央演算装置」を、モトローラ社は「MPU」と呼んでいたのが当初の違い。パソコンの時代になってからは、「MPU」は「CPU」及びその動作に必要な周辺の回路を含めて呼ぶ名称となっています。

209 MS-DOS

(エムエス・ドス) マイクロソフト社が開発した「ディスク・オペレーティング・システム」のことで、Windows以前の「CUI」操作のオペレーティングシステムです。初期のWindowsは、MS-DOSの元で動作するアプリケーションとして機能しましたが、その後、WindowsそのものがOSに発展すると、立場は逆転して、Windowsの中にMS-DOSが埋め込まれた状態になります。Windows内のMS-DOSは、「DOSプロンプト」と呼ばれ、{DOS窓}と呼ばれる「CUI」環境で、MS-DOSのコマンドを実行して操作することが可能になっています。

- 210 Musical Instrument Digital Interface ⇒ MIDI(199)

- 211 NTFSフォーマット ⇒ ファイル形式 (552)

- 212 NT系列 ⇒ WindowsNT系(283)

- 213 NW-7 ⇒ バーコード (504)

214 OCR

(Optical Character Reader/オプティカル・キャラクター・リーダー) 文字認識スキャナーのこと。印刷物の内容を画像として取り込み、その中の文字情報を抽出するソフトウェア機能を統合している装置です。ペン式で数行のライン読み込みが可能な機種から、A4やB4サイズ of 用紙を、面でスキャンする機種まで、目的に応じて様々な機種があります。多くのOCRは、通常のバーコードや二次元バーコードを読み取れる機能を持っています。

- 215 OCRスキャナー ⇒ OCR(214)

216 One Drive

マイクロソフト社が提供するクラウドストレージサービスのこと。利用するには、「Microsoft アカウント」が必要ですが、登録すると無料で5GBの容量が使用できます。(それ以上は有料) Windows10やOfficeアプリと統合されているため、手元のコンピュータのストレージに保存するのと同じように、インターネット上の同社のクラウドサーバに保管することができます。One Driveを使用することで、使用する場所やコンピュータに関わりなく、インターネットに接続できれば、同じデータフォルダーにアクセスできるメリットがあります。

- 217 OS ⇒ オペレーティングシステム (355)

- 218 P2P ⇒ ピア・ツー・ピア・ネットワーク (541)

- 219 PC/AT互換機 ⇒ DOS/V互換機(112)

220 PCM

(Pluse Code Modulation/パルス・コード・モジュレーション/ピー・シー・エム) 音声などのアナログ信号を、デジタルデータに変換する方式の一つで、アナログ信号の強度を「サンプリング周波数」に応じて一定間隔で測定し、その強度を定められたビット数の範囲で整数値として「量子化」する方式です。例えば、CDの音声は、「サンプリング周波数44.1kHz (キロヘルツ)、量子化16ビット」で記録されており、これは毎秒44100回信号を測定し、その強度を65536 (16ビット) 段階の値で表しています。PCM

[戻る](#)

[戻る](#)

方式には、量子化データをそのまま記録する「リニアPCM方式」の他、直前のデータとの差分のみを記録する「DPCM方式」や「ADPCM方式」など、さらにデータの圧縮が可能な方式が開発されています。

221 PDFファイル

(Portable Document Format/ポータブル・ドキュメント・フォーマット/ピー・ディー・エフ) アドビ社が開発した文書形式で、文字や図形、表などを、紙に印刷するのと同じようにレイアウトしたページの状態を保存するためのファイル形式のこと。コンピュータやソフトが異なっても、同じ形の印刷画面を復元できることと、データの改ざんに耐性があることが重要で、見積文書など多方面の正規文書として利用されています。

222 Peer to Peer ⇒ ピアツーピアネットワーク (541)

223 PNG

(Portable Network Graphics/ピング/ピー・エヌ・ジー) 画像データを圧縮して記録するファイル形式の一つで、フルカラーの他に255色パレットや半透明もサポートされており、JPEGやGIFでは実現できない画像を作成する事ができます。また、「APNG」(Animation PNG)という拡張された規格では、名前の通り「アニメーションGIF」のような動くのある画像を作成することも可能になりました。APNGは、「LINEスタンプ」で使用されている規格で、アニメーションGIFよりも、より高画質なアニメーション画像を作成できます。

224 Portable Document Format ⇒ PDFファイル(221)

225 Portable Network Graphics ⇒ PNG(223)

226 Pulse-code modulation ⇒ PCM(220)

227 RAM

(Random Access Memory/ラム) データの書込みと読み出しが可能な半導体記憶素子。常に再書込みを行うダイナミックRAM (DRAM) と、電源が通じている限り書込みが保存されるスタティックRAM (SRAM) がある。DRAM・SRAMともに、電源供給が無くなると記憶情報も失われるため、「揮発性メモリ」とも呼ばれます。コンピュータの主記憶装置 (内蔵メモリー/RAM) に使用されています。また、読み出しのみで、書き込みができないメモリーを、「ROM/リード・オンリー・メモリー」と言います。

228 Random Access Memory ⇒ RAM(227)

229 Read Only Memory ⇒ ROM(232)

230 RGB端子 ⇒ アナログRGB端子/ディスプレイの接続端子 (456)

231 RJ-45端子 ⇒ LAN端子(188)

232 ROM

(Read Only Memory/リード・オンリー・メモリー/ロム) 読み出し専用で書き込みができないメモリーのこと。ROMは、データを記録するメディアによって、呼び方が異なる場合があります。例えば、コンピュータの「BIOS」等は「半導体ROM」が使われていますが、ソフトを購入した時などに同梱されるインストーリメディアは、「CD-ROM」と呼ばれます。また、半導体ROMの中には、「EPROM (フラッシュROM)」と呼ばれる、内容の消去や再書込が可能なものもあります。

233 RS232-C端子

(アール・エス・232・C) コンピュータと周辺器機を「シリアル転送」でデータを送受信する規格の接続端子。以前のデスクトップコンピュータには、この端子が装備されていましたが、最近のコンピュータには装備されていません。理由は、外部器機接続のほとんどが「USB規格」に変更されたためです。現在では、一部の業務用器機に、RS232-C規格が使われているだけで、一般ユーザーには不要となっています。

234 SATA

(シリアル・エー・ティ・エー) コンピュータとハードディスクや光学ドライブを接続するための規格の一つ。1本の信号線でデータを送受信する「シリアル規格」の転送方式を採用している為、従来のIDEやEIDEより高速なデータ転送が可能で、現在主流の接続規格です。

- 235 Serial Advanced Technology Attachment ⇒ SATA
- 236 Serial ATA ⇒ SATA
- 237 Shift-JISコード ⇒ 日本語文字コード (745)
- 238 Solid State Drive ⇒ SSD(240)
- 239 SRAM ⇒ RAM(227)

240 SSD

(Solid State Drive/ソリッド・ステイト・ドライブ/エス・エス・ディー) 半導体メモリをディスクドライブのように扱った補助記憶装置の一種のこと。シリコンドライブ、半導体ドライブ、メモリドライブ等とも呼ぶ事もあります。HDDは読み書き時にヘッドが移動する時間(シークタイム)が発生するため時間ロスがありますが、SSDはヘッドの物理的な移動時間なく読み書きできるため、高速処理が可能です。また、駆動部分がないので、動作音がなく静かなことも特徴です。この他に、発熱が少ない、衝撃や振動に強いなどのメリットがあります。しかし、ハードディスクと同じ様にSSDにも寿命があり、10年(読み書き回数にして10万回)程度とされています。(ハードディスクの平均寿命は5年程度。SSDの寿命は、半導体素子の書き込み回数による素子機能の劣化が原因です。)

241 SSL

(Secure Sockets Layer/エス・エス・エル) インターネットなどの「IPネットワーク」で、データを暗号化して送受信するプロトコル(通信手順)の一つ。インターネットに接続した双方の器機間で、「公開鍵暗号」を使った通信を行うことで、安全な通信を行うことができます。SSL通信プロトコルを利用する場合は、URLに、https: を使用しなければなりません。

- 242 Unicode ⇒ 日本語文字コード (745)
- 243 Uniform Resource Locators ⇒ URL(249)
- 244 Uninterruptible Power Systems ⇒ UPS(248)
- 245 Universal Serial Bus ⇒ USB規格(257)

246 UNIX

(ユニックス) 1969年にベル研究所で開発が始まったマルチタスク・マルチユーザーのオペレーティングシステムの商用版OS。当初から「オープンソース」(プログラムを公開しているソフト)として開発された為、UNIXから派生したOSが多数開発されており、中でも「Linux」と呼ばれる派生OSグループは、現在でも多くのユーザーが使用しており、本家のUNIXを使用するユーザーよりも多いとされています。基本は「CUI」ベースの操作環境ですが、「GUI」環境の操作コンソールも提供されていますが、いずれもパワーユーザーが多く、一般ユーザーはやはり「Windows」または「Mac」の使用が圧倒的です。ただし、WEBサーバーに関しては、Windowsサーバーよりも安定性で評価されるUNIXサーバーが多く使用されています。

- 247 UPC ⇒ バーコード (504)

248 UPS

(Uninterruptible Power Supply/アンインターラプタブル・パワー・サプライ/ユー・ピー・エス) 「無停電電源装置」のこと。コンピュータの電源を、直接壁などのコンセントに接続せず、間にこの装置をはさんで電源に接続することにより、停電などで電源が遮断された場合でも、数分から10分程度の間、この装置から安定した給電が継続します。サーバーなどでは、この間に、安全にシャットダウン動作が行われ、器機の損傷やデータの損失を防ぐことができます。

249 URL

(Uniform Resource Locator/ユニフォーム・リソース・ロケータ／ユー・アール・エル) インターネット上に存在する、データやサービスなどの、「情報資源の場所」を記述する表記法の一つで、Webページのアドレスとして広く普及しています。先頭には、必ず「スキーム」と呼ばれる「通信規約名(プロトコル)」を記載し、その後に、スキーム毎に決められたアドレスの記述を行います。例えば、STSのホームページへのアクセスは、次のURLで行います。「https://sts.ext.jp/index.html」では、「https:」が「スキーム名」、「sts」が「サブドメイン名」、「exp.jp」は「ドメイン名」、「index.html」が「ファイル名」を表しています。(最後の「index.html」は省略できます。)

250	USB	⇒	USB	⇒	USB規格(257)
251	USB2端子	⇒	USB2	⇒	USB規格(257)
252	USB3端子	⇒	USB3	⇒	USB規格(257)
253	USB3.1端子	⇒	USB3.1	⇒	USB規格(257)
254	USB-C端子	⇒	USB-C	⇒	USB規格(257)
255	USBポート	⇒	USB規格(257)		
256	USBメモリー	⇒	USB規格(257)		

257 USB規格

(Universal Serial Bus/ユニバーサル・シリアル・バス/ユー・エス・ビー) コンピュータに周辺機器を接続するための「シリアルバス規格」の1つ。USB以前は、プリンタやキーボード、マウス、ハードディスクなど、機器ごとに異なる規格で接続していた為、コンピュータには、各種のポート(接続端子)を装備しなければならず、1つの規格のポートは1つずつしか装備できませんでした。その為、同じ規格の器機を複数接続する事が困難な場合も多く、改善が求められていました。この問題を解決する為に、これらの規格を統一して1つのポートで運用できるようにしたのが、USBという規格です。2020年現在市販されているUSB規格は、2.0(480Mbps)、3.0(5Gbps)、3.1(10Gbps)があり、さらに高速な4.0(20~40Gbps)規格も決まっています。また、端子形状では、TypeA、TypeB、TypeB-SuperSpeed、TypeCなどがあります。さらに、給電に関する規格でも種類が分かれ、様々な組み合わせのUSB端子が存在します。

258	USB接続	⇒	USB規格(257)
259	USB端子	⇒	USB規格(257)
260	UTF-16	⇒	Unicode/日本語文字コード(745)
261	UTF-8	⇒	Unicode/日本語文字コード(745)
262	Virtual Local Area Network	⇒	VLAN(270)

[戻る](#)

263 VBA

(Visual Basic for Applications/ビジュアル・ベーシック・フォー・アプリケーション/バイ・ビー・エー) Microsoft Officeに含まれるアプリケーションソフトの拡張機能で、簡易なプログラムを記述して、複雑な処理の自動化を行なうためのプログラミング言語。文法や関数は、Visual Basicと同等の構造なので、簡単にプログラムを記述できます。作成したプログラムは、WordやExcel等に内蔵され、これらの文書を起動すると同時、または実行を指示した時に実行されます。その為、悪意のある処理を記述して、これらの文書に内蔵させると、ウィルスと同様の結果を招くため、通常は、これらの文書に内蔵された「マクロ」や「スクリプト」は、自動実行しないように設定されています。Win書庫では、書式を付けた印刷を行う時、VBAで記述した印刷プログラムを内蔵するExcelを起動して、印刷を実行しています。

264	VBScript	⇒	VBA(263)
265	VGA端子	⇒	アナログRGB端子/ディスプレイの接続端子(456)
266	Video Random Access Memory	⇒	VRAM(273)
267	Virtual LAN	⇒	VLAN(270)
268	Virtual Private Network	⇒	VPN(272)

269 Visual Basic for Applications ⇒ VBA(263)

270 VLAN

(Virtual LAN/バーチャル・ラン/バイ・ラン) 「仮想LAN」(仮想的に構築されたLAN)のこと。例えば学校内に施設されたLAN(実配線のLAN)は、LANケーブルが接続されている範囲のコンピュータは、互いに認識でき、共有フォルダーなどにアクセス可能ですが、先生用(校務系)のLANと生徒用(教育系)のLANを分離して運用したい場合、通常のLANなら、別々に配線を行わなければなりません。これには費用も倍かかるし、完全に分離されたLANでは、先生用LANから生徒用LANに入ることもできないので、使い勝手は悪くなります。これを解消する為に「VLAN」を利用します。VLANでは、実配線が1つのネットワークを、「IPアドレス」等によって、ネットワークを流れる信号を制御し、あたかも分離された複数のLANが存在するような運用が可能になります。VLANを実現するには、「レイヤスイッチ」と呼ばれる、ネットワークを流れる信号を制御できる装置が必要です。多くの学校では、VLANにより、「校務系LAN」と「教育系LAN」に分離されており、「校務系LAN」からは「教育系LAN」に入ることはできるが、その逆はできないように設定されています。

271 VLSI ⇒ IC(162)

272 VPN

(Virtual Private Network/バーチャル・プライベート・ネットワーク/バイ・ピー・エヌ) 「仮想的に構築された非公開ネットワーク」のこと。通常、「プライベート・ネットワーク」を構成するには、専用線が必要ですが、専用線は高価ですし施設が大がかりになり、時間がかかるものですが、既設の公衆回線を利用できる「VPN」は、低価格で短時間での導入が可能になります。公衆回線(インターネットを含む)上に、「専用ルーター」を使って、ネットワーク回線に、「仮想の専用線」を設定し、特定の人のみが利用できる専用ネットワークとする事ができます。また、「トンネリング」・「暗号化」などを設定することで、公衆回線を使いながら、セキュリティ上安全にデータのやり取りを行うことができるようになります。

セキュリティ

273 VRAM

(Video RAM/ビデオ・ラム/バイ・ラム) ディスプレーに表示する画像データを、一時的に蓄積するメモリーで、メインRAMからシェアして使用される場合と、専用のビデオカードなどに実装されている専用メモリーが使用される場合があります。表示される画面の解像度と色数に応じて、必要なVRAMの実装量は異なりますが、少なければ、コンピュータは動作できなくなるので、多く実装する事が推奨されています。

戻る

274 WAN

(Wide Area Network/ワイド・エリア・ネットワーク/ワン) 互いに離れたLAN通しを、一般の電話回線や専用線、インターネットなどを利用して接続した、広域のネットワークのこと。接続には、公衆回線を利用する 경우가多く、ネットワークの秘密性を保持する為には、「VPN」などの技術が使われています。一般的には、本社や支社は、それぞれの構内で外部から接続できないLANを構築しますが、本社と支社の間だけは、ネットワークの接続を確保する必要があります。WANはそのようなネットワーク構成に利用されます。

275 WEBアプリケーション

WEBサーバーで動作するプログラムのこと。一般のアプリケーションは、自分が操作している目の前のコンピュータ(ローカルコンピュータと言います)で動作します(Windowsアプリケーションなど)が、WEBアプリケーションは、手元のコンピュータのブラウザで操作して命令を送信(リクエストと言います)し、WEBサーバーで処理が行われ、ブラウザに結果を返す形で動作します。WEBアプリケーションの例としては、「YouTube」や「ウェブメールサービス」、「インターネット電話サービス」、ネット通販での買い物などがあります。図書館関連では、インターネット型の図書管理システムがWEBアプリケーションです。

276 WEB回線 ⇒ インターネット (327)

277 WEBサーバー

インターネットに接続されているサーバーで、WEBサービスを提供するもの。WEBサービスとは、インターネットユーザーのアクセスにより、「WEBページのデータを送信」したり、「メールの送受信」を行ったり、「WEB動画を提供」したりすること。私達がWEBサーバーにアクセスする場合は、WEBページの閲覧が中心と思われそうですが、例えば、STSのホームページにアクセスする時は、ブラウザで次のURLを入力します。

<https://sts.exp.jp/> (URLを参照して下さい。)

実は、このアドレスでは、直接STSのホームページにアクセスする事はできないのです。このアドレスを、ネット上の「DNSサーバー」に問い合わせ、実際のSTSホームページの「グローバルIPアドレス」に変換して接続します。インターネット上でも、WEBサーバーなどのコンピュータには「グローバルIPアドレス」と呼ばれる、アドレスが付けられており、そのアドレスを元に、様々な通信の接続がおこなわれるのです。

278 Wide Area Network ⇒ WAN (274)

279 WiFi

(ワイファイ) 無線LANの規格である「IEEE 802.11規格」に準拠しており、相互接続が可能になっていると認められた製品に付けられるロゴのこと。無線LANの規格の名前ではありません。WiFi接続可能な場所を「Wi-Fiスポット」と言い、その場所には「Wi-Fiルーター」が設置されています。1台のWiFiルーターの設置場所から、半径10m程度の範囲でインターネットなどへの接続が可能になります。WiFi端末器機としては、携帯電話やスマートフォンで最も普及しており、ノートコンピュータにも装備されています。

280 Windows

(ウィンドウズ) Microsoft社が、パソコン向けに開発している「GUI環境」のオペレーティングシステム(OS)のシリーズ名で、1980年代の「CUI環境」で動作する「MS-DOS」に代わるOSとして登場したOSです。初期のWindowsは、MS-DOSシステムの元に、GUI環境を構築する形で実装されており、実用性と言う点では十分な機能は発揮しませんでした。1995年発売の「Windows95」の登場により、MS-DOSに依存しない単独のOSとして機能し、同バージョンで実装されたインターネットアクセス機能により、名実ともに、オペレーティングシステムとしてのWindowsが確立しました。その後、2001年の「WindowsXP」からは、Windowsの基本設計が変更され、「NT系列の設計」が採用され、現在のWindowsに至っています。マイクロソフト社は、一般利用者向けのOSと共に、サーバーOSもリリースしています。

281 Windows Update

(ウィンドウズ・アップデート) 使用中のWindowsを、自動的に更新してシステムを最新の状態に保つための機能です。詳細オプションで、マイクロソフト製品のアップデートも指定知ると、Windows dakedenaku Office製品も自動的にアップデートされます。Windows Update を実行すると、製品の発売以降に見つかった問題の修正や、新しく追加された機能を自動的にダウンロードして更新します。マイクロソフト社は、Windows10は、製品名としては最後のバージョンで、以降のバージョンアップは、全て「Windows Update」で修正するとアナウンスしています。つまり最新版に、いつでも無料でアップデートできるのです。

282 Windows9x系

マイクロソフト社製のオペレーティングシステム(OS)のうち、Windows95及びそれを元に開発されたOSの総称のこと。「9xカーネル」とも呼ばれ、Windows3.1以前との互換性を重視した為、基本部分に16ビットのコードと32ビットのコードが混在するという特徴があり、この混在が基本動作に複雑さをもたらし、安定性に欠けるという弱点がありました。

283 WindowsNT系

マイクロソフト社製のオペレーティングシステム (OS) であるWindowsは、一般ユーザー向けのバージョンとして、Windows95→Windows98→WindowsMe と発展させてきた「9x系」に対し、企業向けのバージョンとして、Windows NT→Windows 2000 と発展した「NT系」の2系列のWindowsがあります。9x系は、安定性よりも互換性を重視し、NT系は、安定性を重視したバージョンで、2001年発売の「WindowsXP」で、両系列は「NT系」に統一されました。カーネルと呼ばれる基本部分は完全32ビットになり、動作安定性はNT系列の特徴ですが、統一化で、9x系列のグラフィック系デバイスドライバの互換性を受け入れた為、初期は不安定な時期もありました。WindowsXP以降のバージョンは、全てNT系列で、特にWindows7、Windows10が安定なバージョンとして、多くのユーザーから支持されています。

284 Windowsアプリケーション

「Windowsアプリケーション」の定義は、技術の進歩や社会の変化により大きく変動しています。初期は、手元のコンピュータの「Windows (OS) の元で動作するソフトウェア」として定義されており、「WEBアプリケーション」の対語と考えられていましたが、現在は、「操作環境が『窓』の形で提供され、タッチやスワイプなどの操作で動作するソフトウェア」と定義される場合が増えています。(動作デバイスとしては、PCだけでなく、スマートフォンなども含まれます。つまり、より広範囲の定義になったということです。) 今回提供した文書「図書館担当者の為のコンピュータ入門」では、前者の定義で使用していますので、ご注意ください。前者の定義には、「デスクトップアプリケーション」や「ネイティブアプリケーション」という新しい名前が付けられたりしていますが、本マニュアルでは、「Windowsアプリケーション」という言葉を使用します。

戻る

285 x64

(エックス・ロクヨン) インテル社が発売する「CPU」の設計仕様の呼び名。64ビットシリーズのCPU名に付けられた呼称です。 ⇒ x86(286)

286 x86

(エックス・ハチロク) インテル社が発売する「CPU」の設計仕様の呼び名。16ビットCPUである「i8086」から始まった「i80x86」シリーズのCPU名から付けられた名称で、16ビットから32ビット仕様のCPUに付けられた呼称です。同様に付けられた64ビットCPUの呼称「x64」に対比して使われます。本来は、CPUの仕様として使われる用語ですが、アプリケーションがどちらのCPUに対応して開発されているかを示す「x86パッケージ」や「x64パッケージ」という呼び方もあります。「x86」は、16・32ビットCPUの呼称であり、32ビット仕様のアプリケーションの呼称です。「x86CPU」のコンピュータで、64ビットアプリケーションを実行する事はできませんが、「x64CPU」は、「x86互換モード」を備えているので、32ビットアプリケーションを実行する事ができます。Win書庫は、「x86・32ビット」仕様で開発したアプリケーションですので、「x86・32ビット」CPUのコンピュータ、「x64・64ビット」CPUのコンピュータ、どちらでも動作します。

287 XHTML

(Extensible HyperText Markup Language/エクステンシブル・ハイパーテキスト・マークアップ・ランゲージ) WEBページの記述に用いる、「マークアップ言語」である「HTML (HyperText Markup Language)」を、「XML」の仕様に合わせて再定義したWEBページ記述言語のこと。基本的な文書構成は、HTMLと同様ですが、「文書の先頭に必ずXML宣言を記述する必要がある点」や、「要素名や属性名を小文字で書く点」、「終了タグが省略できない点」など、XMLが要請する規約が盛り込まれている。

288 XML

(Extensible Markup Language/エクステンシブル・マークアップ・ランゲージ) 文章の見た目や構造を記述するためのマークアップ言語の一種で、データの内容を指定する「タグ」を自由に設定でき、柔軟で分かりやす

く文章構成を決めることができるという特徴があります。また、文章構造を階層化できるため、データの構造化が可能というメリットがあります。

289 XML Paper Specification ⇒ XPS(290)

290 XPS

(XML Paper Specification/ XML・ペーパー・スペシフィケーション)
「PDFファイル」と同様に、コンピュータの機種やソフトウェア、フォントなどの環境に依存せず、文書作成時とほとんど同じ形で表示・印刷することができる文書形式ファイルです。XPS文書の拡張子は、「.xps」です。XPS文書は、印刷メニューから、プリンターに「XPS Document Writer」を指定して出力することで作成できます。これは、PDF文書が、印刷メニューで作成するのと同じ手順です。このように印刷で文書作成路行う時に使用するプリンターを「文書作成仮想プリンター」と呼びます。

291 XPS Document Writer ⇒ XPS(290)

292 XPSファイル ⇒ XPS(290)

[カタカナ]

戻る

293 アーカイブ

文書や画像・映像などのデータを、記録保存したもの、または、記録の保管場所や書庫などの意味を持つ語。情報分野ではデータを長期保存するための保管場所や記録形式、保管用にひとまとめに整理されたデータなどを指します。また、情報を保存する際に、圧縮・結合してデータを縮小する処理なども意味します。

294 アーキテクチャー

本来は、建築物などの構造や構成の様式、工法・構造を意味する言葉ですが、情報の分野では、コンピュータやソフトウェア、システムなどの構成要素などにおける、基本設計や共通仕様、設計思想などを指す言葉として使われています。

295 アカウント

コンピュータやネットワーク上のサービスなどを使用する権利のこと。一般的には、アカウントは、「ユーザー名 (ID)」と「パスワード」の組み合わせのことを指します。

296 アクセス

一般的には、「交通アクセス」などのように、「接近する」という意味ですが、情報の分野では、コンピュータやネットワークに接続すること。あるいは、ハードディスクなどからデータを読み出したり、書き込んだりすることも意味します。「アクセスポイント」は、無線LANでネットワークに接続するための中継器、または、サービス・プロバイダーの中継基地のことを意味します。

297 アクセス管理

コンピュータやネットワークに接続したり、フォルダーやデータの読み書きや削除、移動などを行う時、適切な権限を持つ者だけが必要な操作ができるように、「器機やデータ側に行う設定」と「利用者側に行う設定」の双方を適切に行う事で、システム全体の安全性を高めることは可能になります。このような安全性の管理を「アクセス管理」と言います。

298 アクセス権 (権限)

コンピュータやネットワーク、フォルダーやデータなどに設定する、操作の「許可権限」(あるいは、拒否権限)のこと。

299 アクセス制御 ⇒ アクセス管理 (297)

300 アクティブディレクトリ ⇒ (Active Directory) ドメインコントローラー (483)

301 アスキーコード

アルファベットや数字、記号などを収録した文字コードの一つ。基本的に、全てのコンピュータが標準で持っている文字コードで、器ボードに刻印されている文字。1バイト（8ビット）で表現できる「256文字」が割り当て可能ですが、実際には「128文字」が基本文字として割り当てられています。残りの「128文字」は、それぞれの国で使用する文字を割り当てることが可能になっています。（拡張アスキーコード）日本では、半角カナ文字などが割り当てられています。（文書中に、アスキーコードの半角カナを使用することは推奨できません。文書の文字化けを起こす原因になる場合があります。） ⇒ 文字コード（764）

302 アセンド

（ascend／昇順）データの並べ替え（ソート）の時、データ順を「昇順」（小さい値から大きい値）に並べる時に指定します。
⇒ ディセンド／降順（695）

303 アセンブリ言語

「プログラミング言語」の一つで、最もコンピュータ（マシン、2進数で命令を解釈します）に近いレベルの言語です。プログラム言語の分類方法の一つに、「低級言語」と「高級言語」に分ける方法がありますが、「アセンブリ言語」は、「低級言語」に属し、プログラミングに使用する各種命令語（コマンド）は、テイキュウ言語のプログラマでなければ理解できない言葉を使用します。

304 アタナソフ&ベリー・コンピュータ

1941年に稼動したジョン・ビンセント・アタナソフとクリフォード・E・ベリーによって開発されたコンピュータ。二進法の採用や並列コンピューティング、再生式メモリ、メモリと演算機能の分離といった数々のコンピュータに関する基本動作を実動させたコンピュータです。一般的に、世界初のコンピュータは、1946年の「ENIAC」とされていますが、これは「プログラム内蔵型」という意味での世界初で、実際の世界初のコンピュータは、このコンピュータと考えられています。

305 アップロード

WEBサーバーなどにデータを保管する時、端末からWEBサーバーへのデータ移動を「アップロード」、逆を「ダウンロード」と言います。
⇒ ダウンロード（444）

306 アドミニストレーター

（Administrator）WindowsOSの既定の「ユーザー名」の一つで、最高位の権限を持っています。全ての操作を行う権限を持つので、このユーザーが不正利用されると、コンピュータやネットワークは、大変危険な状態になるので、このユーザーの管理には、十分な注意が必要です。一般的には、このユーザーは使わず、別にユーザーを作成して、作成したユーザーを、より安全な「アドミニストレーターズ」グループに所属させて運用します。

307 アドミニストレーターズ

（Administrators）WindowsOSの既定の「グループ名」の一つで、最上位の権限を持っていますが、「アドミニストレーター」（既定ユーザー名）が持つ権限と、全く同じではありません。アドミニストレーターにできる操作の内、OSの設定に関わる一部の権限が抑制されています。従って、Windowsを使用する通常のユーザーは、「アドミニストレーターズグループ」に属するアカウントを使用するのが安全です。

308 アナログRGB

コンピュータからディスプレイに映像信号を流す時、どのような形式の信号を流すかを定める規格の一つです。「アナログRGB」は、アナログ信号で、R（赤）・G（緑）・B（青）の3つの色成分に分けた信号で情報を流します。赤・緑・青は、「光の3原色」と呼ばれ、カラーディスプレイやカラーテレビ画面の3原色に相当します。 ⇒ アナログ信号（310）

- 309 アナログRGB端子 ⇒ ディスプレイの接続端子 (456)
- 310 アナログ信号
連続的に変化する信号のこと。例えば、音声信号の場合は、音質は波形、音量は振幅で表現しますが、いわゆる正弦波の形で、連続した波の変化が音の変化を表します。波形も振幅も、連続的に変化するのがアナログ信号の特徴ですから、データとしては全ての形の波形が存在し得るので、何らかのノイズが入っても、それがノイズかどうかの判断ができないので、修復もできません。このような理由から、アナログ信号は、ノイズに弱いという特徴があります。 ⇒ デジタル信号 (472)
- 311 アプリケーションサーバー
インターネットで運用する「WEBシステム」に、アプリケーションプログラムを動作させるサーバーのこと。WEBシステムは、「Webサーバー」・「アプリケーションサーバー」・「データベースサーバー」の3つの機能で動作しており、インターネットを通じてブラウザからアクセスされると、「WEBサーバー」は、ブラウザからのリクエストを、「アプリケーションサーバー」に、JavaやPHP、Rubyなどで処理を行わせます。その時、必要に応じて「データベースサーバー」を参照する事もあります。そして、「WEBサーバー」は、結果に基づいてWEB画面のデータを作成して、クライアントに送信し、ブラウザの画面に表示します。
- 312 アプリケーションソフトウェア
アプリケーションソフトは、Word・Excel・Win書庫などの、利用者が具体的な目的をもって操作するソフトウェアの一種で、オペレーティングシステム(OS)に依存して動作するプログラムです。アプリケーションソフトは、OSの助けを借りなければ、コンピュータのハードウェアに指示を出すことはできません。また、OSは、「BIOS」の助けを借りて、ハードウェアを操作します。このように、アプリケーションソフトは、コンピュータに組み込まれている様々なシステムソフトの助けが無ければ、動作しないのです。
- 313 アプレット
(Javaアプレット) Java言語で開発された断片的な(小さな)プログラムの形式の一つで、WEBページに埋め込まれて、WEBブラウザ上で実行され、画面の表示や並べ替え、検索・・・等を実行します。
- 314 アルゴリズム
特定の問題を解く手順を、単純な計算や操作の組み合わせとして定義したもの。数学の計算手順や、コンピュータ・プログラムの定型化された処理手順を意味します。情報分野に限定すると、ある事象をプログラム化する際の解決技法の事です。いつの問題を解決する方法(アルゴリズム)は多数あり、プログラマーは、最も効率よく(処理が早くなります)、分かりやすい(間違いが少なくなります)アルゴリズムを考えます。
- 315 アンインストール
インストールしたアプリケーションを削除して、インストール前の状態に戻します。アプリケーションの種類によっては、プログラムを削除するだけで無く、インストール時に作成されたフォルダーや設定データ、さらには「レジストリ」のエントリーデータを削除しなければならない者もあります。単純にアプリケーションプログラムだけを削除しても、アンインストールにならない場合もアルので、注意が必要です。
- 316 アンチウイルスソフト
(ウイルス対策ソフト) コンピュータウイルスを検出・除去するためのソフトウェア。ウイルスは、日々パターンを変化させているので、アンチウイルスソフトのパターンも、定期的に更新する必要があります。
- 317 アンチウイルス機能
(Anti-Virus) コンピュータウイルスやマルウェア(不正かつ有害に動作させる意図で作成された悪意のあるプログラムやコードの総称)など、コンピュータの利用に有害なものに対する対策を意味し、アンチウイルスソフト

戻る

トやウイルス対策ソフトなどの他、ウイルスの感染や拡大を防ぐための考え方やリテラシーも含めてアンチウイルス機能と呼びます。
⇒ アンチウイルスソフト (316)

318 イーサネット

(Ethernet) 室内や建物内でコンピュータやネットワーク器機を、ケーブルで繋いで通信する「有線LAN」の標準規格の一つ。現在使用されている有線LANは、「ツイストペアケーブル」で接続する規格(100BASE-TX、1000BASE-T)と、光ケーブルで接続する規格(1000BASE-LX)があります。イーサネットは、米国電気電子技術者協会(IEEE/Institute of Electrical and Electronics Engineers/アイ・トリプル・イー)が、標準規格「IEEE 802.3」として既定しています。また、イーサネットとは別に、「無線LAN規格」は、「IEEE 802.11」として規定しています。
⇒ 無線LAN (761)

319 イベント

一般社会では、「できごと」や「企画」などの意味ですが、情報分野では、コンピュータや実行中のプログラムの外部で発生した事象や、その事象を通知するメッセージなどのことを意味します。実際には、様々な意味で使われる言葉ですが、一番重要な意味に、「Windowsイベント」があります。これは、コンピュータの動作の中に、「キーが押された」とか「マウスが動いた」とか「シャットダウンを開始した」などの出来事を「イベント」といいます。また、動作中のアプリケーションなどでも、「データの読み出し」や「ウィンドウの切り替え」などのイベント(システムコールと呼ぶ事もあります)が発生します。これらのイベントやシステムコールは、常に「コンピュータと周辺器機の間」や「コンピュータとアプリケーションの間」でやりとりが行われており、これにより、様々な処理が行われます。

320 イベントID ⇒ イベントログ (322)

321 イベントビューア ⇒ イベントログ (322)

322 イベントログ

コンピュータで発生した様々なイベントを記録したデータのこと。「イベントビューア」で、発生したログを、種類に整理して閲覧する事ができます。イベントには、「イベントID」(番号)が付けられており、この番号でWEB検索すると、イベントの意味や問題解決の方法などが分かる場合があります。

323 イメージバックアップ

特定のファイルやデータを対象に行うバックアップに対して、イメージバックアップは、システム全体を一括してバックアップする事を言います。

324 インクジェット方式

(インクジェットプリンター) プリンターの印刷方式の一つで、印刷面にインクを吹き付ける方法で印刷します。インクを直接吐出する方式であるため他の方式の印刷機のように印刷媒体が平坦である必要が無く、立体面に印刷できる機種(多くは業務用)もある。インクの噴射方式により、ピエゾ方式(圧電素子が体積膨張することでインクを吐出する方式・エプソン社など)とサーマル方式とサーマル方式(加熱により膨張でインクを吐出する方式・キャノン社など)に二分される。一般的には、ピエゾ方式は、印刷精度が高く、インクの自由度が高いが、構造が複雑になるため故障リスクが高くなる。一方のサーマル方式は、構造が簡単で印刷速度にメリットがあります。インクを加熱する為、インクが劣化し易くなります。使用するインクには、「染料系インク」と「顔料系インク」があり、前者は「紙に色素を染み込ませて色をつける方式で、色再現性が高いが耐光性が低い」という特性があります。後者は「紙の表面に付着させ水分を蒸発させて定着させる方式で、耐光性が高いが乾燥が遅い」特徴があります。長期間使用する印刷物では、「耐光性」を重視すべきでしょう。

325 インクリメント

数値計算で、数値に1を加える操作のことを ⇒ デクリメント (467)

326 インシデント

(Incident) 一般的な意味は、「でき事」や「事件」のことで、情報関連では、コンピュータシステムの運用に関する「トラブル」を意味します。ソフトのサポートサービスには、「インシデント・サポート」という形態があります。(STSサポートの「スポットサポート」もインシデント・サポートです。) この形態のサポートでは、1つのインシデントが対象となるサポートで、対象となるインシデントが解決もしくは集結状況になると、サポートを終了します。

327 インターネット

(Internet/Internet Network) LANとLANを繋ぐネットワークのこと。「インター」は「間」、「ネット」はネットワークです。WEBサーバーを中心に構築されたグローバルなネットワークで、個別のコンピュータから、ブラウザと呼ばれる閲覧ソフトを使って、WEBサーバーが提供するWEBページを閲覧することができます。インターネットでは、コンピュータ同士が通信を行うために、TCP/IP (ティー・シー・ピー・アイピー) という通信規約(プロトコル)が使われています。また、インターネットで、情報の行き先を管理するために、インターネットに繋がれたコンピュータに割り振られているIPアドレスと呼ばれる情報が利用されます。IPアドレスは、世界中で通用する住所に相当し、互いの通信を確立するのに利用されます。
⇒ IPアドレス (174) /⇒ プロトコル (573)

328 インターフェイス

(Interface) 一般的には、「接点」や「境界」を意味する言葉です。情報分野では、「機器やシステムを接続する部分」を意味します。具体的には、コンピュータ本体と周辺器機の接続する場合も、接続規格や接続端子、接続ケーブルなどを含めて、インターフェイスと呼びます。また、私達がコンピュータを使用する時、私達とコンピュータを繋ぐ方法や器機も、インターフェイスと呼ばれます。

329 インタープリター

「プログラム言語」でプログラムを作成する時、プログラマーが記述する「プログラムコード」は、実際にコンピュータ(機械)が分かるコード(機械語)に変換する必要がありますが、その変換をどのように行うかの方式の1つです。「インタープリター」は、「プログラムコード」を、1行1行その都度「機械語」に翻訳しながら実行されます。代表的な「インタープリター言語」としては、「BASIC」が有名です。インタープリターの特徴は、「実行速度遅い」とことと、「プログラムに問題があっても、問題箇所到達するまでは実行される」という点です。 ⇒ コンパイラ (387)

330 インテル

(Intel社/インテル社) アメリカの半導体メーカー。WindowsコンピュータのCPU製造販売で有名。全世界のCPU供給数の、約80%を占めており、残りは、AMD社の製品が使われています。

331 インデント

文章や数値の頭に空白を挿入して、空間を空けること。インデントにより、文章や情報が見やすくなる場合があります。インデントを効率よく行う手段として、「タブ」があります。タブの場合は、予め設定された文字数分を、一度にインデントできます。

332 イントラネット

組織内におけるプライベートネットワークの一つで、インターネットの回線や機器、プロトコルを利用して、離れた地点のLANどおしを接続した「プライベートネットワーク」のこと。企業の本店と支店を接続したりする時に利用します。

333 インポート

外部からデータを取り込むこと。逆の動作は「エクスポート」といいます。一般的に、「インポート」「エクスポート」は、異なるアプリケーション間で、データのやりとりを行う為の機能で、アプリケーションに依存するデータ形

式では無く、全てのアプリケーションが利用できる「テキスト形式」のデータでやりとりします。利用されるファイル形式としては、「CSVファイル／拡張子は.csv」、あるいは「TXTファイル／拡張子は.txt」が一般的です。
⇒ エクスポート (343) / ⇒ CSV形式 (97) / ⇒ TXT形式

334 ヴァーチャルリアリティ ⇒ バーチャルリアリティ

335 ウィザード

「魔術師」を意味する言葉ですが、情報分野では、「利用者に、一つずつ質問や設定項目を提示して選択や入力を促すことで、対話的に処理を進める操作方式のことをいいます。「ウィザード」を利用することで、誰でも簡単に、様々な設定などを行う事ができます。

336 ウイルス ⇒ コンピュータウイルス

337 ウィルス対策ソフト

コンピュータウイルスに感染しないように、予め「ウィルス・パターン」(ワクチンと呼びます)を学習しておき、類似のパターンを持つデータが、外部からコンピュータ内に入ろうとしたとき、これを警告したり、強制的にデータを削除する機能を持ったソフトのこと。一般的には、新しいパターンのウィルスには、高価が無いとされエイますが、対策ソフトによっては、悪意のアルデータを予測する機能を搭載している者もあります。有名はウィルス対策ソフトとしては、「ウィルスパスター」「マカフィーリブセーフ」「カスペルスキーセキュリティ」「ノートン360」「ZEROスーパーセキュリティ」などがあります。注意すべき点は、「ウィルスパターン」を常に最新の状態に保つ必要がある点です。

338 ウィンドウズ・アップデート ⇒ Windows Update

339 ウェブ・ブラウザ

インターネットのWEBページを閲覧するソフトのこと。Windows標準のブラウザとしては、「Internet Explorer(IE)」や「Microsoft Edge」が有名ですが、その他にも、インターネットからダウンロードして利用できる無料のブラウザもあります。「Google Chrome」、「Safari」、「Firefox」、「Opera」などが有名です。それぞれのブラウザには特徴があり、一度使ってみて、好みのブラウザを使うといいでしょう。(必ずしも、標準のブラウザが優れている訳ではありません。)

340 ウォークスルー

(Walk-through) 様々な意味を持つ言葉ですが、情報分野では、「全体を見渡す」という意味から、「プログラムの仕様やプログラムそのものに誤りがないかどうかを、プログラム全体にわたってチェックすること」を意味します。プログラミングの過程では、「ウォークスルーを良くすること」が大切で、全体構造がすっきりした「アルゴリズム」を構成する事で、分かりやすく、誤りにくいプログラムを作ることが可能になります。

341 エクサ

数値の「1000」に対するべき乗を表す表現。10の18乗(1000の6乗)を意味する単位の接頭語で、「E (exa)」と表記します。類似の表記に、1000の「1乗」から順に、「キロ(K)10001」「メガ(M)10002」「ギガ(G)10003」「テラ(T)10004」「ペタ(P)10005」「エクサ(E)10006」「ゼタ(Z)10007」「ヨタ(Y)10008」・・・などがあります。

342 エクスプローラー

Windowsのフォルダやファイルを、階層的に表示して管理するシステムプログラムのこと。デスクトップの「PC」アイコンをダブルクリックして表示される画面。

343 エクスポート

現在存在するデータを、外部に出力すること。逆の動作は「インポート」といいます。一般的に、「インポート」「エクスポート」は、異なるアプリ

ケーション間で、データのやりとりを行う為の機能で、アプリケーションに依存するデータ形式では無く、全てのアプリケーションが利用できる「テキスト形式」のデータでやりとりします。利用されるファイル形式としては、「CSVファイル/拡張子は.csv」、あるいは「TXTファイル/拡張子は.txt」が一般的です。 ⇒ インポート/⇒ CSV形式/⇒ TXT形式 (465)

344 エクセルマクロ

情報用語では、マクロとは「複数の操作や手順、命令などを、一つにまとめて記述し、必要に応じて呼び出すことができるようにする機能」のことを言います。Excelにもこの機能があり、「エクセルマクロ」と呼びます。「Excelマクロ」は、一種の「録音機能」で、Excelで行った一連の操作を記録し、後で呼び出すことができるようにする機能です。Excelを含め、Microsoft Officeのマクロは、「VBA (Visual Basic for Applications)」で記述されます。これは「BASIC」系のプログラム言語で、プログラミングの初心者でも分かりやすい記述でプログラムを作成することができます。Win書庫の印刷機能は、Excelマクロを利用しています。

345 エディション

アプリケーションソフトやオペレーティングソフトが発売（リリース）される時、「機能レベルの異なる版」が複数準備される場合があります。これを「エディション」と呼びます。機能レベルの低い版は一般用（初心者用）、高い版は、上級者用などと区別して販売されます。例えば、Windowsでは、「Home」や「Pro」、「Enterprise」などがエディションです。

346 エディター

文書を入力したり、プログラムのソース（プログラムを記述した書式文書）などを作成するソフトのこと。ワードプロセッサなどとの違いは、作成される文書が、「単純なテキストデータ」（プレーンテキスト）であること。一切の書式（例えば、文字サイズや色、罫線、網掛けなど）はなく、単純な文字の羅列文書が作成されます。Windows標準の「メモ帳（NotePad）」は、代表的なエディターです。

347 エミュレータ

何かの仕組みや動作を、別の仕組みや動作で代替として実現すること。例えば、Windowsコンピュータを使って、仮想的なMacの動作環境を構築する場合、「WindowsでMacをエミュレートする」と言います。このような仮想環境を「エミュレーター」と呼びます。ソフトウェアには、このような「エミュレーター機能」を持ったものも多くあります。

348 エムエスドス ⇒ MS-DOS (209)

349 エンコード ⇒ 暗号化 (646)

350 エンターコード ⇒ CRコード (94)

351 エンハンスドIDE ⇒ EIDE (129)

352 オートネゴシエーション機能

イーサネット（Ethernet/有線LAN）規格のネットワークを利用する際、相互に通信を行うネットワーク器機の間で、通信速度・通信モードなどの伝送パラメータの情報を、自動的に交換して最適なものを選択する機能のこと。

353 オーバーフロー

「あふれ出す」という意味。情報分野では、受け取れるデータ量に上限がある場合、上限を超えたデータが入り込むこと、一般的に、オーバーフローが起こると、プログラムは異常な動作を起こし、ハングアップ（動作を停止）したり、異常動作（暴走）を起こす場合があります。例えば、10のデータを受け取れる場合、11の情報が流れ込んだ場合と、12の情報が流れ込んだ場合で、発生する現象が異なる場合があります。ハッカーは、このような異常を詳細に分析し、目的に応じた異常を起こさせるような「オーバーフロー」を起こし、何らかの不正な結果を得ようとしています。

354 オフライン

通信が「接断状態」になっていること。 ⇒ オンライン (356)

- 355 オペレーティングシステム
(Operating System/OS) 基本ソフトウェアとも呼ばれ、コンピューターのハードウェアとアプリケーションソフトの間で機能するソフトウェア。ハードウェアが持つ様々な機能を、OSの「システムコール」と呼ばれる命令を利用することで、アプリケーション側から、簡単にハードウェアの複雑な操作を行うことができるようになります。アプリケーションソフトは、OSの助けを借りて動作していると言えます。
- 356 オンライン
通信が「接続状態」になっていること。 ⇒ オフライン
- 357 オンラインゲーム
ネットワークなどの通信環境で実行するゲーム。有料のオンラインゲームは、通信時間に応じて課金されるもの(ゲームそのものが有料)と、ゲームをする事は無料ですが、アイテムなどの購入に課金されるものがあります。
- 358 カーネル
(kernel) 中心や中心層を意味する言葉ですが、情報分野では、一般的に「オペレーティングシステム(OS)の中心部分」をさします。OSは、ハードウェアとアプリケーションの間で機能するプログラムですが、OSの中でも、よりハードウェアに近い部分で動作する機能のことをカーネルと呼びます。カーネル部分の問題が発生すると、OSは停止します。
- 359 ガベージコレクション
アプリケーションを起動したり、終了したりする事を繰り返すうちに、開放されないメモリーの断片が徐々に増えて、ソフトの動作に影響を及ぼすことがあります。これを解消する為に動作するプログラムが、「ガベージコレクター」です。ガベージコレクターは、未解放のメモリーを解放し、断片化したメモリーを集めて、有効なメモリー配列に再配置します。この動作を、「ガベージコレクション」と呼びます。コンピュータに実装されているメモリー(RAM)の容量が少ないほど、ガベージコレクションの影響を受けやすくなると考えられます。
- 360 カルク
(Calc) 「表計算ソフト」の事。一般的に、Excelを使用する場合が最も多いと思われませんが、オープン・オフィス(OO)系のカルク(フリーソフトが多い)を使用するユーザーも増えています。また、OO系から派生した「LibreOffice」は、現在最強のOOと評価されており、Microsoft Officeとの互換性では、最も優れていると思われます。
- 361 ギガ
数値の「1000」に対するべき乗を表す表現。10の9乗(1000の3乗)を意味する単位の接頭語で、「G(giga)」と表記します。類似の表記に、1000の「1乗」から順に、「キロ(K)10001」「メガ(M)10002」「ギガ(G)10003」「テラ(T)10004」「ペタ(P)10005」「エクサ(E)10006」「ゼタ(Z)10007」「ヨタ(Y)10008」・・・などがあります。
- 362 ギガbit
(Gbit/ギガ・ビット) コンピュータが扱う情報量を示す数値です。メモリー素子、「1000の3乗」個に相当する情報。1000000000個、10億個の情報。 ⇒ ビット(546)
- 363 キャッシュ
一般社会では、「現金」を意味しますが、情報分野では、「CPUがデータの入出力するとき、過去に取り込んだデータを記憶しておき、次に同じデータの処理を行う時、新たに読み込むのではなく、記憶したデータを使って処理を行う事で、処理速度を上げる技術」の事を言います。初期のCPUでは、キャッシュは1つしかありませんでしたが、最近のCPUでは、二次キャッシュや三次キャッシュを持つものもあります。

- 364 キャラクター
ユーザー・インターフェイス, ⇒, (CUI/Character User Interface)
文字入力コンソールで、コンピュータの各種機能进行操作する方式。Windowsのようなグラフィカルな操作画面は表示されず、「コマンド」入力の為のコンソールが表示されるだけのシンプルな画面です。GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)で操作するWindowsでは、「コマンドプロンプト (DOS窓)」がCUI環境での操作画面となります。
- 365 キュー
基本的なデータ構造の一つで、FIFO (First In First Out)と呼ばれ、要素が入ってきた順に列に並べて、先に入れた要素から順に取り出すという規則。順番を待つ人の行列と同じ仕組みなので「待ち行列」とも呼ばれています。 ⇒ スタック
- 366 キロ
数値の「1000」に対するべき乗を表す表現。10の3乗 (1000の1乗)を意味する単位の接頭語で、「K (kilo)」と表記します。類似の表記に、1000の「1乗」から順に、「キロ(K)10001」「メガ (M)10002」「ギガ(G)10003」「テラ(T)10004」「ペタ(P)10005」「エクサ(E)10006」「ゼタ(Z)10007」「ヨタ(Y)10008」・・・などがあります。
- 367 キロbit
(Kbit/キロ・ビット) コンピュータが扱う情報量を示す数値です。メモリー素子、「1000の1乗」個に相当する情報。1000個の情報。
⇒ ビット (546)
- 368 クライアント
「クライアント」は、顧客や依頼人を意味する言葉ですが、情報分野では、コンピュータやソフトウェアから「機能や情報の提供」を受ける側のコンピュータやソフトウェアのことをクライアントと言います。情報などを提供する側のコンピュータを「サーバー」と呼び、サーバーとクライアントの組み合わせで運用するネットワークを、「サーバー・クライアントネットワーク」と言います。
- 369 クライアントコンピュータ ⇒ クライアント (368)
- 370 クラウド
「雲」の事ですが、情報分野の意味は、システムや情報が「雲に隠れている」ように、存在場所が分からないことを意味します。これは、データなどを手元 (企業や学校などの建物内のサーバー) には置かず、インターネットなどで繋がれたWEBサーバーに置くことで、企業や学校のネットワークに不正侵入されても、そこにはデータが無いので、安全性が高まるという考え方です。
- 371 クラウド型図書管理システム
WEBサーバーに、システムやデータを置き、図書館には、「端末機」だけにおいて、図書管理を行うシステムのこと。インターネットされ利用できる環境なら、どこからでも図書管理が行えるメリットがあります。
⇒ 資源共有システム (702)
- 372 クラッカー
ネットワークに不正に侵入したり、破壊・改ざんなどの悪意を持った行為を行う者のこと。不正行為を「クラッキング」と言い、「ハッカー」とほぼ同様に使われるが、一般的に、クラッカーは「愉快犯」的な場合が多く、ハッカーは、「ハッキング」を通じて何らかの利益を得ようとする場合が多い。
- 373 グラフィカルユーザインタフェース
(GUI/Graphical User Interface) コンピュータの操作画面の種類で、情報の提示に、画像や図形を多用し、操作を、マウスやタッチスクリーンなどによる画面上の位置の指示により行うことができるもの。
⇒ キャラクターユーザーインターフェイス (364)

- 374 クリップボード
 一時的にデータを共有保存できるメモリ領域のこと。 クリップボードに保存したデータは、異なるアプリケーションからアクセス可能で、アプリケーション間のデータの受け渡しにも使用されます。 文字列や画像の保存は、マウス右クリック・コピーで行います。 また、「スクリーンショット」による画面のイメージコピーも、クリップボードに保存されます。
- 375 グループポリシー
 Windowsサーバー下でのネットワークにおける「Active Directory (AD)」環境下で、ADの管理下にあるコンピュータやユーザを「集中管理」することで、コンピュータ運用やネットワーク運用のセキュリティを高める仕組みのこと。 これらにコンピュータやユーザーに、グループポリシーを適用することで、個別の設定を行う必要がなくなり、個々のクライアントで、何ができ、何ができないかを明確に指定する事ができるので、全体の管理が容易になります。
- 376 グローバルIPアドレス
 「ローカルIPアドレス」に対する語で、インターネット側（グローバル回線側）のネットワーク器機やコンピュータ（WEBサーバーなど）に割り当てられる「IPアドレス」のこと。 ローカルIPアドレスと違って、グローバルIPアドレスは、全世界のIPアドレスが、一意に（重複なしに）割り当てられる必要があります。 全世界のインターネットに接続されている器機の数、現在のIPアドレスの数（IPv4では約43億とおり）の数よりも多いので、全てに、重複しないIPアドレスを割り当てることができません。（IPアドレスの枯渇問題） そこで、アドレスデータを大きくして、枯渇問題を解消する為に、IPv6（約340潤・かん 通り）を使用するように、移行が始まっています。（2020年現在は、IPv4とIPv6のどちらでも利用できます。）
- 377 グローバルネットワーク
 同一構内（校内）に限られた範囲を指す、ローカルネットワーク（LAN / Local Area Network）に対して、「インターネット」など範囲を限定せず、広範囲に展開するネットワークを、グローバルネットワークと言います。 これに対応して、ネットワークに接続する器機に割り当てるIPアドレスも、LAN内でのみ通用する「ローカルIPアドレス」と、グローバルネットワークでの通信を行う為の「グローバルIPアドレス」に分かれます。
 ⇒ LAN (183)
- 378 コア
 コンピュータの頭脳に当たるCPU（中央演算装置）内に実装されている「演算装置」の部分のこと。
- 379 コーデック
 (Codec) 信号やデータを、一定の規則にしたがって「符号化」したり、逆に、符号化されたデータを元の状態に「復号」したりする装置やソフトウェアなどのこと。符号化のみを行うものは、「エンコーダー/encoder)」、復号のみを行うものを、「デコーダー/decoder)」と呼びます。
- 380 子プロセス
 「ある処理（プロセス）」から呼び出された、処理（プロセス）のこと。通常は、子プロセスが終了すると、自動的に親プロセスに戻ります。
 ⇒ プロセス / ⇒ 親プロセス
- 381 コマンド ⇒ コマンドプロンプト (382)
- 382 コマンドプロンプト
 MS-DOS (Windows以前のOS) からWindowsに移行した時、旧OSとの互換性を保つために、WindowsからMS-DOSのコマンドを実行できるようにする為の準備された仕組み。互換性が不要になった現在でも、MS-DOSのコマンドの有用性が高いため、Windows10でも、「コマンドプロンプト」から、MS-DOSのコマンドを実行する事ができます。 Win書庫では、イメージバックアップの実行に、この機能を使っています。

- 383 コマンドレット
「PowerShell」で動作する「コマンド (命令)」のことで、Windowsを操作する機能をまとめた命令群です。「コマンドプロンプト」の後継機能で、同様のコマンドがありますが、PowerShellでは、動詞-名詞という命名規則があり、コマンドプロンプトの「コマンド」と区別して、「コマンドレット」と呼ばれます。
- 384 コンソール
何かを制御するための「操作盤」のことですが、Windowsでは、オペレーティングシステム (OS)を操作する入力システムのことを言います。
- 385 コンテキスト・メニュー
「コンテキスト」は、文脈や背景・状況などを意味する語で、情報分野では、アプリケーションなどの操作過程で、その時の状況に合わせて、表示内容を動的に変化させる事を意味します。「コンテキスト・メニュー」は、「内容が、その時の状況に応じて動的に変化するメニュー」を意味します。
- 386 コントロールパネル
WindowsやMac OSなどのオペレーティングシステム (OS)で、コンピュータやOSについての「設定を行なう為の機能」を集めた特別なフォルダのことです。スタートボタン横の「検索ボックス」に、「コントロールパネル」と入力して、表示される項目をクリックすると、コントロールパネルが開きます。
- 387 コンパイラ
プログラミング言語の中で、プログラムの実行を開始する名に、全てのコードを、コンピュータが実行可能な「マシン語」への翻訳を完了させる言語のこと。コンパイラに対して、プログラムソースを、1行1行、翻訳しながら実行して行く言語を、「インタープリター」と呼びます。一般的に、コンパイラは実行速度が速く、実行開始までに、文法的な誤りがチェック・修正されています。⇒ インタープリター (329)
- 388 コンパクトディスク ⇒ (Compact-Disc/CD) 光ディスク (751)
- 389 コンパクトフラッシュメモリー
(Compact Flash, /CF/コンパクト・フラッシュ) メモリーカード
企画の一種で、デジタルカメラやカーナビなどで使用される半導体メモリー。「コンパクトフラッシュ」の名前は、サンディスク社の登録商標なので、他社は「CF」という名称を使用しています。"
- 390 コンピュータウイルス
電子メールやホームページの閲覧などによって、コンピュータに侵入する悪意のあるプログラムのこと。感染すると、ネットワークを通じて、コンピューターからコンピューターへと感染を広げ、企業や個人の情報活動を妨害し、業務に大きな被害を与えます。コンピュータウイルスには、次のような種類があります。「ワーム」(自己増殖し、パソコンからパソコンへと感染していくため、感染スピードが速い)、「トロイの木馬」(感染したコンピュータのデータなどを、かってに外部に送信して、個人情報漏洩を起こしたり、コンピューターの設定を勝手に変えて、セキュリティを低下させる)など。ウィルス感染が起こるのは、「ホームページから不用意に悪意のあるプログラムを実行した時」、「メールに添付されているファイルを開いた時」、「Excelなどに付随するマクロを実行した時」、そして「怪しげなホームページを閲覧した時」・・・などです。ホームページを閲覧するだけで感染する場合もあるので、十分な注意が必要です。
- 391 コンピュータグラフィックス
(Computer Graphics/CG) コンピュータによる画像処理、あるいはグラフィックソフトにより生成された画像、または、そのような技術のこと。処理する画像により、「二次元グラフィックス」や「三次元グラフィックス」に区別されたり、画像の処理方法により、「ペイント系グラフィックス」や「ドロー系グラフィックス」と言った区別があります。

- 392 サーバ
(Server) ネットワークにおいて、他のコンピュータに、自身の持っている機能やサービス、データなどを提供するコンピュータのこと。提供するサービスなどに応じて、「***サーバー」と呼ばれる場合があります。ファイルサーバー、DNSサーバー、DHCPサーバー・・・など。
- 393 サーバーネットワーク
(=サーバー・クライアント・ネットワーク) ネットワーク上のコンピュータを、サーバー機能を提供するコンピュータ(サーバー)と、サーバーのサービスを受けるコンピュータ(クライアントコンピュータ)に分けて運用するネットワークのこと。⇒ピア・ツー・ピア・ネットワーク(541)
- 394 サービス
WindowsOS(オペレーティングシステム)の「バックグラウンド」(後ろに隠れた状態)で動作するプログラムのこと。表面には現れないので、動作していることは意識されませんが、Windows起動中は、常に多数の「サービス」が起動されており、「ネットとの通信」や「ハードディスクの入出力」、さらには「ウィルスの検査」・・・などが動作しています。動作中のサービス一覧は、「タスクマネージャー」を起動すると確認できます。
- 395 サイト
一般的には、「場所」の事ですが、情報分野では、様々な「拠点」を意味します。データを集めた「データ拠点」や、ネットワークの接続や中継の拠点(ネットワーク拠点)などがあります。また、「WEBサイト」を単に「サイト」と言う場合も多く、この場合は、「WEBページ(ホームページ)の保存場所」を意味します。と問えば、「STSのサイト」など。
- 396 サイバースペース
コンピュータやネットワークの中に広がるデータ領域に、利用者が自由に情報を記録したり、活用することで、仮想的に作り出した生活空間のような構造のこと。
- 397 サブネット
(サブネット・アドレス) 「TCP/IP規約」の下で使用される「ネットワークアドレス」を、論理的に分割したもの。IPアドレス(ネットワークアドレス)には、現在も多くのネットワーク器機で使用されている「IPv4」と、より広大なアドレス空間を利用できる「IPv6」があります。以下は、IPv4での説明です。ネットワークアドレスは、32ビット(二進数32桁)の数値で指定しますが、32ビット全体では、巨大な数字になり、管理しづらくなる為、32ビットを2分割して、前半の「ネットワーク部」と後半の「ホスト部」に分けて管理されています。このように、分割されたネットワークアドレスを、「サブネット(サブネットアドレス)」と予備、どの位置で2分割するかを指定するのが、「サブネットマスク」です。従って、IPアドレスは、必ず「サブネットマスク」とセットで使用されます。(サブネットマスクが無いと、IPアドレスのどの部分がネットワーク部で、どの部分がホスト部下が分からないので。)
- 398 サブルーチン
コンピュータプログラムの中で、「特定の処理を行う、一まとまりのプログラム」のこと。元のプログラム位置から呼び出されて、処理を行った後、呼び出した位置に戻る動作をします。プログラムの「関数」と、ほぼ同じ意味と考えても間違いではありません。
- 399 サムネール
画像などを一覧表示する際に用いる、「小さく縮小した画像」または「画像の一覧」のこと。
- 400 シェアウェア
ソフトウェアの使用許諾形態の一種で、ソフトウェアの一時的または一部の機能の使用は無料ですが、継続的な使用や、全機能の使用に対しては対価が必要となるソフトウェアのこと。

- 401 ジスコード ⇒ JIS/日本語文字コード (745)
- 402 システムソフト
OSとしてのWindowsの「基本的な動作に関わるプログラム」のこと。
- 403 システムフォルダー
「システムソフト」を格納するフォルダーのこと。具体的には C:ドライブの「Windows」、「ProgramFiles」、「ProgramFiles(x86)」等のこと。
- 404 システムプロセス
Windowsが起動している間、バックグラウンドで、常に実行され続けるプログラムのこと。(一部のシステムプロセスには、停止や起動を繰り返しているものもあります。) 私達は、アプリケーションを起動して、何かの作業を行っているときだけWindowsが動いているように思いますが、アプリケーションが起動されている時も、そうでない時も、システムプロセスは、見えない所で動き続けています。
- 405 システムルート
Windowsの本体となるファイル群が置いてあるフォルダのこと。具体的には、 C:\Windows がシステムルートです。
- 406 シフトJIS ⇒ Shift-JIS/日本語文字コード (745)
- 407 シフトジスコード ⇒ Shift-JIS/日本語文字コード (745)
- 408 ジャバ ⇒ Java (178)
- 409 ジャバスクリプト ⇒ JavaScript (179)
- 410 ジョイスティック
(Joystick) スティック(レバー)を傾けることで、上下左右の方向入力が行える入力機器の総称。「ポインティングデバイス」の一種。フォークリフトや航空機などの機械への入力機器として利用される場合もあります。また、ゲームなどでも使用されます。
- 411 ショートカット
近道や抜け道を意味しますが、情報分野では、主に次の2つの意味で使われています。①あるファイルへの「パス」を記録しているだけのファイル(ショートカット・アイコン) ②いくつかのキーを組み合わせることで同時に押すことで、割り当てられた機能を実行する(ショートカット・キー)
- 412 シリアルATA ⇒ SATA (234)
- 413 シリアル規格
データ転送やデータ通信の方式で、「一列」の「連続した」データとして送受信する仕組みのこと。シリアル規格では、データ転送を「単純な1列のデータ列」で送受信する為、データ転送速度はバスの速度のみに依存します。一方、「パラレル規格」では、データを複数の信号線を使って送受信する為、1990年代には、シリアル規格よりも高速にデータ送受信が可能でしたが、転送速度が速くなるに従って、複数の信号線による送受信の調整が困難になり、速度の向上に限界がきました。現在のデータ転送は、シリアル規格が中心となっています。 ⇒ パラレル規格 (534)
- 414 スイッチングハブ ⇒ ハブ (531)
- 415 スクリーンショット
「スクリーンキャプチャー」や「画面コピー」とも呼ばれ、起動中のコンピュータの画面を、画像として保存すること。キー操作で画面コピーを行うには、「PrintScreenキー」を押す(デスクトップ全体をコピー)方法と、「Altキー」を押しながら「PrintScreenキー」を押す(アクティブなウィンドウをコピー)方法があります。また、スタートボタンをクリックして、「snipping tool」と入力して、検索結果から「Snipping Tool」を起動する方法もあります。

- 416 スクリーンセーバー
 ディスプレイ画面の表示素子は、長時間「点灯」が続くと、劣化するという特性があります。これを防ぐために、一定時間後に、ディスプレイの電源をOFFにするか、常に動きを持たせた動作を画面表示することで、同一場所の表示素子の点灯状態が継続しないようにする必要があります。このような機能を持たせたソフトのことを、「スクリーンセーバー」と呼びます。
- 417 スクリプト ⇒ スクリプトプログラム (418)
- 418 スクリプトプログラム
 JavaScript(ジャバ・スクリプト) などのように、文書に埋め込むことで、文書表現に影響を与えたり、埋め込まれたスクリプトの実行で、動的な変化を起こすなど、文書表現を豊かにする簡易的なプログラム言語のこと。
- 419 スタートアップ ⇒ スタートアップアプリケーション (420)
- 420 スタートアップアプリケーション
 "Windowsにログオン時に、自動的に実行されるアプリケーションのこと。アプリケーションを自動実行させるには、プログラム本体またはショートカットを、「スタートアップ・フォルダー」に保存しておく必要があります。スタートアップフォルダーは、Windows自体に適用されるものと、個別ログオンユーザーに適用されるものがあります。前者の場所は、
 C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥スタートアップ にあります。また後者は、
 C:¥ユーザー¥[ユーザー名]¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥スタートアップ にあります。
- 421 スタートアップフォルダー ⇒ スタートアップアプリケーション (420)
- 422 スタートビット
 バーコードイメージの、先頭にあるパターンのことを「スタートビット」、末尾にあるパターンのことを「ストップビット」と呼びます。バーコードリーダーは、このパターンの認識して、バーコードを読み込むので、スタートビットが無い(壊れている)バーコードや、ストップビットが無い(壊れている)バーコードを読み込むことはできません。図書館で使われることが多い「NW7/コーダーバー」では、スタートビット及びストップビットは、A(a)、B(b)、C(c)、D(d) のいずれかです。(普通は a が使われます。)
- 423 スタートボタン
 Windowsのデスクトップ左隅の「ウィンドウアイコン」のボタン。このボタンをクリックして、各種のアプリケーションを起動したり、各種設定やシャットダウンを行います。
- 424 スタック
 基本的なデータ構造の一つで、LIFO (Last In First Out) と呼ばれ、要素が入ってきた順に列に並べ、後に入れた要素から順に取り出すという規則のこと。「積み上げる」という意味で、積み上げた本を上から順に取り出すという動作と同じ。 ⇒ キュー
- 425 ストップビット ⇒ スタートビット (422)
- 426 ストライピング ⇒ レイド (623)
- 427 スパイウェア
 有害なソフトウェアの一種で、利用者のキー入力やWEBの閲覧履歴などのデータを、気付かれないように収集して送信するソフトウェア。スパイウェアは、無料ソフトウェアなどのパッケージに同梱されている場合が多く、気づかない内に、ソフトウェア本体と共にインストールしてしまう場合があります。

- 428 スпам
メールアドレスに対して無差別に、本人に許諾を得ずに一方的に営利目的の広告 メール を配信すること。
- 429 スプレッドシート
Excelのような、二次元展開の表計算ソフトのこと。
- 430 スペック
「能力」や「性能」のこと。器機やソフトウェアの、「仕様」「機能」「特性」などをまとめたもの。スペックを確認する事で、どの程度の性能や機能を持つかが分かります。
- 431 スループット
機器など性能を表す指標の一つで、単位時間あたりに処理できる量のこと。「スループットが高い」とは、「高性能」という事です。
- 432 スレッド
CPUが実行する処理の分割の単位のこと。スレッドを効率よく分配できるほど、処理効率は高くなります。⇒ マルチスレッドCPU
- 433 スロット
(拡張スロット) コンピュータに周辺器機を追加実装する時に使用する接続場所のこと。ケーブル端子を接続する場所を、「ポート」と呼ぶのに対して、電子部品が実装されたボードを接続する場所が「スロット」です。
- 434 セキュリティホール
コンピュータシステムやネットワークなどに生じた、保安上の弱点や欠陥などのこと。ハッカーなどの悪意のある者が、セキュリティホールを利用して、コンピュータやネットワークに侵入します。
- 435 セキュリティレベル
「セキュリティ・ポリシー」において、ある想定される事象が、どの程度の「安全性を要求するか」を、事前にランクを付けて決めておくこと。例えば、Aランク(最重要)、Bランク(重要)、Cランク(要注意)、Dランク(普通)など。セキュリティレベルに応じて、保護の仕方や、アクセスの許可対象、持ち出し等の許可方法、問題発生時の対処方法・・・等を決めておく必要があります。
- 436 セキュリティ対策
(security policy) 企業や学校などでの情報の安全性に関する方針のこと。物理的な対策としては、①安全で堅牢なネットワークの構成 ②ファイアウォールなどによるネットワーク接続の安全性 ③ネットワークへの器機の接続や器機の持ち出しの制限 等が重要です。また、運用対策としては、④アカウントやパスワードの安全な管理 ⑤インターネット接続やメール受信の安全性(ウィルス対策など) ⑥個損情報や機密情報に対するアクセス権設定 等が重要です。
- 437 ソーシャル・エンジニアリング
①(社会工学) 集団や団体における、人々の姿勢や社会的なふるまいの影響への働きかけを研究すること。②人間の心理的な隙や、行動のミスにつけ込んで個人が持つ秘密情報を入手する方法のこと。
- 438 ソフトウェア
ハードウェア(物理的な機械)に対比される語で、何らかの処理を行うプログラムのこと。ソフトウェアには、「ファームウェア」、「オペレーティングシステム(OS)」、「デバイスドライバー」、「アプリケーション」などに区分されます。
⇒ フィームウェア(547) / ⇒ オペレーティングシステム(355) /
⇒ デバイスドライバー(476) / ⇒ アプリケーションソフト(312)
- 439 ソリッドステイトドライブ ⇒ SSD(240)

- 440 ターミネーター
「終端器」と呼ばれるもので、デジチェーン接続（数珠つなぎ）する器機の最終末端に、器機の代わりに接続する抵抗器の一種。
- 441 ダイアログ
(ダイアログ・ボックス) コンピュータに対して、何かの入力（処理）を行う時、あるいは、コンピュータから、何かの通知を受け取る時に表示される、比較的小さなウィンドウのこと。(一般的には、「ダイアログボックス」と言う。) GUI (グラフィック・ユーザー・インターフェイス) 環境では、ユーザーと対話的にやりとりする為の、重要なシステムです。「メッセージボックス」や「ファイルダイアログ」「フォントダイアログ」など、様々な形態のダイアログボックスがあります。
- 442 ダイオード
集積回路 (IC) を構成する電子素子の一つで、電流の「弁」に相当する整流作用を担います。
- 443 タイムサーバー
(Time Server / NTPサーバ / Network Time Protocol server) インターネットなどのネットワーク上で、現在時刻の情報を配信するサーバのこと。インターネット上には、様々なタイムサーバーがあり、Windowsの「日付と時刻」の設定で、「時刻を自動的に設定する」をONにする事で、自動的にタイムサーバーから、正しい時刻を取得します。Windows標準のタイムサーバーは、time.windows.com です。その他よく利用されるタイムサーバが次のとおり。 ntp.nict.jp / jp.pool.ntp.org など
- 444 ダウンロード
WEBサーバーなどにデータを保管する時、端末からWEBサーバーへのデータ移動を「アップロード」、逆を「ダウンロード」と言います。WEBサーバーやファイルサーバーから、ファイル（データ）を取得すること。WEBサーバーから、インターネットを経由してファイルのダウンロードを行う場合、データの転送方法により、主に3つの方法があります。「HTTPプロトコル（手順）」による転送は、最も普通に利用される方法で、対象ファイルを「マウス右クリック・名前を付けて保存」などの方法でダウンロードします。「FTPプロトコル」は、FTPサーバーを経由して、ファイルを高速ダウンロードできます。「SFTPプロトコル」は、FTPサーバーの転送を、SSH技術（暗号化技術）を使って、安全にダウンロードできるようにしたものです。
- 445 タグ
一般的には、「荷札」のことですが、情報分野での意味は、ホームページを記述する「HTML言語」などで、文書内に記述して、文書構成や文字の表現、画像表示などの動作などを指定する「キーワード」として情報の意味付けなどを行う文字列のこと。
- 446 タスクスケジューラ
Windowsの機能の一つで、スケジュールを指定して、指定した動作（メッセージ表示やプログラムの実行、シャットダウン など）を実行させる事ができます。スケジュールは、日時で指定したり、一定のWindows操作（例えば、「ログオンした時」や「特定のイベントが発生した時」・・・など）を行った時に、指定した「タスク」が開始されます。タスク開始の引き金となる条件を、「タスクトリガー」と呼びます。一般的な「タスクスケジューラ」の使用場面は、①Windowsを、指定時刻に自動起動したり、自動シャットダウンさせたりする。②指定した曜日の指定時刻に、バックアップを実行する ③指定した曜日の指定時刻に、特定のプログラムを実行する。
- 447 タスクトリガー ⇒ タスクスケジューラ (446)
- 448 タスクバー
Windowsのデスクトップ画面に、最下行に表示される帯状の部分。「スタートボタン」や「ショートカットアイコンのトレイ」「言語バー」「時計」等

が一列に並んでいます。 タスクバーの設定は、デスクトップ上で、マウス右クリックメニューから「個人設定」を開き、「タスクバー」で設定できます。

- 449 タスクマネージャー
タスクバー上で、マウス右クリック>タスクマネージャーで、「実行中のプロセス一覧やCPUの使用状況などを一覧できるメニュー」を起動します。
- 450 タブ
一般では、書類などの、耳・つまみ・垂れ札などや、ポケットなどの垂れのこと。 文書などに目印手してつける出っ張り。 コンピュータでの文字入力では、あらかじめ設定した位置までカーソルを移動する機能のこと。
- 451 タブページ
コンピュータ画面の表示で、タブが付いた複数のページが重なっている状態の時、タブをクリックした時に表示されるページのこと。(タブで、.ページの切り替え表示を行います。)
- 452 チップセット
コンピュータ内部での信号の通路(バス)には、CPU内の「内部バス」と、CPU外の信号の通路である「外部バス」があります。これらのバスを流れる信号の速度に、大きな違いがあり、さらに、どの器機に信号を流すかの「交通整理」も必要となります。この交通整理を行う集積回路を、「ノースブリッジ」と呼びます。また、外部バスにも、より高速なバス(高速バス)と、低速なバス(低速バス)があり、これらの間の交通整理を、「サウスブリッジ」と呼ばれる集積回路が行います。このように、速度の異なるバス間の交通整理を行う集積回路が2種類あるので、これらを「チップセット」と呼んでいます。(マザーボードによっては、1つのチップ(集積回路)で処理するものもあります。)
- 453 ツイストペアケーブル
イーサネット(有線LAN)の接続に使用するケーブルの一つ。 信号線を2本対で「撚り合わせた」ケーブルで、平行線よりノイズの影響を受け難い特性があります。 一般的なLANケーブルでは、8本の信号線を、2本ずつ撚り合わせ、4対のペアケーブルで使用します。
- 454 ディープラーニング
「深層学習」とも呼ばれます。 ある事象や対象物を、人間が自然に認識する際、どのようなプロセスで、対象を理解するかを、人工知能を利用して解決する手法のこと。 人間の脳をモデル化した、「ニューラルネットワーク」を、何層にも重ねた構造を持つことによって、これまで実現できなかった抽象的なデータを認識できるようにする技術研究のこと。
- 455 ディスク・オペレーティング・システム ⇒ DOS (110)
- 456 ディスプレイの接続端子
コンピュータとディスプレイの接続は、次のように変遷して来ました。初期のコンピュータは、「VGA端子」と呼ばれる15ピンの端子で、アナログRGB信号で接続していました。この規格は古いものですが、現在市販されているほとんどのディスプレイに搭載されています。次に使用された端子は、「DVI-D端子」と呼ばれ、デジタルRGB信号で接続していました。(DVI-Aというアナログ接続端子もありましたが、ほとんど普及しませんでした。 現在、最も普及している端子は、「HDMI」端子で、テレビや映像機器などでも、標準で使用されている規格です。 HDMI規格が、TVなどの家電製品の規格であったのに対し、DVI-D規格の後継として登場したのが、「DisplayPort (DP)」です。DPは、入力信号を、独自パケットデータとしてシリアル転送する規格で、データ伝送の高速化と雑音の影響を受けにくく、10mを越える長さのケーブルにも対応できます。現在、DPの実装は、高級器機に限定されていますが、将来的には、コンピュータとディスプレイを接続する、標準規格になると考えられます。 DPとHDMIは、映像信号だけでなく、音声信号も含まれる為、コード1本で接続が完了するというメリットがあります。

- 457 ディスプレイ方式
 ディスプレイの画素表示方法は、「ブラウン管方式」と「薄型パネル方式」に大別されます。2020年現在では、ブラウン管方式のディスプレイは皆無です。薄型パネル方式には、最も普及している「液晶方式」の他に、徐々に普及が進んでいる「有機EL方式」、そして今後普及すると思われる「ミニ液晶方式」や「マイクロ液晶方式」などがあります。
- 458 ディスプレイポート ⇒ ディスプレイの接続端子 (456)
- 459 ディセンド
 (descend/降順) データの並べ替え(ソート)の時、データ順を「降順」(大きい値から小さい値)に並べる時に指定します。
 ⇒ アセンド/昇順 (302)
- 460 ディレクトリ・サービス ⇒ (Active Directory) ドメインコントローラ
 - (483)
- 461 データコレクター
 「入力デバイス」の一つで、バーコードリーダー方式とOCRスキャナー方式の器機があります。何れの方式でも、スキャンしたデータをデータコレクター本体のメモリーに蓄積します。スキャンが終わったデータは、赤外線通信や近距離無線LANで、コンピュータに送信します。
- 462 データベース
 (Database/DB) 一定の形式で作成されたデータの集合で、利用者がデータの「追加」、「削除」、「編集」、「ソート」などの処理を、簡単に行う事ができる仕組みを持つシステムのこと。
- 463 テキスト ⇒ テキストデータファイル (465)
- 464 テキストエディター
 テキストデータファイルを編集するアプリケーション。代表的なテキストエディターは、Windows標準の「メモ帳」など。 ⇒ メモ帳 (607)
- 465 テキストデータファイル
 データ内容が、テキストデータ(=単純な文字コードのみのデータ)で作られた文書ファイルのこと。拡張子は TXT。テキストエディターで作成・編集します。
- 466 テキストファイル ⇒ テキストデータファイル (465)
- 467 デクリメント
 数値計算で、数値に1を引き算する操作のことを
 ⇒ インクリメント (325)
- 468 デコード ⇒ 暗号化 (646)
- 469 デジタルRGB ⇒ ディスプレイの接続端子 (456)
- 470 デジタルRGB端子 ⇒ ディスプレイの接続端子 (456)
- 471 デジタルオーディオテープ
 デジタル方式で記録を行う、音声記録用の磁気テープカセットの規格の一つ。
- 472 デジタル信号
 データを、0か1の数値で符号化して表す信号のこと。電流波形では、正弦波を、ダイオードなどを使って「一定強度の離散電位信号」(デジタル波形)で表現されます。
- 473 デジタル署名
 電子文書の正当性を保証するために付けられる、「公開鍵暗号」により暗号化された署名情報のこと。

- 474 デスクトップコンピュータ
持ち運びできないサイズで、机の上に置いて利用するタイプのコンピュータのこと。通常、本体・ディスプレイ・キーボードで構成されるが、本体とディスプレイが一体型のものもあります。本体の形状から、タワー型、スリムタワー型、マイクロタワー型などがあります。一般的に、ノートコンピュータに比べて、メモリーやハードディスクなどの外部記憶装置、各種拡張ボードなどの追加に有利で、拡張性が高いことが強みになっています。
- 475 デバイス
装置や機械などのハードウェアのこと。
- 476 デバイスドライバー
コンピュータに接続する、「周辺器機」を動作させるのに必要なソフトのこと。デバイスドライバーには、予めWindowsに組み込まれているものと、器機を接続する時に、ドライバーソフトをインストールする必要があるものに分かれます。また、インターネットを通じて、最新のデバイスドライバーソフトを入手して、ドライバーの更新を行なうこともできます。同じ器機を使用している場合、ドライバーソフトが変わると、器機の機能も変化する場合もあります。
- 477 デバイスマネージャー
Windowsの機能の一つで、コンピュータに接続されている器機の一覧と、動作状況を表示します。また、接続されている器機をサーチして、使用できる状態に変更することもできます。「デバイスマネージャー」は、PCアイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「管理」を表示し、「デバイスマネージャー」を選択して起動します。
- 478 デフォルト
「初期設定」や「初期状態」を意味する言葉です。通常は、設定値の、「最も標準的な値」を意味します。
- 479 デフラグ
不連続になった、ハードディスクなどの補助記憶装置の「フラグメンテーション」を解消する操作のこと。断片化された記憶領域を、連続な領域に再配置します。デフラグの実行は、エクスプローラーでドライブ一覧を表示させ、マウス右クリックメニューから、「プロパティ」を表示して、「ツール」から「最適化」を実行します。
- 480 テラ
数値の「1000」に対するべき乗を表す表現。10の12乗（1000の4乗）を意味する単位の接頭語で、「T (tera)」と表記します。類似の表記に、1000の「1乗」から順に、「キロ(K)10001」「メガ (M)10002」「ギガ(G)10003」「テラ(T)10004」「ペタ(P)10005」「エクサ(E)10006」「ゼタ(Z)10007」「ヨタ(Y)10008」・・・などがあります。
- 481 テンプレート
文書などを作成する上で、雛形となるデータのこと。テンプレートを使用することで、文書などの作成が容易になります。
- 482 ドメイン
(domain) LAN (Local Area Network) では、ネットワーク上の複数のコンピュータを管理するためのグループや組織を表す言葉。インターネットでは、コンピュータ・部署・サイトなどを指し、それぞれの組織を指定する名称を「ドメイン名」といい、世界で唯一の名前として登録されます。この名前と、インターネット上で割り当てられている「グローバルIPアドレス」の対応を指定した「ドメイン・ネーム・サーバー (DNS)」に問い合わせることで、「名前解決」を行い、インターネットの接続先を確定します。
- 483 ドメインコントローラー
LAN (Local Area Network) の運用で、コンピュータやネットワーク器機、ユーザーを一元管理するサーバーのこと。ドメインコントローラー

は、WindowsサーバーOSの重要な機能の一つである「ActiveDirectory (AD) 運用」を実現します。「AD運用」は、Windowsネットワークにおいて、あるネットワーク上の範囲(ドメイン)における利用者アカウントやコンピュータなどへのアクセス権限などを一元的に管理し、利用者の認証を行うため、ドメインに参加しているコンピュータ(端末)毎の設定が不要になり、ネットワークの安全性が高まります。

- 484 ドメインサーバー ⇒ ドメインコントローラー (483)
- 485 ドメイン運用 ⇒ ドメイン/ドメインコントローラー (483)
- 486 ドメイン管理 ⇒ ドメイン/ドメインコントローラー (483)
- 487 ドメイン機能 ⇒ ドメイン/ドメインコントローラー (483)
- 488 ドメイン名 ⇒ ドメイン (482)
- 489 ドライバソフト ⇒ デバイスドライバ (476)

- 490 ドライブルート
外部記憶装置の、階層化された記憶領域(フォルダー階層)の「最上位」の領域のこと。例えば、C:ドライブの場合、C:\ で表現します。(¥記号は、フォルダー階層の区切りを意味する記号)

- 491 ドライブレター ⇒ ドライブ文字 (492)

- 492 ドライブ文字
(ドライブ記号) コンピュータに接続されている「外部記憶装置」の識別に利用する、「アルファベット」1文字のこと。Windowsでは、a : と b : は、「フロッピードライブ」に割り当てられており、C : ドライブには、Windowsのシステムファイルが保存されています。

- 493 ドラッグ
「マウス左ボタンをクリックした状態」で、マウスを「上下左右に動かす」こと。

- 494 ドラッグ&ドロップ
①デスクトップやエクスプローラ画面で、ファイルやフォルダーのアイコンを、別の場所まで「ドラッグ」して、マウスボタンを離す動作のこと。ファイルやフォルダーの移動を行います。②アプリケーションの画面で、画面上のアイテム(部品)を、ドラッグしてマウスボタンを離すこと。アイテムの移動を行います。

- 495 トロイの木馬
トロイの木馬とは、中に兵士が入った木馬を使って敵を攻略したというギリシア神話で、「巧妙に相手を陥れる罠」を意味します。情報分野では、何らかの有用なソフトウェアなどを装って導入や実行を促し、実行すると利用者に気付かれないうちに、データ漏洩や遠隔操作などの有害な動作を行うソフトウェアのことです。

- 496 ドロップアウト
「脱落」を意味する言葉ですが、各分野で、様々な意味で使われる言葉です。情報分野では、伝送中のデータの一部が、「欠落する」ことを意味し、ドロップアウトすると、伝送が停止したり、再送信が必要となり、送信速度が低下する原因となります。

- 497 ネットワーク
「網」を意味する言葉ですが、情報分野では、コンピュータや情報器機が網状に結合された通信システムを意味します。網を構成する各要素を「ノード」(node)、ノード間の繋がりを「リンク」(link)あるいは「エッジ」(edge)と呼びます。

- 498 ネットワークアドレス ⇒ IPアドレス (174)

- 499 ネットワークコンピュータ
ネットワーク上で、「共有資源」を提供するコンピュータ。共有されてい

るコンピュータは、ネットワーク上で、他のコンピュータの「エクスプローラー」に、「ネットワークコンピュータ」として一覧されます。(ネットワークコンピュータのアイコン) 「ローカルコンピュータ」の対語。
⇒ ローカルコンピュータ (630)

500 ネットワークドライブ ⇒ ネットワークコンピュータ (499)

501 ノイマン型計算機

1940年代から1950年代にかけて、フォン・ノイマンが考案したプログラム内蔵方式のコンピュータで、現在のコンピュータの原型となったものです。演算装置・主記憶装置・入出力装置・制御装置の四つのブロックから構成され、実行されるプログラムが主記憶内のデータとして格納されているため、「プログラム内蔵式」と呼ばれている。

502 ノード

(node) ネットワークを構成する、器機接続の「中継点」や「分岐点」等の「接点」を意味しますが、具体的には、ネットワークを構成するパソコン、ハブ、ルーターなどの機器のことをさします。

503 ノートコンピュータ ⇒ ラップトップコンピュータ (612)

戻る

504 バーコード

線の太さや、線間の幅の組み合わせにより形成されたイメージを、スキャナーで読み込むことにより、数値や文字として認識できるコードのこと。バーコードには、様々な規格があり、多くは流通に関する利用が多い。バーコードには、「JAN」「UPC」「CODE 39」「NW7」「CODE128」などがあり、コード間に互換性はありません。最も良く使用されているのは「JAN」コードで、多くの商品タグなどに使用されています。また、図書館やレンタルショップなどでは、「NW7」が多く使用されています。また、情報を、小さいブロックを二次元(縦・横)に配列して作成したイメージで表現する「二次元バーコード」も使用されています。

505 バーコードの形式 ⇒ バーコード (504)

506 バージョン

器機やソフトウェアのリリース情報を示す「版」番号のこと。通常、ソフトウェアのバージョンは、1年から数年で更新されます。また、同じバージョンでも、一部の修正にとどまる場合を、ビルド「Build/Bld」と呼びます。バージョン番号やビルド番号を含めて、全体を「リリース番号」と呼ぶ場合があります。

507 パーソナルコンピュータ

厳密な定義はありませんが、個人が購入可能な程度の価格帯のコンピュータで、企業の社員、学校の職員や生徒、そして個人が使用するコンピュータのこと。パーソナルコンピュータよりも高性能のコンピュータは、「ワークステーション」や「サーバー」と呼ばれ、組織業務用やネットワーク運用や管理に使われます。

508 バーチャル・プライベート・ネットワーク ⇒ VPN (272)

509 バーチャルLAN ⇒ VLAN (270)

510 バーチャルリアリティ

(VR: Virtual Reality/仮想現実) 人間の感覚器官に働きかけ、現実ではないが「感覚的に現実のように感じられる」状況を作り出す技術のこと。VR器機としては、ゴーグル型のディスプレイを装着して、コンピュータ合成した映像や音響を再生することで、仮想現実を再現します。

511 パーティション ⇒ ボリューム (582)

512 ハードウェア

機械のこと。ソフトウェアの対語。 ⇒ デバイス (475)

513 ハードディスク

(HardDisk : HD / HardDiskDrive : HDD) 高速で回転する磁気ディスクの表面に、磁気ヘッドを接近させてデータを記録する記憶装置。円盤状の磁気メディアを「プラッター」と呼び、1枚から数枚のプラッターを、層状に積み重ねて記憶容量を増やします。プラッターの回転速度が速いほど、データを読み書きする速度が速くなります。毎分5千回転から1万5千回転程度のものが一般的です。磁気ヘッドは、プラッター表面すれすれに位置するので、動作中に衝撃を与えると、物理的な破壊が起こるので、注意が必要です。(アクセス停止中は、磁気ヘッドは安全領域に固定されます。) また、経時による劣化で、回転軸にぶれが生じて故障に繋がるなど、器機寿命を考慮した運用が必要です。

514 ハードディスクドライブ ⇒ ハードディスク (513)

515 パームトップコンピュータ

掌(手の平)にのるサイズのパーソナルコンピュータの事。

516 バイト

コンピュータの情報量を表す単位。1バイトは、8ビットで構成されます。2進数で表記すると、00000000 から 11111111 まで、つまり、1バイトで、「2の8乗」=256種類の情報を保持できることになります。このように表記すると、情報は、数値しか表現できないように思えますが、数値を文字に置き換えれば、01000001=A、01000002=B・・・のように、文字を表現する事も可能になります。同様に、音声や画像などでも、二進数で表現できるようになります。(かなり複雑にはなりますが)

517 バイナリ

(binary) 二進数のこと。 数学的には、「基数」が2で表現する数値

518 バイナリーデータファイル

(Binary Data File) 文字コードのみで作成されたデータファイルを、「テキストファイル」と呼ぶのに対して、文字コード以外に、任意のビット列を含む バイナリデータ(画像や音声・動画など)で構成されたデータファイル、あるいは、実行可能なプログラムファイルのこと。テキストファイル以外のファイルは、全てバイナリファイルです。テキストファイルは「エディター」(メモ帳など)で読むことができますが、バイナリーファイルは、専用のソフトを使わなければ、読んだり再生することはできません。

519 パイプライン

一般的には、石油や天然ガスなどを運ぶための「管路」の事ですが、情報分野では、主に次の2通りの意味で使用します。①システムの制御フロー(流れ図)で、「ある段階の出力」が、「次の段階の入力」に直結する構造をのこと。②Windowsの「PowerShell」の「コマンドレット」の結果を、次の「コマンドレット」に渡す処理のこと。

520 バグ

「虫」を意味する言葉で、プログラムの誤りや欠陥のこと。バグがあると、プログラムは、動作を停止したり、不正な結果を返したりします。また、一見正常に動作しているように見えても、内部的には、目にみえない不具合を起こしている場合もあります。

521 バス

コンピュータ内部で流れる信号の通路のこと。「内部バス」と「外部バス」の別れ、さらに外部バスには、CPUに直結される「ノースブリッジ」と呼ばれるVLSIで管理される「高速バス」と、「サウスブリッジ」と呼ばれるVLSIで管理される「低速バス」に分けられます。内部バスは、基本的にはCPU内のバスで、「演算器」とアドレスバスで接続されたキャッシュメモリーなどがありますが、CPUと直結された「高速バス」を介してアクセスされる「メインメモリー(RAM)」や「ビデオメモリー(VRAM)」に繋がるバスも、「内部バス」と呼ぶ場合があります。「低速バス」には、補助記憶装置(HDDなど)や、光学ドライブ、マウス、キーボード・・・等が接

続されます。 ⇒チップセット (452)

522 パス

「径」を意味する言葉で、外部記憶装置の「ドライブ」と「フォルダー」、「ファイル」の場所を指定するアドレスに相当する文字列のこと。 [ドライブ名]: ¥ [フォルダー名] ¥ [フォルダー名]・・・ のように記述します。 例/ D:¥WSYOKODAT¥ZBDATA41 など

523 パソコン

(パーソナル・コンピュータ) 個人が購入したり、使用する、小型・低価格のコンピュータ。民生品レベルから軽度の業務用として使用でき、形状は、デスクトップ型またはノート型のタイプがあります。重要な業務用のコンピュータとしては「ワークステーション」、ネットワークサーバー運用には「サーバーコンピュータ」が利用されます。

524 パソコン通信

通信ソフト等を利用して、コンピュータとコンピュータの間を通信回線で結び、データ通信を行うサービスのこと。1980年代~1990年代にかけてが全盛期で、インターネットが普及すると、急速に衰退しました。

525 ハッカー

ネットワークに不正に侵入したり、破壊・改ざんなどの悪意を持った行為を行う者のこと。不正行為を「ハッキング」と言い、侵入したコンピュータから、データの不正ダウンロードを行って、取得したデータを使って、金銭要求を行ったりする場合があります。

526 ハッキング ⇒ クラッカー (372) /⇒ ハッカー (525)

527 バックグラウンドプロセス

コンピュータが起動している時、表面には現れず、背後で動作しているプロセス(プログラム)のこと。例えば、「ウイルス検査」は、私達がインターネットを閲覧しているとき、悪意のデータが組み込まれていないかの検査を、ブライザ動作の背後で実行されます。また、Windows Update 等でも、更新データは、バックグラウンドで少しずつダウンロードされます。Windowsでは、このようなたくさんのプロセスが、常に実行されているのです。

528 バックドア

「正規の出入り口を使わずに、内部に入ることが可能な隠れた侵入口」のこと。普通、「出入り口」は、人が対象ですが、情報分野でのバックドアは、ハッカーの出入り口となります。コンピュータウィルスの感染やハッキングにより、コンピュータにバックドアが仕掛けられると、ハッカーは、セキュリティをくぐり抜けて、いつでもコンピュータに侵入し、さらには、ネットワークの深い部分にまで浸入し、不正にデータをダウンロードしたりする事ができるようになります。

529 バッチファイル

コマンドプロンプト(あるいはPowerShell)のコマンド(コマンドレット)を、スクリプト状に記述したテキストファイルのこと。ファイルの拡張子は、.bat を使用します。バッチファイルを実行すると、Windowsは、コマンドを1行1行実行します。

530 バッファオーバーラン

プログラムのバグの一つで、このバグを利用して、悪意のあるプログラムを実行させるウィルスなどがあります。プログラムで用意されたデータの大きさ(バッファ)よりも、大きなサイズのデータを書き込む事で、データがバッファ領域からあふれ、バッファの外側のメモリを上書きしてしまう事により、元々その位置にあったデータを破壊したり、不正なコードを埋め込むことが可能になります。これにより、コンピュータに不正動作を起こさせることができます。

531 ハブ

ネットワーク器機の中継を行う器機で、「リピーター・ハブ」と「スイッチング・ハブ」の種類があります。リピーター・ハブは、ネットワーク器機を単純に接続するだけの機能を持つハブで、全てのポート（端子）に信号を中継するので、動作に無駄が生じたり、コリジョン（信号の衝突）が起こる場合があります。効率は良くありません。一方のスイッチング・ハブは、ポート毎に、信号の行き先を判別し、不要なポートには信号を送らないので、効率の良い通信を行う事ができます。通信速度に関しても、スイッチング・ハブは、100Mbitや1Gbit通信が可能な器機が普及しており、現在の主流となっています。

532 パブリックドメイン

著作物や発明などの知的創作物について、知的財産権が発生していない状態または消滅した状態のことを言います。個人に権利が無い状態なので、「公有」と表現する場合があります。プログラム等の著作権に関しては、「フリーソフト」という表現がありますが、「フリーソフト」は、著作権の放棄を意味する事ではありませんので、「パブリックドメイン」ではありません。もっと言うと、日本の「著作権法」では、著作権の消滅については既定がありますが、著作権の放棄については既定が無く、「パブリックドメイン・ソフト」（著作権が放棄されたソフト）は、存在しないこととなります。（海外のソフトに付いては海外の著作権法に依存します。）

533 パラメータ

プログラムを実行する時の、各種条件のこと。「引数」と呼ぶ場合もあります。パラメータを付けて実行するには、`[プログラム名] (スペース) [パラメータ]` という形で実行します。

534 パラレル規格

データ転送やデータ通信の方式で、データを複数に分割して、複数の信号線で送受信します。バスの転送速度が同じ場合、複数の信号線を使用する事で、データ転送速度は、単線の場合よりも、信号線の倍数だけ向上します。1990年代頃までは、パラレル通信の速度が年々向上してきましたが、ある段階で限界となりました。理由は、信号線間の調整が難しくなり、データ転送速度の向上が見込めなくなった為です。その後は、バスの転送速度を上げることで速度向上が図れる「シリアル規格」が主流になりました。
⇒ シリアル規格 (413)

535 パリティ

ハードディスクに書き込むデータや、ネットワークからダウンロードしたデータ等の、「誤り」を検査する方法の一つ。パリティは、データを予め決められた小さなサイズで区切り、送信時に、それぞれのデータブロックの各ビットを検査して、1のビット数をカウントして、データに「パリティデータ」として追加します。データ受信時にも、同様の検査を行い、パリティが一致すれば、誤りが無かったと判断します。これを、「パリティチェック」と呼びます。通常、ブロックデータは小さいので、同一ブロックに、2回（偶数回）誤り（ビットの反転）が起こる確率は小さいので、問題としませんが、もし同一ブロックに2回（偶数回）誤りが起これば、エラーなしと判断され、誤りは見過ごされます。従って、「パリティチェック」による誤りの検出方法は、重要なデータでは採用されません。

536 パリティチェック ⇒ パリティ

537 バルク品

(bulk=ばら積み品) 通常の流通商品として製造されたものではなく、製品製造の為の部品として製造された製品を、一般消費者に販売するものこと。流通製品と同じ製品ですが、安価で簡易包装され、バルク品には、正規の補償が無い場合がほとんどです。正規の流通製品は、「リテール品」と呼ばれます。

538 パワーシェル

Windows10に搭載されている、CUI環境のコンピュータ操作環境のこと。

従来からある「コマンドプロンプト/DOS窓」を発展させたもので、より詳細な操作が選付となって居ます。また、コマンドプロンプトの命令も、ほぼ同様に実行できるようになっています。起動は、スタートボタンから「Windows PowerShell」から。

- 539 ハンドヘルドコンピュータ
ノートパソコンよりも小さな、持ち運び可能な小型サイズの「携帯情報端末」のこと。
- 540 ピア ⇒ ピアツーピアネットワーク (541)
- 541 ピアツーピアネットワーク
サーバー専用のコンピュータが無く、ネットワークに繋がれた全てのコンピュータが、「対等」な役割をはたすネットワークシステムのこと。全ての端末コンピュータが、「共有」を提供可能で、互いに共有し合う形で運用されます。「サーバー・クライアントネットワーク」に対するシステムで、より手軽に構築できますが、セキュリティや運用効率の点で劣っています。
- 542 ピアツーピア接続 ⇒ ピアツーピアネットワーク (541)
- 543 ビジュアル・ベイシック
(Visual Basic) マイクロソフトが開発したプログラミング言語。従来のBASICに、構造化の概念を組み込んだ開発環境を提供しています。
- 544 ビジュアル・ベイシック・スクリプト ⇒ VBA (263)
- 545 ビッグデータ
厳密な定義はありませんが、インターネットやネットワークを流れる巨大な(情報量が多いと言うこと)データで、通常、私達が扱うよりも、遙かに多量のデータのこと。一般的には、通信事業者(googleやyahooなど)が、ネットユーザーが使用する情報を集め、内容や目的ごとにデータベース化したものを言います。
- 546 ビット
コンピュータの情報量を表す単位。1ビットは、「0か1」の値をどちらか1つ保持する事ができるメモリー素子の1つのことです。1ビットのデータでは複雑な意味を持たせることはできませんが、複数のビットを集めることで、より複雑な意味を持たせることが可能になります。
⇒ バイト (516)
- 547 ファームウェア
(firmware) ハードウェアに組み込まれて、機械の動作に直結するソフトウェアのこと。内部のハードウェアと密接に結びついており、通常の使用や操作では原則として内容の変更を行わないことから、ハードウェアに性質が近いソフトウェアとして「firm=固定の」という言葉が使われています。類似の言葉に、「組み込みソフトウェア」がありますが、こちらも「機械の動作に直結する」という点では同じですが、ファームウェアがROMで提供されるのに対して、組み込みソフトは、起動時に読み込まれるものが多いようです。(ファームウェアは、よほどの事がないと書き換えませんが、組み込みソフトは、書き換える機会は多くなります。)
- 548 ファイアウォール
ネットワークの境界に設置され、ネットワーク内とネットワーク外の通信を、中継・監視し、外部の攻撃から内部を保護するための器機やソフトウェアのこと。一般的には、校内LANなどのネットワークを、インターネットなどの公開ネットワークに接続する位置に配置します。
- 549 ファイルサーバー
Windowsサーバーの機能の一つで、LANに接続されたクライアントコンピュータから、サーバーの「共有資源」にアクセスさせる機能のこと。

550 ファイルシステム

OSが提供する機能の一つで、記憶装置に保存されたデータを管理・操作するために必要です。ファイルシステムは、ファイルを操作するためのインターフェイスも提供します。ファイルシステムは、オペレーティングシステム(OS)によって異なる仕組みがあり、また同じOSでも、バージョンなどにより、管理方法が異なる場合があります。Windowsのファイルシステムには、次のようなものがあります。FAT (File Allocation Table) は、最も古いファイルシステムの1つで、FAT16、FAT32とバージョンアップされていますが、セキュリティ管理方法が古く、主流のシステムでは無くなりました。(現在でも、OSに依存しないファイルシステムとして、現在でも多くの場面で使用されています。) NTFS (NT File System) は、Windows 2000移行のバージョンで「標準仕様」となり、現在最も普及しているファイルシステムです。セキュリティ管理機能が優れており、管理できるディスク容量も大きく、暗号化や圧縮などの機能も備えています。

551 ファイルフォーマット

補助記憶装置のデータを、「初期化」して使用できる状態にする操作のこと。フォーマットを実行すると、記録されていたデータは全て消去されるので注意が必要です。フォーマットには、「物理フォーマット」と「論理フォーマット」があり、物理フォーマットは、メディアの製造後、使用開始の前に必ず一度は行わなければなりません。出荷時に物理フォーマットを完了している場合がほとんどです。物理フォーマットを行うと、メディアの全領域に所定の情報を書き込むので、処理には膨大な時間がかかります。論理フォーマットは、ファイルシステムの管理データを書き込んだり、ファイルシステム毎のパターンで、記録領域を確保する作業を行います。

552 ファイル形式 ⇒ ファイルシステム (550)

553 フォーマット ⇒ ファイルフォーマット (551)

554 フォント

「文字の形の情報」のこと。画面に表示したり、印刷したりする際の、文字の形を指定するデータを羅列したデータファイルで、フォントを指定します。(フォントファイル) フォントには、「ビットマップフォント」と「アウトラインフォント」があり、前者は文字を拡大すると、ドットが荒く見えますが、後者は、拡大しても、なめらかな文字で表示されます。また、縦書き文書用のフォント(縦書きフォント)など、特種なフォントもあります。文書を作成する時に使用したフォントが、その文書を閲覧するコンピュータにインストールされていない場合、「標準フォントに置き換えて表示される」か「該当のフォント部分に空白または□などの記号が表示される」場合があります。

555 プライベートネットワーク

専用回線やセキュリティを強化した公衆回線を使って、他者が入り込むことができないように構成されたネットワークのこと。

556 ブラウザ ⇒ ウェブ・ブラウザ (339)

557 ブラウン管 ⇒ ディスプレイ方式 (457)

558 ブラウン管方式 ⇒ ディスプレイ方式 (457)

559 フラグメンテーション

破片や断片を意味する言葉ですが、情報分野では、ハードディスクなどの補助記憶装置に、データの書き込みや削除を繰り返すと、1つのファイルのデータが、バラバラに分断されて記録された状態になることがあります。このような状態を「フラグメンテーション」と言い、不連続に書き込まれたデータは、アクセスに時間がかかり、コンピュータの動作が遅くなってしまいう悪影響があります。

560 フラッシュメモリー

半導体メモリーのうち、電源を切断しても記録されたデータが消えない、「不揮発性メモリー」の一種です。繰り返し消去・再書き込みが可能な点は、RAMの特徴ですが、製造技術的には、ROMに由来する為、「フラッシュROM

M」とも呼ばれます。

561 フリーウェア ⇒ フリーソフト (563)

562 フリーズ
ソフトなどが固まって、動作しなくなること。「ハングアップ」とも言います。フリーズした場合、対処方法は、次の3とおりです。①時間のかかる処理を行っている場合もあるので、しばらく待つ ②「Ctrlキー」と「Altキー」を押しながら同時に「Deleteキー」を押して、「タスクマネージャー」を起動し、実行中のソフトを終了する ③①②で対処できない場合は、「電源ボタンの長押し」で、Windowsを強制終了する。

563 フリーソフト
著作権を主張せず、自由に使用できるようにしたソフトのこと。著作権はあるので、使用に当たっては、著作権法の順守が重要です。

564 ブルートゥース
(Bluetooth) ノーとコンピュータやスマートフォンなどで、数メートル程度の距離を接続するのに用いられる近距離無線通信の標準規格の一つ。家電製品でも、ブルートゥースを利用して、リモート操作を行ったり、音声を遠隔送信したりする製品が増えています。

565 ブルーレイディスク
(Blu-ray Disc/BD) 12cmディスクに、短波長の「青紫色レーザー」を使って、データの読み書きを行う記憶媒体です。CDやDVDとは、光学的特性が異なる為、ディスク規格自身には、CDやDVDとの互換性はありませんが、ただし、ほとんどのBlu-ray対応機器は、「赤色レーザー」も搭載しており、CDおよびDVDの再生・記録も可能になっています。またBDは、違法コピーを防ぐため、CDやDVDに比べて、強固な著作権保護技術が搭載されています。また、録画用・記録用メディアの規格も、一度だけ記録できる「-R」と、複数回記録できる「-RE」の2種類のみです。

566 フルコントロール
ファイルへのアクセス管理で、「全ての操作を行う事ができる権限」のこと。フルコントロールを与える場合は、セキュリティの観点から、十分な注意が必要です。

567 ブロードバンドルーター ⇒ ルーター (622)

568 プログラミング ⇒ プログラム (570)

569 プログラミング言語
アプリケーションやシステムソフトなどのプログラムを開発する為に使用する開発言語のこと。HTMLやJavaScript等のように、文書に埋め込む形で作成するものも「プログラム」と呼ぶ事がありますが、ここでは、ソフトウェアの開発で使用するものに限定して説明します。現在多くのソフト開発に利用されている言語は、「Java言語」、「C++言語」です。Javaは、中・小規模ソフトやWEBアプリケーションの開発に、C++言語は、大規模システム開発に使用される事が多い言語です。以前は入門用として学習される機会が多かった「Basic」は、「VBA」としてOffice製品の拡張マクロ機能として、限定的に使用されています。

570 プログラム
一般的には、「ある物事の進行状態についての計画や予定、あるいは予定表」を意味しますが、情報技術においては、「コンピュータなどが実行する内容や手順の指示記述」と定義されています。コンピュータは、プログラムの記述に従って動作し、計算や、表示、出力などを行います。プログラムは、「プログラム言語」を使って記述します。プログラムの作成技術者を「プログラマー」、作成行為を「プログラミング」といいます。

571 プロセス
オペレーティングシステムOSから、メモリ領域などを割り当てられて実

行しているプログラムのこと。 プロセスには、OSの機能の一部として実行される「システムプロセス」と、アプリケーションなどから呼び出されて実行される「ユーザープロセス」がある。 ⇒ 親プロセス (653)

[戻る](#)

572 フロッピーディスク

(フロッピードライブ) コンピュータの外部記憶装置の一つで、回転する磁気ディスクのデータを、磁気ヘッドで読み書きする装置です。2020年時点のコンピュータでは、フロッピードライブを装備している機種は皆無です。

573 プロトコル

(Protocol/通信規約) プロトコルとは、コンピュータが情報をやりとりする際の共通の言語のようなものです。この仕組みのおかげで、インターネット上で、機種の違いを超えて、さまざまなコンピュータが通信を行うことができるようになっています。

574 プロパティ

(property=属性) 各種設定などの情報を保持した属性のこと。ほとんどの場合、プロパティは、対象をマウス右クリックして表示されるメニューから表示します。

575 ペタ

数値の「1000」に対するべき乗を表す表現。10の15乗(1000の5乗)を意味する単位の接頭語で、「P (peta)」と表記します。類似の表記に、1000の「1乗」から順に、「キロ(K)10001」「メガ (M)10002」「ギガ(G)10003」「テラ(T)10004」「ペタ(P)10005」「エクサ(E)10006」「ゼタ(Z)10007」「ヨタ(Y)10008」・・・などがあります。

576 ポインティングデバイス

画面上での「入力位置」や「座標」を指定する「入力機器」のこと。「マウス」や「タッチパネル」、「タッチスクリーン」、「ペンタブレット」、「トラックボール」など、多種の入力器機があります。(ゲームコントローラーやジョイスティックなども、ポインティングデバイスの一種と考えられます。

577 ポート

①コンピュータや情報器機に設置されている、周辺器機を接続する為の端子のこと。②WEBサーバーにリクエストを送信する時、サービス毎に決められている接続方法(アドレス)のこと。

578 ポートスキャン

WEBサーバーが提供するサービスの入り口(ポート)を探すこと。また、悪意のある者が、WEBサーバーの脆弱性を見つける為に、進入口となるポートを無作為に探す事。

579 ホスト名

コンピュータ名のこと。コンピュータ名は、Windowsをインストールする時、あるいは、購入したコンピュータを最初に起動して行う、一連の作業の中で決めます。ホスト名は、コンピュータを、他のコンピュータと識別する為の重要な要素の一つですから、安易に変更すると、アプリケーションの運用やネットワークの利用に問題が起こる場合があるので注意が必要です。ホスト名の変更は、スタートボタン>設定>システムから、「このPCの名前を変更」から変更できます。ネットワークに接続されたコンピュータなどの機器を人間が識別・指定しやすいように付けられる名前。

580 ホットスポット

公衆無線LANサービスが提供されている地点のこと。

581 ボトルネック

「瓶の細い首で、液がつかえて出にくい」というイメージから、何かを実現する上で、障害となっている原因のことを意味します。「ボトルネック」を越えることで、技術は飛躍的に進歩する場合があります。

582 ポリリューム

情報分野では、記録装置の記憶領域に作成した「ドライブとしてアクセス可能な一かたまりの領域」のこと。ポリリュームは、パーティションと呼ばれる領域の中に作成されるので、ポリリュームを作るためには、パーティションが必要です。例えば、1台のハードディスクは、全体を1つのパーティションとして、その中に1つのポリリュームを作って使用する事も、複数のパーティションに分けて、それぞれのパーティションにポリリュームを作成して使用する事もできます。細かいことを考えなければ、パーティション=ポリリュームと考えても、間違いではありません。

583 マイクロLED方式

ディスプレイの表示方式の一つで、赤・青・緑色の表示画素に、「マイクロLED」と呼ばれる0.1mm以下の微小な素子を利用して、画面を構成します。従来の液晶方式は、3原色フィルターをLEDバックライトで透過表示して画面を構成するため、色の干渉にじみや、黒表現に問題がありましたが、マイクロLED方式では、素子そのものが発光するので、これらの問題点も克服できます。マイクロLED方式の問題点は、極めて微細なLEDを使用するので、生産過程での技術精度が難しく、製品の歩留まりが低く、このことが製品の価格に影響しています。

584 マイクロプロセッサ ⇒ MPU (208)

585 マイコン

①マイクロコンピュータのこと。モトローラ社のCPU製品に付けられた名称。⇒MPU ②マイクロコンピュータのこと。1980年代に発売された、個人向けのコンピュータエイ品で、8bitCPUを使った、コンピュータの仕組みを学習する為のコンピュータのこと。③マイコンコンピュータの事。個人が所有可能な低価格のコンピュータで、パソコンと呼ばれる以前の名称。

586 マウス

ポインティングデバイスの一つ。「コードをしっぽに見立てたネズミ」に似ているので、この名前が付きましたが、コードレス化した現在では、「マウス」というイメージとは異なる形状のものも多くなっています。一般的には、左右にボタンと、中央にスクロールボタンがありますが、ボタンがもっと多くあるものもあります。

587 マクロ

アプリケーションで行う、「一連の操作」や「一連の記述」をまとめたもの。マクロを使用すると、簡単な記述で、複雑な内容の処理を実行することができるので、処理の効率化や間違いを少なくするメリットがあります。一般的には、ExcelやAccessで利用される「マクロ」(BVA)が有名ですが、多くのアプリケーションやプログラム言語などでも、マクロが利用されています。

588 マザーボード

コンピュータを構成する様々な部品 (CPU、チップセット、メモリーRAM、各種ポートなど) を実装した基板のこと。マザーボードは、使用するCPUで規格化されており、マザーボードが決まれば、ほぼコンピュータの性能が決まるくらい重要な部品です。

589 マスターブートレコード

ハードディスクなどの外部記憶装置の、最も先頭にあるデータ領域のことで、コンピュータ起動時に、最初に読み込まれます。起動に必要なプログラムや情報が記録されており、全体のサイズは512バイトで、先頭から446バイトはOS読み込み用の小さなプログラム、続く64バイトはメディア内の各パーティションについての情報を記したパーティションテーブル、末尾の2バイトは「ブートシグネチャ」と呼ばれる特別なデータが記録されています。

590 マッキントッシュ ⇒ Mac (191)

- 591 マルウェア
コンピュータウィルス的一种で、不正に動作させる意図で作成された「悪意のあるソフトウェアやプログラム」の総称。
- 592 マルチCPUコンピュータ
1つのコンピュータに、「中央演算装置 (CPU)」が、複数実装されているコンピュータのこと。高度な演算や負荷の高い処理を行う「サーバー」や「ワークステーション」に採用されている場合があります。私達が通常使用する、「パソコン」では採用されていません。
- 593 マルチコアCPU
1つの「中央演算装置 (CPU)」内に、複数の「演算装置」が組み込まれているCPUのこと。マルチコアは、CPU内に、ハードウェアとしての「演算装置」が存在します。つまり、コンピュータに、1つのCPUしか装備されていなくても、例えば、4コアのCPUの場合は、CPUが4つ実装されていることとなります。
- 594 マルチスレッドCPU
「中央演算装置 (CPU)」内の、1つの「演算装置」に、複数の「演算機能」があるCPUのこと。現在発売されているパソコンのCPUでは、「マルチスレッド」は、2つですが、サーバー用CPUでは、もっと多数のスレッドを持つものもあります。マルチコア、マルチスレッドのCPUを使用する事で、複数のアプリケーションを同時に起動しても、処理速度の低下が少なくなり、快適に操作できます。また、アプリケーション側の対応の必要ですが、単一のアプリケーションの動作も、より高速になる場合があります。現在主流のCPUは、「2コア・4スレッド」または「4コア・8スレッド」のものが多くなっています。
- 595 マルチメディア
文字や音声、動画、画像などを表現するメディアのこと。
- 596 ミップス ⇒ MIPS (200)
- 597 ミニLED方式
ディスプレイの表示方式の一つで、基本的には「液晶方式」と同じですが、バックライトに使用するLEDが、極限まで小さくなっている事です。その為、個々の画素に対するコントロールがきめ細かくできるので、コントラストをあげることと、黒の表現にメリットがあります。使用するLEDは、0.2mm程度の素子を利用する為、液晶方式に比べて価格は高くなります。
- 598 ミニポート
標準規格のポート (接続端子) に対して、設置面積を小さくした端子のこと。デスクトップコンピュータなどでは、ポートを配置する空間に余裕があるので「標準端子」を利用できますが、サイズの小さなノートコンピュータやノートパッド、スマートフィンなどでは、端子のサイズを小さくする必要があります。
- 599 ミラーリング ⇒ レイド (623)
- 600 メインメモリー ⇒ 主記憶装置 (708)
- 601 メガ
数値の「1000」に対するべき乗を表す表現。10の18乗 (1000の6乗) を意味する単位の接頭語で、「E (exa)」と表記します。類似の表記に、1000の「1乗」から順に、「キロ(K)10001」「メガ (M)10002」「ギガ(G)10003」「テラ(T)10004」「ペタ(P)10005」「エクサ(E)10006」「ゼタ(Z)10007」「ヨタ(Y)10008」・・・などがあります。
- 602 メガbit
(Mbit/メガ・ビット) コンピュータが扱う情報量を示す数値です。メモリー素子、「1000の2乗」個に相当する情報。1000000個、100万個の情報。 ⇒ ビット (546)

- 603 メガバイト ⇒ MB (195)
 604 メガビット ⇒ メガbit (602)
- 605 メディア
 (media) 「媒体」を意味する言葉ですが、具体的に示す内容は多様です。①物理媒体=情報を担うもの(物質)。空気や電波、電気信号など、さらには、情報が記録されたもの(CDやDVB、磁気ディスク、USBメモリーなど)もメディアと呼ばれます。②情報媒体=文字や0/1のビットデータなどで、物理媒体に書き込まれた情報そのもののこと。
- 606 メモリ
 (メモリー) 意味は、記憶、追憶などですが、情報分野では、コンピュータで使用する「半導体集積回路 (IC)」を仕様したデータの「記憶素子」または「記憶装置」を意味します。コンピュータのマザーボードに装着して使用する「メインメモリー」(RAM)は、デスクトップでは2/4枚、ノートコンピュータでは1/2枚装着でき、マザーボードの種類により、何枚装着できるかが決まっています。RAMには規格(読み書きの速度など)があり、指定された規格のRAMを使用する必要があるので注意が必要です。
- 607 メモ帳
 「notepad」とも呼ばれている、Windows標準の「テキストエディター」です。テキストファイルやプログラムのソースコード、スクリプトなどを編集でき、フォントオプションを使用して、表示をカスタマイズもできます。(テキストファイルをカスタマイズする意味は、あまりありません。) また、UTF-8、UTF-16、ANSIなどの複数の「文字コード」に「エンコード」して保存することができます。(一部の文字コードの変換が可能)
- 608 モデム
 デジタル通信において、「送信データの変調機能」、及び「受信データの復調機能」を担う送受信装置のこと。ネットワーク回線が、電話線だった時に音声データ(アナログ)を、デジタル信号に変換またはその逆の操作を行った器機のこと。現在は、ほとんど使用されていません。
- 609 ユーザインタフェース
 (User Interface/UI) 器機(コンピュータなど)と、それを利用する人との間で、情報をやりとりする方法や仕組みのこと。例えば、「入力を行うか」や、「情報をどのように表示(表現)するか」など。ユーザーインターフェイスは、器機の使い勝手に大きな影響を与えるので、どのようなUIを採用するかが重要なポイントとなります。
- 610 ユニコード ⇒ Unicode/文字コード (764)
 611 ユニックス ⇒ UNIX (246)
- 612 ラップトップコンピュータ
 折りたたんで持ち運ぶことができ、膝の上に置いて操作できるコンピュータの事。日本では、1980年代に使われた名称で、現在の「ノートコンピュータ」に相当します。「ノートコンピュータ」は和製英語で、日本独自の呼び方で、海外では、「ラップトップ」と呼ぶのが一般的です。⇒ デスクトップコンピュータ/⇒ パームトップコンピュータ
- 613 ランチャー
 発射台を意味しますが、情報分野では、複数のプログラムを切り替えて起動可能にするメニューのこと。Win書庫では、起動時に表示される「メインメニュー」がランチャとして機能します。
- 614 リソースモニター
 「タスクマネージャー」の機能の一つで、CPU、ハードディスク、ネットワーク・・・等の、リアルタイムの利用状況を、グラフィカルに表示します。
- 615 リピーターハブ ⇒ ハブ (531)

- 616 リモートデスクトップ
あるコンピュータのデスクトップ画面を、ネットワークを通じて接続した、他のコンピュータでモニターしながら、遠隔操作すること。WindowsXP以降には、標準でリモートデスクトップ機能が搭載されていますが、接続される側（ホスト側）は、Proエディションが必要です。
- 617 リレー
コイル（電磁石）とスイッチ（接点）で構成されている電気部品で、電流や電気信号をオン・オフする機能を持ちます。
- 618 リンク
連結すること。情報分野では、ある場所から別の場所に、「ページの移動」や「関連付けの移動」などを行う機能のこと。ホームページなどでは、「リンク付けされた文字列＝リンクラベル／リンク文字列）」にマウスカーソルを置くと、指マークになり、クリックすると、指定されたページにジャンプします。このような機能を、「ナビゲーション」と呼びます。また、リンクが「ボタン」に設定されている場合は、「リンクボタン」と呼びます。
- 619 リンクボタン ⇒ リンク (618)
- 620 リンクラベル ⇒ リンク (618)
- 621 リンク文字列 ⇒ リンク (618)
- 622 ルーター
ネットワークを流れる情報（パケットデータなど）を、制御したり適切なポートに配分する機能を持ったネットワーク器機。データの分配に「IPアドレス」を使用するのが特徴で、「MACアドレス」を使用する「スイッチ」とは、制御方法が異なります。一般的には、ルーターは、異なるネットワーク間を中継する場合に使用されます。ルーターの一種である「ブロードバンド・ルーター」は、インターネットに接続する際の、インターネット側（外部ネットワーク／WAN）と、学校内や家庭内のネットワーク側（内部ネットワーク／LAN）の間に、「ファイアウォール機能」を追加して、外部からの不正侵入を防ぐ仕組みを持たせています。
- 623 レイド
(RAID/Redundant Arrays of Inexpensive Disks) 複数のHDDをまとめて、一つのドライブとして運用する技術です。レイドには、様々な方式があり、レイド0からレイド10に区分されています。レイド0（ストライピング）は、複数のドライブに、データを分散して、同時に記録する方式。ドライブが多くなるほど、書き込み速度は速くなる為、速度を重視する運用で採用されます。レイド1（ミラーリング）は、2台のドライブに、同時に同じデータを書き込むことで、1台のドライブに問題が起ころうと、もう一方のドライブで、正常に運用を続けることができます。システムが停止することが、致命的になるような環境で採用されます。レイド6（分散パリティ記録方式）は、3台以上のドライブを使用して、データを分散して書き込むと同時に、異なるドライブに「エラー補正情報」を相互に書き込む事で、1台のドライブに問題が起ころうと、他のドライブの情報を使って、問題が起ころうとしたドライブを復元できます。故障したドライブは、システムを稼働しながら交換できるので、システムを停止させることなく障害対策がかけられます。さらに、これらの方式を組み合わせることで、複数のHDD故障時にも、データ復旧・運用継続を可能にする安全性の向上が図れます。
- 624 レイヤースイッチ
スイッチングハブのデータ処理方法による区分で、一般的な「スイッチ」は、「レイヤー2スイッチ」と呼ばれ、ネットワーク器機の「MACアドレス」によるネットワーク信号のルーティングを行います。また、より高度な制御を行う「レイヤー3スイッチ」は、「MACアドレス」に加えて、「IPアドレス」によるルーティングを行う事ができ、「VLAN」によるネットワークの分離などに利用されます。
- 625 レーザー方式
①レーザープリンターでは、レーザー光（またはLED光）により、感光ド

ラム表面の帯電状態を変化させてトナーを付着・定着させて印刷します。
 ②光ディスクドライブの読み取り装置に利用されています。 CD、DVD、ブルーレイなどの器機により、使用するレーザー光の波長が異なります。
 ③バーコードリーダーなどのパターン読み取り機で使用されます。

- 626 レジスタ
 (レジスター) コンピュータのCPU (中央演算装置) 内に実装されている「演算器」のこと。 演算や実行状態の保持に使用する最も高速な記憶素子で構成されています。
- 627 レジストリ
 Windowsの設定やユーザー情報、アプリケーションの情報、ハードウェアの情報などが格納されている データベースのこと。 Windowsに接続する器機を追加・変更したり、アプリケーションをインストールしたりすると、レジストリにその情報が記録されます。
- 628 レジストリエディター
 レジストリを編集するためのアプリケーション。 起動方法は、「スタートボタン」横の「検索ボックス」に、「regedit」と入力して検索し、表示される「レジストリエディター」をクリックします。
- 629 ローカルIPアドレス
 ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続された、「ネットワーク器機」や「コンピュータ」に割り当てられる「IPアドレス」のこと。 通常は、「ルーター」や「サーバーコンピュータ」の「DHCP」機能により、自動的に各器機に割り当てられます。 どのようなIPアドレスを割り振るかは自由ですが、インターネット上のグローバルIPアドレスとの重複を避けるため、ローカルアドレス専用のアドレス領域 (IPv4の場合は「192.168.」で始まるものなど) が推奨されています。
- 630 ローカルコンピュータ
 ネットワークに接続されているコンピュータのうち、目の前にあって、現在自分が操作しているコンピュータのこと。「ネットワークコンピュータ」に対比した用語。 ⇒ ネットワークコンピュータ
- 631 ローカルネットワーク ⇒ LAN (183)
- 632 ローバック
 後退や巻き戻しを意味する言葉ですが、情報分野では、データ更新などで障害が起こった時に、直前の正常な状態に戻すことを意味します。
- 633 ログ
 (リグデータ) コンピュータが動作するとき、「何をどのように操作し、結果がどうなったか」などを記録するデータのこと。 ログデータを確認することで、トラブルの原因などが分かる場合があります。
- 634 ログアウト
 ログオンしていたユーザーが、コンピュータの利用を終了すること。 シャットダウンと異なり、コンピュータは、ログオン前の状態でスタンバイします。 参考:「シャットダウン」は、「ログアウト」と「電源OFF」の動作を連続して行う事を言います。
- 635 ログイン ⇒ ログオン (636)
- 636 ログオン
 コンピュータの電源を入れて起動後、ユーザー名 (アカウント名) とパスワードを入力して、自分自身の環境で使用できるようにすること。 Windowsでは、「ログオン」と言うが、多くのOS等では、「ログイン」と言う場合があります。
- 637 ログ記録 ⇒ ログ (633)

- 638 ワークステーション
 重要な業務処理を行う、業務用のコンピュータのこと。一般の「パソコン」に比べて、「CPU」、「メモリー」、「外部記憶装置」が強化されていると共に、記憶装置は、「レイド」や「スプライシング」などの構成により、データの安全性が保たれています。
- 639 ワード
 (Microsoft Word) ①Office製品のワードプロセッサ(日本語ワープロソフト)のこと。②コンピュータの情報量を表す単位。2バイト(16ビット)で構成される情報量の単位。以前は、日本語などの文字コードに「2バイトコード」が使われていた為、日本語の1文字を扱うためのデータ量としてワードが使われていましたが、現在では、2バイトとは限定できない文字コード(ユニコードなど)が使われることが多くなったので、ワードと言うデータ量の呼び方は、あまりしなくなりました。
- 640 ワードプロセッサ
 (ワープロ) ①タイプライターのように、キーボードから入力して、文書を作成する専用の機械のこと。②文書の作成の為の、入力・表示・記憶・印字などの機能を備えるアプリケーションのこと。
- 641 ワイファイ ⇒ WiFi (279)
- 642 ワイルドカード
 トランプなどのカードゲームでは、万能の効力を持つ特別なカードのことですが、情報分野では、検索時に、ある位置に入る文字(または文字列)を、任意の文字(文字列)として検索を実行する時に使用する、特殊文字のこと。良く使われるワイルドカード文字は、「?」と「*」で、前者は「ある1文字」、後者は「任意の文字列」として検索することができます。
- 643 ワクチン ⇒ ウィルス対策ソフト (337)
- [漢字] 戻る
- 644 圧縮 ⇒ 圧縮ソフト (645)
- 645 圧縮ソフト
 ファイルに記録されているデータを、復元可能な形で圧縮するソフト。「アーカイブソフト」あるいは「アーカイバー」と呼ばれることもあります。一般的に、ファイルの圧縮と解凍は、1つのアプリケーションソフトで可逆的に圧縮と解凍を行う事ができます。例えば、代表的なアーカイバーである「Lhaplus」(フリーソフト)は、このソフト1つあれば、複数の形式の圧縮形式のファイルを作成・解凍(展開)できます。また、Windows 10は、標準で、ZIP形式の圧縮・解凍を行う事ができます。(対象のファイルやフォルダーを選択後、右クリックメニューから操作) 圧縮形式は多数あり、よく使われる形式には、「ZIP形式」、「LZH形式」、「RAR形式」などがあります。
- 646 暗号化
 (Encription/エンクリプション, Encode/エンコード) データを他人に読まれないように、一定の手順に基いて、元の状態が容易に推定できない形に変換すること。一般的な暗号化は、暗号化と復号化を「同じキーデータ(暗号キー)」で行なう「共通鍵暗号」と、暗号化と複合化を「異なるキーデータ」で行う「公開鍵暗号」の2方式が使用されています。Win書庫では、パスワードや個人情報等にかかわる一部のデータを「共通鍵暗号」で暗号化しています。⇒ 復号化 (756) /⇒ 公開鍵暗号 (693)
 ⇒ 共通鍵暗号 (683) /⇒ SSL (241)
- 647 移植
 アプリケーションソフトを、あるオペレーティングシステム(OS)用から、別のOS用に、修正すること。または、ある言語に対応したソフトを、別の言語でも利用できるように修正すること。

- 648 以前のバージョン
Windows 10/8/7に搭載されている機能で、「シャドーコピー」の技術を使って、ある時点のファイルを、バックグラウンドでバックアップし、フォルダーなどの右クリックメニューの「プロパティ」に、「以前のバージョン」として表示することができます。「以前のバージョン」には、バックアップが実行された日時毎のリストが表示され、同じファイルの日付の違う「以前のバージョン」から、任意の時点のファイルから復元が可能な便利な機能です。
- 649 入れ子
1つの構造の中に、別の構造が入り込む構造を意味します。
- 650 演算子
数式では、+や-等、計算手順を示す記号の事ですが、コンピュータプログラミング言語などでも、各種の演算を表わす記号が決められています。単純な数値計算に使用する演算子を「算術演算子」といい、条件判断等を行う時に使用する「論理演算子」などの種類があります。プログラミングでは、「インクリメント演算子」、「デクリメント演算子」、「剰余演算子」などが、一般にはなじみが少ないが、重要な意味を持つ演算子です。
⇒ 算術演算子 (698) / ⇒ 論理演算子 (772)
- 651 上付き文字
1/4角文字で、数値の「べき乗」や、化学式で原子の電離状態を表現する+や-を表示するための文字のこと。 ⇒ 下付き文字
- 652 液晶方式
ディスプレイの画素表示方式の一つ。3原色（赤・緑・青）のフィルターと液晶シャッターをセットにした画素を、背後からLEDライトで照らし、表示・非表示を、液晶シャッターの開度で調節してカラー画面を構成する方式のこと。
- 653 親プロセス
「ある処理（プロセス）」を呼び出した、元の処理（プロセス）のこと。
⇒ プロセス (571)
- 654 下位互換
機能や性能で下位に位置づけられるものが、上位のものと互換性をもつこと。基準を上位のものに置いて、下位のものかどうかが判断します。下位互換がある場合は、下位のものを買っても問題無く使える事を意味します。
⇒ 上位互換 (710)
- 655 解凍 ⇒ 解凍ソフト (656)
- 656 解凍ソフト
復元可能な形で圧縮されているファイルのデータを、元のデータに復元するソフト。「アーカイブソフト」あるいは「アーカイバー」と呼ばれることもあります。一般的に、ファイルの圧縮と解凍は、1つのアプリケーションソフトで可逆的に圧縮と解凍を行う事ができます。例えば、代表的なアーカイバーである「Lhaplus」（フリーソフト）は、このソフト1つあれば、複数の形式の圧縮形式のファイルを作成・解凍（展開）できます。また、Windows 10は、標準で、ZIP形式の圧縮・解凍を行う事ができます。（対象のファイルやフォルダーを選択後、右クリックメニューから操作）
- 657 外部記憶装置 ⇒ 補助記憶装置 (760)
- 658 回復ドライブ
Windowsのバックアップシステムの一つで、予め「回復ドライブ」を外部メディア（USBメモリーなど）に作成して置くことで、万一Windowsが起動しなくなった場合でも、回復ドライブから起動・修復が可能になります。Windowsを安全に使用する上では、必ず作成しておく必要があります。

659 隠しファイル

「エクスプローラー」で表示される「ファイル」や「フォルダー」は、私達が操作しても、問題が無いものだけが表示されます。重要なファイルを、誤って削除すると、Windowsの動作に問題が生じるからです。このように、通常の状態では表示されないファイルやフォルダーを、「隠しファイル」・「隠しフォルダー」と呼びます。これらのファイルなどは、通常の運用では表示させる必要はありませんが、Windowsを管理したり、設定を変更する場合は、表示させる必要が生じます。表示するには、エクスプローラーの「メニューバー」「表示タブ」で、「表示／非表示」ブロックの「隠しファイル」にチェックを付けます。

660 隠しフォルダー ⇒ 隠しファイル (659)

661 拡張現実

(Augmented Reality／オーグメンティッド・リアリティ) 専用のゴーグルや機器などを使用して、実感覚から得られる知覚情報(□や聴覚など)に、コンピューターで情報を合成・補足したり、外部センサーなどによる情報を追加して、人間の感覚を再構成する技術のこと。「仮想現実」を、さらに強化したもの。

662 拡張子

ファイルの種類や形式を指定する為の「ファイル拡張指定要素」のこと。ファイル名の後に、「ピリオド」+「数字アルファベット3・4文字」の形で追加します。OSは、拡張子があるファイルがダブルクリックされた時、既定に指定されているアプリケーションを起動して、そのファイルを読み込みます。拡張子を「既定に指定」するには、ファイルを右クリックしメニューから「プロパティ」を開き、「ファイルの種類」欄で、アプリケーションを指定して下さい。

663 仮想化

複数の資源を一つに見せかけたり、一つの資源を分割して複数に見せかけたりすること。物理的な構成を、論理的な構成に置き換えること。

664 画面解像度

ディスプレイ(モニターTV)の画面(パネル)に表示する、「画素の密度」または「画像の数」のこと。密度は、1インチ当たりの画素数(dpi=ドット・パー・インチ)で示し、数値が大きいほど高解像度になります。一般的には、解像度は「画素数」で示す場合の方が多く、640X480(VGA)、2014X768(XGA)、1280X1024(SXGA)、1600X1200(UXGA)・・・などの種類があります。ノートコンピュータではSXGA以上が、デスクトップコンピュータ(外部モニター)ではUXGA以上が推奨されます。

665 仮想記憶

(Virtual Memory／バーチャルメモリ) メモリ管理の仮想化技法の一種で、オペレーティングシステム(OS)による、メモリ管理の方式の一つ。メモリ(RAM)領域に、物理的なアドレス(実アドレス)とは別に、仮想的なアドレス(論理アドレス)を割り当てて管理する方式。不連続になったメモリー断片を、連続領域に仮想化したり、メモリが不足した時、外部記憶装置(ハードディスクなど)の一部の領域(スワップ領域)を、仮想的なRAMとして利用します。こうして確保した仮想メモリーを、「スワップメモリー」や「ページメモリー」と呼びますが、頻繁にスワップが起こると、RAMと外部記憶装置との間のアクセスが多くなり、コンピュータの動作が急激に遅くなる現象が起こる場合があります。(この現象は、実装しているRAMの容量が少ない時に、起こりやすくなります。)

- 666 仮想機械 ⇒ 仮想マシン (673)
- 667 画像形式 ⇒ 画像ファイル形式 (671)
- 668 仮想現実 ⇒ バーチャルリアリティ (510)

669 画像処理

画像を変形したり、色合いを変えたり、別の画像と合成したり、一部を切

り抜いたり・・・等の作業を行うこと。画像を作成・編集するソフトを、「画像ソフト」または「画像処理ソフト」と呼び、「Photoshop」や「Painter」が有名です。

670 仮想ドライブ

外部記憶装置である「ドライブ」を、実ドライブを接続する事で実装するのに対して、既存のハードディスクの一部のフォルダーを、ソフトウェアで、あたかも1つのドライブのように扱う事ができるようにしたドライブのこと。代表的なソフト（コマンド）としては、コマンドプロンプトのコマンドである「subst」があります。subst f: c:\folder1 → c:\folder を、f : ドライブとして扱えるようにする。

671 画像ファイル形式

(画像形式/画像ファイル形式) 画像ファイルには、様々な形式があり、画像の種類毎に「拡張子」が決まっています。代表的な画像ファイル形式には「.jpg」や「.png」、「.gif」などがあります。「.jpg」は「.jpeg」と表記することもあります。) 左記のように、画像ファイルの形式は、ファイルの「拡張子」で区別するので、拡張子を省略したり、勝手に変更してはいけません。ほとんどの画像は、ファイルをダブルクリックすると、「Windows Media Player」または「Windowsフォトビューアー」が起動して、画像を表示します。また、インターネットで「画像ビューアー」で検索すると、多種の再生ソフトを入手することが可能です。

672 画像ファイルフォーマット ⇒ 画像ファイル形式 (671)

673 仮想マシン

コンピュータやCPU (MPU) の機能や動作を、ソフトウェアで実現したもの。例えば、Windowsコンピュータ内に、ソフトウェア的にMacコンピュータの機能を構築した場合、Windows内に、「MAC仮想マシン」を構築した、と表現します。

674 仮想LAN ⇒ VLAN (270)

675 かな漢字変換 ⇒ IME (169)

676 関数

数学でなじみの深い「関数」ですが、情報分野では、プログラミングにおいて、「本体のプログラムから分離させた『一まとまりの処理』」を「関数」と呼びます。関数を呼び出す時、「引数」という情報を渡すことができます。この情報に従って、関数内で処理を行い、結果を「戻り値」として、呼び出し元の本体プログラムに返し、受け取った本体プログラムは、この値を使って、処理を継続する・・・と言うような動作になります。関数を利用することで、プログラムの記述が簡易に分かりやすくなるメリットがあります。

677 完全一致

サーチ (検索) を行う際の、データ一致のアルゴリズムの一つです。「完全」ですから、検索のために入力した情報 (「検索キー」と言います) と、一字一句違わずに一致するデータだけを、「ヒットデータ」として抽出します。
⇒ 部分一致 (759)

678 管理権限

様々な設定を行う事ができる権限のこと。コンピュータを使用する上で、各種の設定は、セキュリティの上でも重要です。その設定を、だれでもできる状態は大変危険です。このような危険を避ける為に、「管理権限」を持つアカウントを作成し、他のアカウントには、設定変更の権限を与えないことが重要です。管理権限にも「ランク」があります。Administrator (管理者) > Administrators (管理者グループ) > PoweUsers (高権限ユーザーグループ) > Users (一般ユーザーグループ)

679 顔料インク

インクジェットプリンターで使用するインクの種類。印刷面の表面に付着乾燥させて定着させるインクです。顔料インクは、高精細な色再現と高

階調性、速乾性、耐光性、耐水性に優れています。耐光性は、バーコードラベルの印刷に必要な要件で、「染料インク」よりも「顔料インク」の方が適しています。(最適はレーザープリンター)
⇒ インクジェット方式 (324) / ⇒ 染料インク (725)

戻る

680 記憶装置

データを記憶するための装置のこと。記憶装置には、「主記憶装置」と「補助記憶装置 (外部記憶装置)」の2種類に区分され、「主記憶装置」は、CPUと直接やり取りするための記憶装置で、メインメモリー (RAM) と呼ばれる。「補助記憶装置」は、ハードディスクやSSDを使用するのが一般的です。
⇒主記憶装置 (708) / ⇒ 補助記憶装置 (760)

681 基数

数学における数値の表現方法で、「桁上りの基準」となる値のこと。(正確には、もっと複雑な説明が必要になります。) 私達が普段使用する数値は「10進数」です。10進数では、0123456789 と数えて、次に桁上がりして10となります。つまり、「10」が基数と言うことです。二進数の桁上がりは「2」ですから、01 と数えて、次に2が桁上がりして10となります。つまり、基数は2です。情報分野でよく使用する基数は、他に、「8進数」や「16進数」があります。16進数は、桁上がりが「16」ですから、0~9 だけでは数字が足りないの、アルファベットの a ~ f も数字として扱い、0123456789abcdef と数え、次の g (16) で桁上がりします。コンピュータが直接理解できる数値は、二進数です。16進数で表記する理由は、2進数では、表記が長くなりすぎるし、間違いやすくなる為、表記桁数が少なく済み、間違いにくくするためです。16進数の場合、他の基数表記と区別する為、数値の先頭に「0x (ゼロ・エックス)」を付けるか、数値の後に「h」を付けることになっています。 0x28 や 28h

682 揮発性メモリー ⇒ RAM (227)

683 共通鍵暗号方式

データの暗号化手法の一つで、データの送受信者双方が、同じ「鍵」(共通鍵)を持っており、この鍵を使って、データの暗号化と復号化を行う方式。鍵が1つしかないの、簡単に暗号化/復号化ができるのですが、他人の「鍵」を知られると、恩恵が無効になってしまいます。鍵の管理が確実な場合に有効となる方法です。鍵の管理が困難な場合は、「公開鍵暗号」を使用すべきでしょう。 ⇒ 公開鍵暗号 (693) / ⇒ SSL (241)

684 共有

サーバーやコンピュータの「ドライブ」、「フォルダー」を、ネットワーク上の他のコンピュータからでもアクセスできるようにする事。「共有設定」とも言う。共有設定されたドライブやフォルダーは、「共有ドライブ」、「共有フォルダー」と呼ばれ、全体として「共有資源」(共有リソース)と呼ばれます。また、これらの共有資源は、分かりやすい名前(共有名)を付けて管理するのが一般的です。

685 共有資源 ⇒ 共有 (684)

686 共有ドライブ ⇒ 共有 (684)

687 共有フォルダー ⇒ 共有 (684)

688 共有名 ⇒ 共有 (684)

689 共有リソース ⇒ 共有 (684)

690 組み込みシステム

家電機器やカメラ、ビデオなどに組み込まれているコンピュータシステムのこと。大がかりな組み込みシステムとしては、自動車や航空機の操縦システムなども、一種の組み込みシステムと言えます。一般のコンピュータシステムとの違いは、汎用性が無い(少ない)と言う点です。器機の機能を引き出すことに特化したプログラムが組み込まれており、利用者の器機操作や、器機の動作状況に応じて、適切な処理を実行するようにプログラムされます。

- 691 言語 ⇒ プログラミング言語 (569) [戻る](#)
- 692 検索エンジン
データベースの情報を検索する時の「検索アルゴリズム」を意味しますが、一般的には、インターネットの情報を検索する為のページ、例えば、「google」の検索ページや、「yahoo」の検索ページなどのような「検索ページ」を指す場合が多い。
- 693 公開鍵暗号
データの暗号化手法の一つで、「秘密鍵」と「公開鍵」を使って平文を暗号化する、安全性が高い暗号方式です。この方式では、データ受信者が、「秘密鍵」と「公開鍵」（秘密鍵を使って作成）を作成して、データ送信者（データ作成者）に「公開鍵」を通知します。この通知の段階で、他者に鍵を盗まれる可能性があります。データ送信者は、受け取った「公開鍵」を使って暗号化したデータを、受信者に送信します。もし送信したデータが盗まれても、「公開鍵」では、暗号化されたデータを、復号する事はできません。復号化には、「秘密鍵」が必要で、「秘密鍵」は、受信者しか持っていないので、安全性は非常に高いと言えます。
⇒ 共通鍵暗号 (683) /⇒ SSL (241)
- 694 高級言語 ⇒ 低級言語 (735)
- 695 降順
(descend /ディセンド) データの並べ替え（ソート）で、データを、「大から小の方向」または「アイウエオの逆順」に並べること。
⇒ 昇順 (711)
- 696 後方一致 ⇒ 部分一致 (759)
- 697 互換性 ⇒ 上位互換 (654) /下位互換 (710)
- 698 算術演算子
演算子のうち、四則演算（加減乗除）などの算術的な計算を行うもの。
⇒ 演算子 (650)
- 699 磁気ディスク
磁気塗料を塗布した円盤を、高速回転させ、「磁気ヘッド」によりデータを読み書きする記憶装置の仕組みのこと。1枚の薄いプラスチック膜でできた磁気ディスクをカートリッジに収めた「フロッピーディスク」と、金属板でできた磁気ディスクを丈夫な装置に納めた「ハードディスク」がある。ハードディスクの場合は、磁気ディスクを「プラッター」と呼び、1枚から数枚のプラッタを層状に並べることで、記憶容量を増やすことができます。データの読み書きをランダム（不連続）に行う事ができる特徴があります。
- 700 磁気テープ
リボン状のテープの片面に磁気粉を定着させ、リールに巻き取られたもの。音声カセット、ビデオカセット、データカセットなどに使用されています。コンピュータ用データ磁気テープは、サーバーのバックアップ装置として使用されていますが、シーケンシャル（連続的）な読み書きに特化しているので、現在はあまり使用されなくなっています。
- 701 資源共有運用 ⇒ 資源共有システム (702)
- 702 資源共有システム
図書管理システムの一つの形態で、自館の資料だけでなく、他館の資料も利用できる環境を提供したシステム。基本的には、インターネット上に「センターサーバー」（WEBサーバー）を設置し、各校からは、インターネットを通じて「ブラウザ」で操作することで、図書管理を行います。次世代の図書管理システムとして、今後普及が進むと考えられます。
- 703 自然言語処理
私たちが日常的に使っている言葉を使って、コンピューターを動かしたり、検索などの命令を行ったり、プログラムを構成する技術のこと。人工知能（

AI) の発達と密接な関係があります。

- 704 下付文字
1/4角文字で、化学式における原子の個数を示す場合や、数学における変数の添え字を表示するための文字のこと。 ⇒ 上付き文字 (651)
- 705 周辺機器
コンピュータの「外部バス (信号の通路)」に接続する器機のこと。一般的には、コンピュータ筐体の背面もしくは前面、側面に装備されている接続端子に接続する器機を指しますが、筐体内部に実装されている器機でも、外部バスに接続されている周辺器機もあります。(内蔵ハードディスクや光学ドライブなど)
- 706 周辺装置 ⇒ 周辺機器 (705)
707 十六進数 ⇒ 基数 (681)
- 708 主記憶装置
コンピュータの頭脳に当たる「CPU」に直結したメモリーのこと。通常、「RAM」と呼ばれる半導体メモリーで構成されており、ハードディスクなどの外部記憶装置 (補助記憶装置) に比べて、極めて高速で動作しますが、容量は小さくなります。それでも、現在のコンピュータは、CPUから64ビット化されていることで、相当量のRAM容量を確保することができます。 ⇒ RAM (227)
- 709 十進数 ⇒ 基数
- 710 上位互換
機能や性能で上位に位置づけられるものが、下位のものと同様の互換性をもつこと。基準を下位のものに置いて、上位のものが使えるかどうかを判断します。上位互換がある場合は、上位のものを買っても問題無く使える事を意味します。 ⇒ 下位互換 (710)
- 711 昇順
(ascend/アセンド) データの並べ替え (ソート) で、データを、「小から大の方向」または「アイウエオ順」に並べること。 ⇒ 降順 (695)
- 712 初期化
データなどを消去して、初期状態に戻すこと。
- 713 初期設定
器機やアプリケーションソフトの、初期状態の運用条件や環境設定のこと。「デフォルト」(デフォルト設定) とも言います。
- 714 真空管
ガラス管の内部を真空にして、電極を封入し、電子流を制御して、増幅・整流・発信などを行い、電気製品などに広く使用されてきたが、現在ではトランジスタなどの半導体に置き換わっています。
- 715 人工知能
(アーティフィシャル・インテリジェンス/Artificial Intelligence/AI) 人間の行為である「言語活動」や「判断・推論」そして「問題解決」などの知的行動を、コンピューターに行わせる技術、あるいはソフトウェアのこと。
- 716 数式処理
因数分解や不定積分などの数学計算を、コンピューター で実行すること。
- 717 制御文字
ASCII文字コードの最初の32文字までは、ディスプレイ・プリンター・通信装置などに対する「特種動作」が規定されています。このコード部分を、「制御キャラクタ」や「制御機能文字」と呼んでいます。

718 整数

0 と「自然数」 1、2、3、・・・および、「自然数に負号をつけた数」
-1、-2、-3、・・・を合わせた数のこと。情報分野では、整数で扱
える数値の範囲が問題となることがあります。アプリケーションソフトのプ
ログラムで、整数には、1バイト整数 (-128~127)、2バイト整数 (32,768
~32,767)、4バイト整数 (-2,147,483,648~2,147,483,647)、8バイ
ト整数 (-9,223,372,036,854,775,808~9,223,372,036,854,775,807)
等の種類があり、プログラムで、どの整数が定義されているかで、使用で
きる値の範囲が異なります。一般的には、4バイト整数が使われていること
が多いのですが、入力できる数値の範囲は、アプリケーションのマニュアルな
どで確認する必要があります。"

719 赤外線通信 ⇒ IrDA (175)

720 世代管理

バックアップデータに関する考え方で、1回のバックアップデータを世代
と考えると、何世代までのバックアップデータを保持する必要があるかの考
え方を意味します。通常は、「3世代管理」が最適と考えられています。
バックアップメディアを3つ準備し、1回目から3回目までのバックアップ、
別々のメディアに実行し、4回目からは、最初のメディアに戻ってバック
アップを行います。

721 全二重通信

二者間のどちらの方向へも通信できる「双方向通信」において、通信方向
ごとに別の伝送路を持つため、それぞれ独立に「送信・受信できる方式」の
こと。全二重通信は、イーサネット（有線ネットワーク）で使用する「ツ
イストペアケーブル」などで実現されます。一方、無線LANでは、送信と
受信を同時に行うことはできない「半二重通信」が採用されています。
⇒ 半二重通信 (748)

722 全角文字

コンピュータが扱う文字の大きさの分類で、通常の文字（半角文字）の
横2倍の大きさの文字のこと。日本語文字環境では、漢字などを表示・印
刷する時に使用されます。

723 前方一致 ⇒ 部分一致 (759)

724 専用回線

通信事業者から借り受ける専用の通信回線のこと。インターネット回線
として使われている公衆回線（電話網やISDN、光回線など）と違って、契
約者が独占的に使用でき、セキュリティ面では極めて安全な回線です。

725 染料インク

インクジェットプリンターで使用するインクの種類。印刷対象（紙）に
染み込んで乾燥・定着させるインクです。染料インクは、発色が鮮明で、
光沢のある印刷ができるので、写真印刷などに向いていますが、耐光性や耐
水性に弱点があります。市販されているインクジェットプリンターが、ど
ちらのインクを使用しているかはカタログで分かります。耐光性は、バー
コードラベルの印刷に必要な要件で、「染料インク」よりも「顔料インク」
の方が適しています。（最適はレーザープリンター）

⇒ インクジェット方式 (324) /⇒ 顔料インク (679)

726 大規模集積回路 ⇒ (LSI) ⇒ IC (162)

727 多言語

初期のコンピュータは、基本的には英語（アルファベットと数字と記号）
で操作することしかできませんでした。進歩と共に、日本語でも操作でき
るようになり、中国語でも操作できるようになる・・・と、段階的に利用で
きる言語が増えてきました。現在のコンピュータの言語処理は、「ユニコー
ド」と呼ばれる文字コードを利用することで、世界各地の言語に対応でき
るようになりました。

- 728 多バイト文字
1バイトで表示する文字（基本的には ASCII 文字／半角の英数記号）に対して、文字の指定に、2バイト以上のデータサイズを要する文字のこと。例えば、日本語文字や中国語、ハングル・・・など。
- 729 端末
(Terminal) ネットワークにつながったコンピュータのうち、主に利用者側が使うコンピュータのこと。⇒ローカルコンピュータ (630)
- 730 逐次駆動式
コンピュータのデータ処理手順に関する方式。ノイマン型コンピュータで採用された計算方式で、メモリーに読み込んだ、プログラムやデータを、1つずつ順番に読み込んで処理を行うというもの。現在のコンピュータの原型と考えられています。
- 731 中間一致 ⇒ 部分一致 (759)
732 中央演算装置 ⇒ CPU (92)
- 733 中間言語
プログラミング言語の内、プログラムソースを、完全な「機械語」ではなく、中間的なシンボルに翻訳し、実行時に、完全な「機械語」に翻訳して実行するプログラム言語。(その中間シンボルのこと) 初期のBASIC言語は、「インタープリター言語」で、実行時にソースを機械語に翻訳して実行しましたが、VisualBasic等では、あらかじめ「中間言語」まで翻訳しておくことで、実行速度を高めています。
- 734 通信プロトコル
ネットワークなどで、データを送信する時の「通信の仕方」や「データ構造」などを取り決めた規約のこと。「HTTPプロトコル」や「FTPプロトコル」など。
- 735 低級言語
プログラムを作成する為に使用する「開発プログラム（「開発言語」）で、プログラムを記述する「言葉」が、私達が普通に使用する言葉に、近い場合を「高級言語」、遠い場合を「低級言語」と呼びます。低級言語の代表として、「アセンブリ言語」で使用する言葉（コマンド）は、LD,ADDA,SUBA,JPL・・・などで、私達には意味不明のものばかりです。高級言語の代表として、「C言語」で使用する言葉は、input,savetifile,loadfromfile,deletetifile,print・・・などで、およその意味が分かる言葉ばかりです。"
- 736 データ圧縮 ⇒ 圧縮ソフト (645)
- 737 手続き型言語
プログラミング言語の分類の一つで、コンピュータが実行すべき命令や手続きを、一つ一つ順に記述することで、プログラムを構成する言語のこと。実際には、記述のブロック化などの技法で、より効率よくプログラムを実行させることができるようになって居ます。
- 738 電子掲示板
(Bulletin Board System: BBS/ビー・ビー・エス) インターネット上で運用される掲示板システムの一つで、閲覧者が文字メッセージなどを書き込んだり、他の閲覧者の投稿を読むことができるもの。
- 739 転送速度
ハードディスクなど記憶層とのデータを処理する速度や、ネットワークを流れるデータの通信速度などのこと。一般的には、bps (1秒間に何ビットのデータを転送するか) で表します。当然ですが、転送速度が速いほど、高速で処理することになります。
- 740 伝送媒体
コンピュータ間やネットワーク間で、データを転送するために使用する

ケーブルや電波、赤外線などのこと。

741 動作周波数

コンピュータの頭脳に当たる「CPU」が動作する為のクロックと呼ばれる「正弦波」の周波数のこと。正弦波の山と谷セットで、1回の動作を行う為、周波数が高いほど、CPUの動作も速くなります。現在のCPUは、2~3 GHz（ギガヘルツ=1秒間に 20億から30億回）で動作しています。

742 同軸ケーブル

信号を伝送するケーブルのうち、中心の銅線（芯線）を覆う外部導体が、電磁的なシールドの役割を果たすため、外部の電磁波などの影響を受けにくい構造になって居ます。主に高周波信号の伝送用ケーブルとして、放送機器（TVなど）、ネットワーク機器、無線通信器機などに用いられています。

743 二進数 ⇒ 基数 (681)

744 日本語入力システム ⇒ IME (169)

745 日本語文字コード

日本語文字（漢字やかななど）を、コンピュータで扱うための文字コードのこと。画面に表示されたり紙に印刷される文字には、コンピュータが直接扱うことができる「二進数」のコード（実際の表記は、分かりやすくする為に16進数コードで表わします）が割り当てられています。これを「文字コード」と呼びますが、各国で扱う文字が多種に及ぶため、各国言語毎に異なる「文字コード表」が存在する事になります。全世界に共通に使用される「ASCIIコード」は、キーボードの表面に刻印されているアルファベットや数字、記号を表記するのに使用されます。ASCIIコードでは、例えばA=0x41、B=0x42・・・等のコードになります。日本語を使う場合は、以前は「Shift-JISコード」が使われていましたが、2013年以降は、「ユニコード」が使われています。例えば、ユニコードで「漢」=0x6F22、字=0x5B57となります。ユニコードは、全世界の文字コードを、1つのテーブルで扱う事ができるように、従来の文字コードを拡張・統合したものです。

746 排他制御

複数のユーザーが、同じ資源（データなど）を、同時に利用すると、競合状態となる場合に、一方のユーザーが資源を利用している間、他のユーザーによる資源の利用を、「制限もしくは禁止する」仕組みのこと。排他制御で注意しなければならないのは、「デッドロック」状態を回避する必要があるということです。「デッドロック」とは、あるユーザーが制御権利を受け取って、他のユーザーを待機の状態にしている時、排他状態を解消しないで処理を終了し、他のユーザーを、ずっと待たせた状態になることです。この場合は、排他状態を、手動で、解除する必要があります。Win書庫では、{排他制御管理}というメニューで、デッドロック状態になって居ないかを確認し、必要に応じて、手動で解除します。

747 半角文字

コンピュータが扱う文字の大きさの分類で、幅が高さの半分の縦長の領域に収まる形の文字のこと。通常の状態のキーボードからタイプする「アルファベット」や「数字」「記号」などが該当します。

748 半二重通信

二者間のどちらの方向へも通信できる「双方向通信」において、送受信を同じ経路で共用する為、一度に片方しか送信できず、両者が同時に送信することができない方式のこと。無線LANで採用している方式で、イーサネット（有線ネットワーク）に対立する方式。⇒ 全二重通信 (721)

749 光ケーブル

ネットワークの伝送ケーブルの一種で、光を通信媒体としたケーブルです。被覆線の中に、中心部と周辺部で、屈折率の異なる2種類のガラスを使用する事で、2層の境界面で、「全反射」を起こさせ、情報の減衰を防いでいます。ガラスですので、折れには弱く、緩やかなカーブを描いた配線施工が必要である為、通常のメタルケーブル（ツイストペアケーブルなど）に比べ

て、取り扱いに注意が必要です。

750 光磁気ディスク

(Magneto-Optical disk/MO) データの読み書きが可能な「光ディスク 記憶装置」のこと。データの書き込み時には、磁気を利用している為、「光磁気ディスク」と呼ばれています。サイズは、3.5インチと5インチで、CDやDVDと同じですが、ほこりや接触に弱い為、カートリッジに収められています。記憶容量は、128MB~2.3GBのデータが記録できます。データの読み出しは光学的に行いますが、データの書き込みは、記録面の表面をレーザーで加熱(180°C程度)し、冷える前に、磁気ヘッドで表面の磁界を固定することで行います。データの読み出しは、レーザー光を照射し、磁気方向(S極N極の向き)による偏光面の変化を読み取ることで、0と1のデータを取得します。読み書きの仕組みが複雑であることと、ディスクをカートリッジに収める必要があるなどの理由で、現在はほとんど使用されないメディアとなっています。

751 光ディスク

(optical disc/オプティカル・ディスク) レーザー光を使って、データの読み出しや書き込みを行う円盤状の記憶媒体。使用するレーザー光の波長や記録方式により、コンパクトディスク、DVD、ブルーレイディスクなどの規格がある。記録できるデータ容量は、CD⇒DVD⇒BD と拡大してきましたが、BDの最大128GBが、ほぼ上限で、これ以上の大容量メディアは期待できません。

752 引数

(parameter:パラメータ/argument:アークギュメント) アプリケーションソフトやプログラミングでの「関数」などに、何らかの値を渡して実行させる時の、「渡す値」のこと。

753 表計算ソフト ⇒ カルク (360)

754 不揮発性メモリー ⇒ RAM (227)

755 復元ポイント

Windowsのバックアップシステムの一つで、アップデートの実行や、接続機器の変更、アプリケーションのインストール・・・など、Windowsの構成を大巾に変更したタイミングで、「復元ポイント」が作成されます。また、次のタイミングで自動的に作成されます。「コンピュータの起動後」または「午前0時」に、復元ポイントが7日間作成されておらず、パソコンを操作していない状態が10分続いた場合。

756 復号化

(Decryption/デクリプション, Decode/デコード) 暗号化された情報を、元の状態に戻すこと。一般的な暗号化は、暗号化と復号化を「同じキーデータ(暗号キー)」で行なう「共通鍵暗号」と、暗号化と複合化を「異なるキーデータ」で行う「公開鍵暗号」の2方式が使用されています。Win書庫では、パスワードや個人情報等にかかわる一部のデータを「共通鍵暗号」で暗号化しており、暗号化・復号化は、全てWin書庫の動作の中で処理されています。

⇒ 暗号化 (646) /⇒ 公開鍵暗号 (693) /
⇒ 共通鍵暗号 (683) /⇒ SSL (241)

757 物理ドライブ

コンピュータに接続している、ハードウェアとしてのドライブのこと。実体としてのドライブのこと。OSは、接続されている物理ドライブを、複数の「論理ドライブ」に分割して利用できるようになっています。

⇒ 論理ドライブ (774) /⇒ 仮想ドライブ (670)

758 浮動小数点数

数値表現において、固定長の「仮数部」と「指数部」を持つ数値の表現法のこと。情報分野では、アプリケーションソフトのプログラムで扱う、浮動小数点数には、4バイト浮動小数点数(float/仮数部23桁、指数部8桁)と8バイト整数(double/仮数部52桁、指数部11桁)の種類があり、プロ

戻る
グラムで、どちらが定義されているかで、使用できる値の範囲が異なります。一般的には、4バイト浮動小数点数が使われていることが多いのですが、入力できる数値の範囲は、アプリケーションのマニュアルなどで確認する必要があります。

759 部分一致

サーチ（検索）を行う際の、データ一致のアルゴリズムの一つです。「部分一致」は、検索のために入力した情報（「検索キー」と言います）が、検索対象のどこかに一致すれば、「ヒットデータ」として抽出します。部分一致は、さらに次の3つのカテゴリーに分類されます。「前方一致」・「後方一致」・「中間一致」。例えば、被検索データが『『新型コロナウィルスの特徴』で、検索キーが『新型コロナ』の場合は、「前方一致」でヒットします。検索キーが「ウィルスの特徴」の場合は、「後方一致」でヒットします。また、検索キーが「ウィルス」の場合は、「中間一致」でヒットします。（注意：一般的に、「中間一致」には、「前方一致」と「後方一致」も含めてヒットする場合があります。） ⇒ 完全一致（677）
⇒ 前方一致（723） / ⇒ 後方一致（696） / ⇒ 中間一致（731）

760 補助記憶装置

データを記憶する「記憶装置」の分類で、コンピュータの外部バス（信号の通路）に接続される記憶装置を、「補助記憶装置」（または「外部記憶装置」）と呼びます。コンピュータ内部に、CPUと直結するように実装されている「主記憶装置（メインメモリ）」は、半導体メモリですので、極めて高速ですが、「外部記憶装置」は、「ハードディスク」や「USBメモリー」などで、メインメモリに比べると低速ですが、大容量であるという特徴があります。（注：コンピュータ内部に装着されているハードディスクも、実際には「外部バス」に接続されているので、補助記憶装置です。）

761 無線LAN

有線接続されていないネットワーク器機間の通信方式で、通信手段としては、「赤外線」と「電波」がありますが、赤外線は数m以内の近距離通信のみ可能で、現在の無線LANは、電波が主流となっています。電波による無線通信には、「IEEE 802」と「Bluetooth」の2種類の規格があります。現在、Bluetoothは、「キーボードとコンピュータ」や「テレビとイヤホン」など、器機間の近距離通信で利用されていますが、LANの通信には利用されていません。現在主流の無線LANは、「IEEE 802規格」を利用したLANで、「IEEE 802.11ac」（最大約7Gbps）、「IEEE 802.11a」（最大54Mbps）の規格が主流となっています。無線LANは電波を使っている為、通信内容を盗み見られる危険性があるので、「他者に接続されないようにアクセス設定を確実にを行う」ことと、「暗号化通信を利用する」ことが重要です。

762 無停電電源

⇒ UPS（248）

763 命令

⇒ コマンド（381）

764 文字コード

⇒ 日本語文字コード（745）

765 文字化け

文字が正しく表示や印刷されずに、本来とは異なる「不規則で意味不明な記号や文字の連なり」となること。原因は、①テキスト（文字列）が作成された時の「文字コード」とは異なる「文字コード」で、表示した時。②テキストデータの一部が欠損したり、不要なデータが追加された場合。

766 焼き付き

ディスプレイの画面の表示素子が、正常な発色（発光）をできなくなり、画面に陰のような部分が生じる現象の事。モニターTVが、ブラウン管を使っていた頃は、同じ画像を繰り返し、長時間写し続けた場合、その部分に焼き付き現状が起こる事が多かったのですが、液晶方式に変わってからは、この現象は起こりにくくなっています。ただし、液晶の場合も、長時間駆動で発色が悪くなったり、輝度が低下する等の現象が起こるので、「焼き付き」と類似の現象を起こりえます。対策としては、「輝度をさげること」と「スクリーンセーバー」などを使って、同一素子の連続駆動を避けることが必要です。

767 有機EL方式

(有機エレクトロ・ルミネッセンス方式) ディスプレイの画素表示方法の種類。自発光する3原色素子を使用するので、「バックライト」が必要なく、ディスプレイの構造を単純化することが可能で、より薄型にできる特徴があります。発光素子は発光層が有機化合物から成る発光ダイオード(LED)を構成しており、インクジェット技術などの印刷技術を利用して素子の集積が可能で、製造技術も大きく変容しています。特徴としては、従来の液晶ディスプレイに比べて、応答速度や色再現性が高く、輝度も大きい(特に黒表現に優れる)など、メリットは大きいですが、2020年時点では、製造コストが高いというデメリットがある。

768 有線LAN ⇒ イーサネット (318)

769 乱数列

ランダムな数列のこと。発生した乱数列の中の1つの値を「乱数」と呼びます。一般的に、アプリケーションの中で発生する乱数列は、「疑似乱数列」で、一定の規則性に基づいて、乱数のように見える数列を発生させます。これは、乱数を「乱数テーブル」としてグループ化し、無作為の抽出で「乱数テーブル」を選択して乱数列としているからです。アプリケーションの中で、乱数として扱う数値については、疑似乱数である場合が多く、本当の意味での「乱数」でないかも知れないと言うことを、理解する必要があります。

770 量子コンピュータ

量子ビットを基本情報素子として構成されたコンピュータのこと。2020年時点で、IBMやGoogle、カナダのD-Waveシステムズなどで、既に開発・運用が始まっています。(まだ、初歩的な利用の範囲ですが。) 日本でも、NTTや理化学研究所などで、研究・実証が行われています。量子コンピュータの原理は、ある意味単純ですが、正確に説明することは困難です。次の例を考えることで、量子コンピュータが、現在のコンピュータに比べて、飛躍的に高速に計算ができる事を理解できるでしょう。量子ビットは、0と1の両方の状態を表現できると説明しました。例えば、「通常ビット」においては、4ビットで表現できる情報は、0000 から 1111 の16とおりの種類がありますが、1つのデータで表現できるのは、1/16です。(例えば、1010) しかし、量子ビットを使うと、1つのデータで、16とおりの全てを表現できます。(* ** * / * は、0か1) つまり、4ビットの計算を行うには、通常ビットでは、 $16 \times 16 = 256$ 回繰り返さないといけない計算も、量子ビットを使うことで、1回で完了するのです。現在のコンピュータのほとんどは64ビットCPUを使っているので、64ビットの演算を考えると、理論的には、約40億回の計算を、たった1回で完了できる事になります。これは、計算速度が、40億倍速くなる事を意味しています。

771 量子ビット

量子コンピュータで扱う最少の「情報素子」のこと。現在のコンピュータは、二進数を基本とした情報処理を行っているため、最少の情報素子である1ビットは、0か1の2種類の情報を保持しますが、量子コンピュータでは、「量子1ビット」は、「0」か「1」か「どちらも」と言う3種類の情報を保持します。「どちらも」と言う概念が、量子力学的なのですが、説明は非常に難しい理論を展開しなければなりません。(私も正確には説明できません。) この「どちらも」という量子ビットの状態を利用することで、従来のコンピュータに比べて、飛躍的に高速な計算が可能になります。

⇒ 量子コンピュータ (770)

772 論理演算子

演算子のうち、真 (true) と偽 (false) の二値からなる「真偽値 (ブール値)」に対して演算を行う演算子。論理否定 (NOT)、論理和 (OR)、論理積 (AND)、排他的論理和 (XOR) などの論理演算子があります。

⇒ 演算子 (650)

773 論理積

「論理演算子」の一つ。演算子「AND (アンド)」で表記し、2つの集

合の「両方に属する集合」のこと。2つの条件がある時、両方の条件に合致している場合に「真」(true)を返し、一方またはどちらにも属していない場合に「偽」(false)を返します。

774 論理ドライブ

コンピュータに接続している「ドライブ」が、「実際に接続されているハードウェアとしてのドライブ (物理ドライブ)」か、「1台の物理ドライブをパーティションに分割して複数のドライブとして扱う (論理ドライブ)」かを区別する呼び方。

775 論理和

「論理演算子」の一つ。演算子「OR (オア)」で表記し、2つの集合の「どちらかに属する集合」のこと。2つの条件がある時、どちらかの条件に合致している場合に「真」(true)を返し、どちらにも属していない場合に「偽」(false)を返します。

776 割り込み

ある作業を行っている途中で、別の作業を入れ込んで行うこと。情報分野では、アプリケーションなどの実行中に、他のアプリケーションやWindowsのプロセスが起動して、アプリケーションが一時的に中断されること。現在のオペレーティングシステムは、「マルチタスク」動作をするので、同時に複数のアプリケーションを動作させる事ができます。複数のアプリケーションが動作している時、片方のアプリの動作を一時的に止めて、別のアプリの動作を優先させる・・・という現象は、同時起動するアプリの数が増えるほど、急激に増えてきます。

戻る